第３章　施設の実態把握・分析

１．施設種別の実態把握・分析

ここでは、対象施設（107 施設）について、用途ごとに以下の分類を行い、下表の(1)～(15)の施設種別ごとに実態把握・分析を行いました。なお、実態把握・分析に用いたデータは、令和元年度から令和５年度（各年度３月 31 日時点）の施設別調査結果に基づきます。

【対象施設の施設種別区分 1/2】

施設種別	施設番号	対象施設	所在地	施設数
(1)公民館	1-1	児玉中央公民館	本庄市児玉町金屋728-2	11
	1-2	本庄公民館	本庄市東台5-2-33	
	1-3	本庄東公民館	本庄市日の出2-8-28	
	1-4	本庄西公民館	本庄市小島1-10-4	
	1-5	本庄南公民館	本庄市今井377-2	
	1-6	藤田公民館	本庄市牧西1210-3	
	1-7	仁手公民館	本庄市仁手665-1	
	1-8	旭公民館	本庄市都島238-1	
	1-9	北泉公民館	本庄市早稲田の杜5-12-19	
	1-10	共和公民館	本庄市児玉町蛭川915-5	
	1-11	児玉公民館	本庄市児玉町八幡山368	
(2)市民活動施設	2-1	市民活動交流センター(はにぽんプラザ)	本庄市銀座1-1-1	3
	2-2	あさひ多目的研修センター	本庄市沼和田1005	
	2-3	旧本庄商業銀行煉瓦倉庫	本庄市銀座1-5-16	
(3)文化施設	3-1	市民文化会館	本庄市北堀1422-3	2
	3-2	児玉文化会館(セルディ)	本庄市児玉町金屋728-2	
(4)図書館	4-1	図書館	本庄市千代田4-1-9	2
	4-2	図書館児玉分館	本庄市児玉町金屋728-2	
(5)スポーツ施設	5-1	若泉運動公園弓道場	本庄市小島6-11-14	5
	5-2	若泉運動公園武道館	本庄市小島6-11-14	
	5-3	市民球場	本庄市北堀433	
	5-4	本庄総合公園体育館(シルクドーム)	本庄市北堀433	
	5-5	児玉総合公園体育館(エコーピア)	本庄市児玉町金屋753-1	
(6)産業振興施設	6-1	観光農業センター	本庄市児玉町小平653	3
	6-2	ふれあいの里いずみ亭	本庄市児玉町河内209-1	
	6-3	本庄駅南口複合施設	本庄市駅南2-1-4	
(7)保健・福祉関連施設	7-1	発達教育支援センター「すきっぷ」	本庄市小島5-5-45	4
	7-2	老人福祉センターつきみ荘	本庄市沼和田127-1	
	7-3	保健センター	本庄市北堀1422-1	
	7-4	障害福祉センター	本庄市いまい台2-43	
(8)保育所	8-1	いずみ保育所	本庄市小島5-5-45	2
	8-2	久美塚保育所	本庄市児玉町児玉2351-1	
(9)児童施設	9-1	前原児童センター	本庄市前原1-4-13	4
	9-2	日の出児童センター	本庄市日の出2-5-56	
	9-3	児玉児童センター	本庄市児玉町八幡山368	
	9-4	寿学童保育室	本庄市寿2-4-24	
(10)庁舎等	10-1	市役所	本庄市本庄3-5-3	3
	10-2	児玉総合支所第二庁舎	本庄市児玉町児玉385	
	10-3	児玉総合支所（アスピアこだま）	本庄市児玉町八幡山368	

【対象施設の施設種別区分 2/2】

施設種別	施設番号	対象施設	所在地	施設数
(11)学校	11-1	本庄東小学校	本庄市日の出1-2-1	17
	11-2	本庄西小学校	本庄市千代田4-3-2	
	11-3	藤田小学校	本庄市牧西1171	
	11-4	仁手小学校	本庄市仁手618	
	11-5	旭小学校	本庄市都島78	
	11-6	北泉小学校	本庄市北堀1871-1	
	11-7	本庄南小学校	本庄市栄3-6-24	
	11-8	中央小学校	本庄市緑1-16-1	
	11-9	児玉小学校	本庄市児玉町児玉1355-1	
	11-10	金屋小学校	本庄市児玉町金屋1116-1	
	11-11	秋平小学校	本庄市児玉町秋山2531	
	11-12	本泉小学校	本庄市児玉町河内660	
	11-13	共和小学校	本庄市児玉町蛭川895-1	
	11-14	本庄東中学校	本庄市日の出4-2-45	
	11-15	本庄西中学校	本庄市千代田4-3-1	
	11-16	本庄南中学校	本庄市緑3-13-1	
	11-17	児玉中学校	本庄市児玉町八幡山438	
(12)市営住宅	12-1	西五十子市営住宅	本庄市西五十子221-1	15
	12-2	田中市営住宅	本庄市田中216-1	
	12-3	四方田市営住宅	本庄市四方田14-1	
	12-4	泉町市営住宅	本庄市前原1-11	
	12-5	小島第二市営住宅	本庄市小島2-3	
	12-6	日の出市営住宅	本庄市日の出2-6	
	12-7	小島第一市営住宅	本庄市小島1-6	
	12-8	東台市営住宅	本庄市東台4-3	
	12-9	金屋市営住宅	本庄市児玉町金屋960-2	
	12-10	本町市営住宅	本庄市児玉町児玉303-1	
	12-11	長浜市営住宅	本庄市児玉町八幡山354	
	12-12	下町市営住宅	本庄市児玉町児玉2428	
	12-13	久美塚市営住宅	本庄市児玉町児玉1447-1	
	12-14	東久美塚市営住宅	本庄市児玉町児玉1543-6	
	12-15	中久美塚市営住宅	本庄市児玉町児玉1435-2	
(13)防災施設	13-1	消防団第一分団器具置場	本庄市千代田3-3-26	25
	13-2	消防団第二分団器具置場	本庄市本庄1-4-14	
	13-3	消防団第三分団器具置場	本庄市駅南1-15-4	
	13-4	消防団第四分団器具置場	本庄市牧西1137-3	
	13-5	消防団第五分団器具置場	本庄市久々宇96-13	
	13-6	消防団第六分団器具置場	本庄市都島904-1	
	13-7	消防団第七分団器具置場	本庄市北堀1825-1	
	13-8	消防団第一分団第一部器具置場	本庄市児玉町1352-1	
	13-9	消防団第一分団第二部器具置場	本庄市児玉町児玉114-4	
	13-10	消防団第一分団第三部器具置場	本庄市児玉町児玉1882-1	
	13-11	消防団第二分団第一部器具置場	本庄市児玉町金屋1173-1	
	13-12	消防団第二分団第二部器具置場	本庄市児玉町高柳175-4	
	13-13	消防団第二分団第三部器具置場	本庄市児玉町飯倉208-2	
	13-14	消防団第二分団第四部器具置場	本庄市児玉町田端229	
	13-15	消防団第三分団第一部器具置場	本庄市児玉町太駄366-3	
	13-16	消防団第三分団第二部器具置場	本庄市児玉町元田365-2	
	13-17	消防団第四分団第一部器具置場	本庄市児玉町秋山2329-5	
	13-18	消防団第四分団第二部器具置場	本庄市児玉町小平881	
	13-19	消防団第五分団第一部器具置場	本庄市児玉町蛭川915-5	
	13-20	消防団第五分団第二部器具置場	本庄市児玉町上真下721-6	
	13-21	消防団第五分団第三部器具置場	本庄市児玉町吉田林107-2他	
	13-22	北泉防災倉庫	本庄市北堀1824-1,1825-1他	
	13-23	本庄総合公園防災倉庫	本庄市北堀433	
	13-24	児玉文化会館防災倉庫	本庄市児玉町金屋728-2	
	13-25	児玉総合公園体育館防災倉庫	本庄市児玉町金屋753-1	
(14)文化財・文化財収蔵庫	14-1	旧本庄警察署	本庄市中央1-2-3	10
	14-2	競進社模範蚕室	本庄市児玉町児玉2514-27	
	14-3	旭民具等収蔵庫	本庄市都島904-1	
	14-4	太駄文化財収蔵庫	本庄市児玉町太駄352	
	14-5	蛭川文化財収蔵庫	本庄市児玉町蛭川915-12	
	14-6	下浅見文化財収蔵庫	本庄市児玉町下浅見867-11	
	14-7	塙保己一記念館	本庄市児玉町八幡山368	
	14-8	文化財整理室	本庄市児玉町児玉385	
	14-9	新収蔵庫	本庄市中央1-4175-1	
	14-10	児玉文化財収蔵庫（旧児玉保健センター）	本庄市児玉町児玉391	
(15)その他施設	15-1	本庄駅自由通路	本庄市銀座3-6-19	1

（1） 公民館

1）概要

- 社会教育法の趣旨に基づき、地域住民が毎日の生活を明るく楽しく、健康で心豊かに生活するために、公民館（11 施設）を設置し、「つどう場所」「まなぶ場所」「むすぶ場所」の提供を行っています。
- 児玉公民館は児玉公民館別館を統合して、平成 27 年度に整備された複合施設「児玉総合支所（アスピアこだま）」内に移転しました。

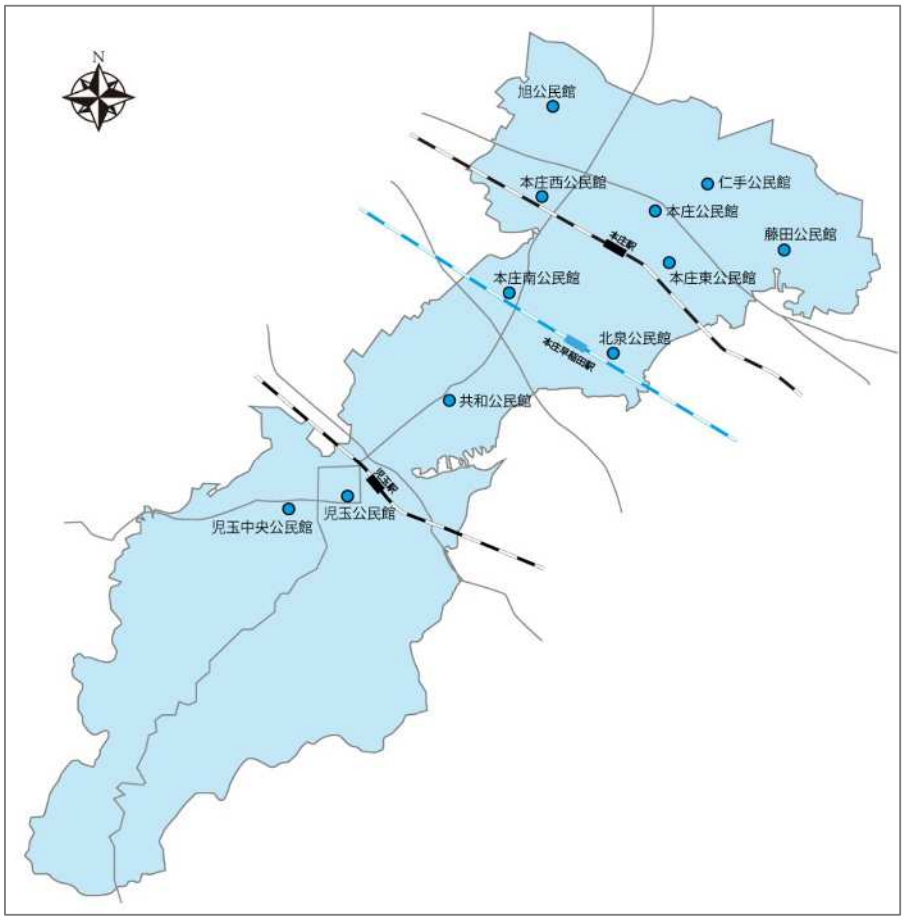
【公民館の運営時間】

施設名称	運営時間	休館日
児玉中央公民館	午前9時～午後9時30分	12月28日から翌年の1月4日
本庄公民館	午前9時～午後9時30分	12月28日から翌年の1月4日
本庄東公民館	午前9時～午後9時30分	12月28日から翌年の1月4日
本庄西公民館	午前9時～午後9時30分	12月28日から翌年の1月4日
本庄南公民館	午前9時～午後9時30分	12月28日から翌年の1月4日
藤田公民館	午前9時～午後9時30分	12月28日から翌年の1月4日
仁手公民館	午前9時～午後9時30分	12月28日から翌年の1月4日
旭公民館	午前9時～午後9時30分	12月28日から翌年の1月4日
北泉公民館	午前9時～午後9時30分	12月28日から翌年の1月4日
共和公民館	午前9時～午後9時30分	12月28日から翌年の1月4日
児玉公民館	午前9時～午後9時30分	12月28日から翌年の1月4日

2）配置状況

- 本庄北地域、本庄南地域に多く立地（全 11 施設中９施設）している一方、児玉南地域には立地しておらず、施設立地に偏りが生じています。

【公民館の施設位置図】



３）建物の状況

- 昭和 50 年代に建設された施設が多く、築後 40 年以上経過しています（11 施設中６施設）。
- 築後 40 年以上経過している６施設のうち、５施設は新耐震設計基準施行前に建設された建物となっています。
- 児玉中央公民館は延床面積が 1,000 ㎡以上となっており、その他の公民館と比べて規模が大きくなっています。

【公民館の建物状況】

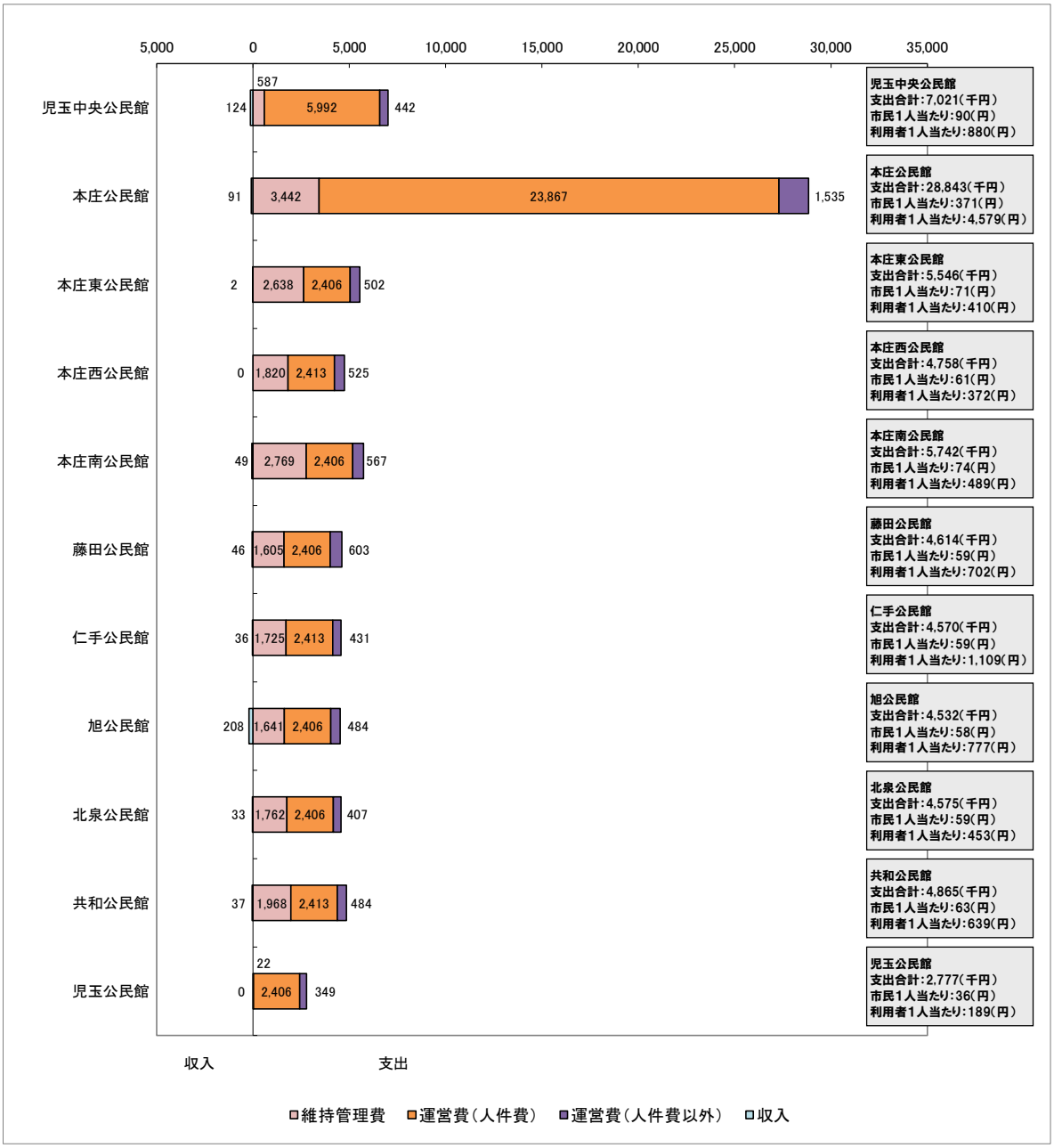
施設名称	竣工年月	築年数（R7.3現在）	耐震診断	耐震改修	構造	延床面積(㎡)
児玉中央公民館	平成7年10月	30	－	－	鉄骨鉄筋コンクリート造	1,110
本庄公民館	昭和57年3月	43	未	未	鉄筋コンクリート造	368
本庄東公民館	平成2年3月	35	－	－	鉄筋コンクリート造	450
本庄西公民館	昭和63年3月	37	－	－	鉄筋コンクリート造	419
本庄南公民館	平成元年3月	36	－	－	鉄筋コンクリート造	508
藤田公民館	昭和57年7月	43	－	－	鉄筋コンクリート造	399
仁手公民館	昭和56年3月	44	未	未	鉄筋コンクリート造	369
旭公民館	昭和55年3月	45	未	未	鉄筋コンクリート造	383
北泉公民館	昭和54年8月	46	未	未	鉄筋コンクリート造	379
共和公民館	昭和54年3月	46	未	未	鉄筋コンクリート造	402
児玉公民館	平成27年3月	10	－	－	鉄筋コンクリート造	510

※耐震診断及び耐震改修は、新耐震設計基準施行（昭和 56 年6月）以降に建築された施設が「－」。新耐震設計基準施行（昭和 56 年6月）以前に建築された施設のうち、耐震診断・耐震改修を実施した施設が「済」、実施していない施設が「未」。
※延床面積は、各施設の主要建物のみでなく、敷地内建物全体の延床面積（建築基準法による）を表記。
また、複合施設の児玉中央公民館は、占用部の面積を表記。

４）コストの状況

- 各施設の年間コスト（令和元年度から令和５年度の平均値）は、本庄公民館は約 28,840 千円と最も高くなっており、次いで児玉中央公民館は約 7,020 千円、本庄南公民館は約 5,740 千円、本庄東公民館は約 5,550 千円の順となっています。その他の公民館は約 4,000 千円前後となっており、児玉公民館は約 2,780 千円となっています。なお、児玉公民館は、平成 27 年度に整備された複合施設内に移転したため、年間コストに占める維持管理費の割合が低くなっています。
- 利用者１人当たりのコストは、約 190 円～約 4,580 円と幅があります。このうち、本庄公民館は約 4,580 円、仁手公民館は約 1,110 円、その他の公民館は数百円となっていることから、この２施設は利用者１人当たりのコストが高くなっています。
- 各施設の収入は、行政財産使用料などから、旭公民館は約 210 千円、児玉中央公民館は約 120 千円、その他の公民館は０～約 90 千円となっており、年間コストに対して低額となっています。

【公民館のコスト状況（令和元年度～令和5年度平均値） 単位：千円】



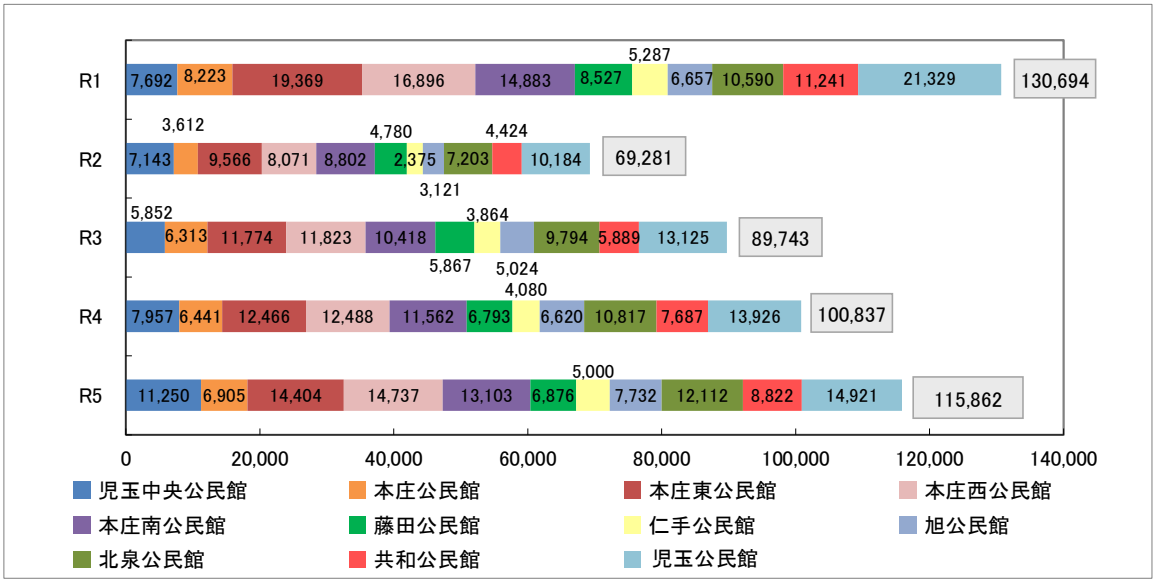
5）維持管理・運営状況

- 児玉中央公民館は直営で維持管理・運営を行っていますが、夜間・休日の受付は業務委託を行っています。
- その他の施設は全て直営で維持管理・運営を行っています。

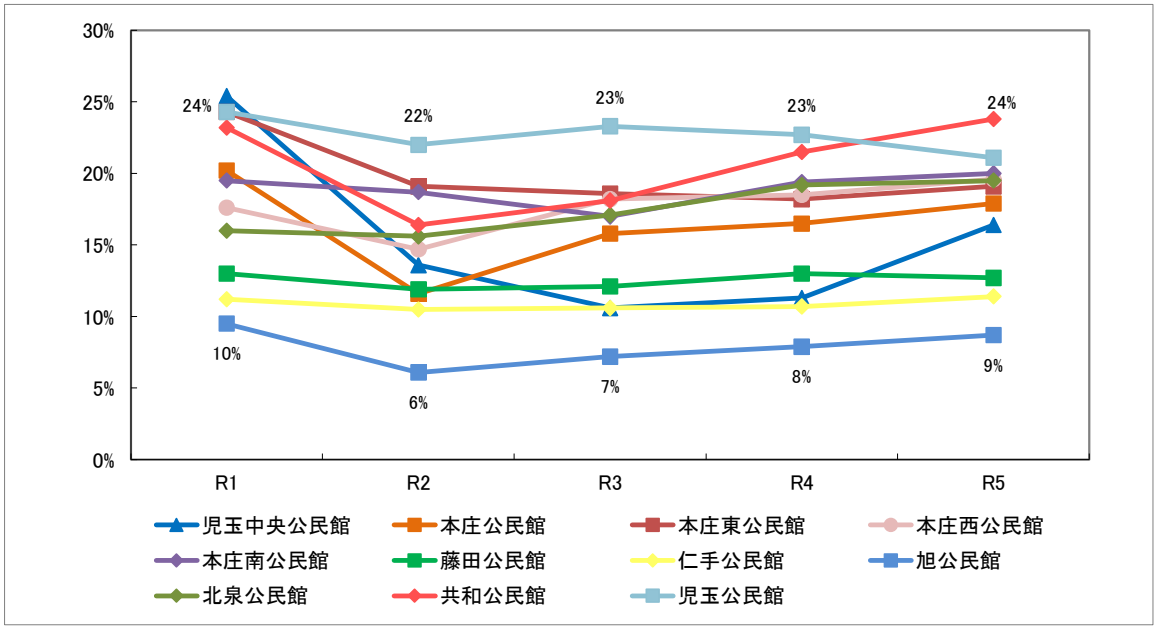
６）利用状況

- 公民館の利用者数は、令和５年度に約 116 千人の利用があり、新型コロナウイルス感染症の影響により令和２年度は大きく減少しましたが、徐々に回復しています。
- 施設別には、令和５年度では児玉中央公民館、本庄東公民館、本庄西公民館、本庄南公民館、北泉公民館、児玉公民館が多く、年間 10 千人を超えています。
- 貸室全体の平均稼働率は、全ての施設が 30%以下となっており、特に、旭公民館、仁手公民館、藤田公民館では、令和元年度から令和５年度の平均稼働率が６～13%と低くなっています。
- 貸室別には、会議室や集会室等の多目的用途に利用可能な諸室が非常に高く、美術室（児玉中央公民館：美術工芸室、本庄南公民館：趣味の室（陶芸））なども稼働率が高くなっています。一方、和室や調理室の稼働率が低くなっています。
- 使用料収入は、児玉中央公民館はのみで、令和５年度では約 170 千円となっており、年間コストの 2.4%にとどまっています。

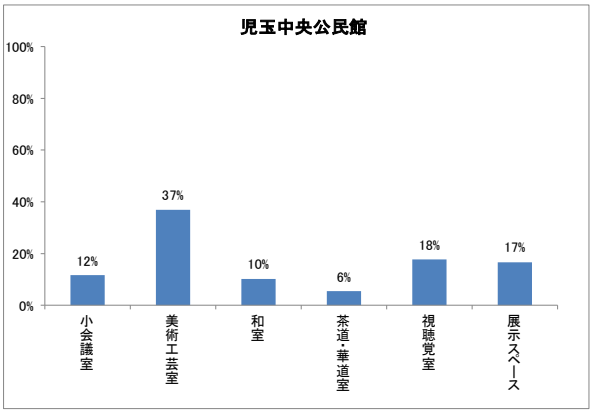
【公民館利用者数の推移　単位：人】

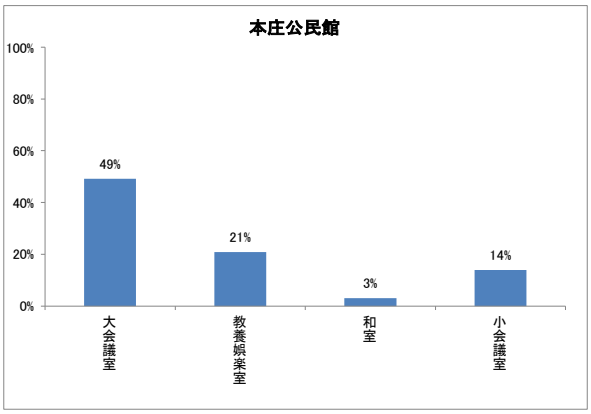


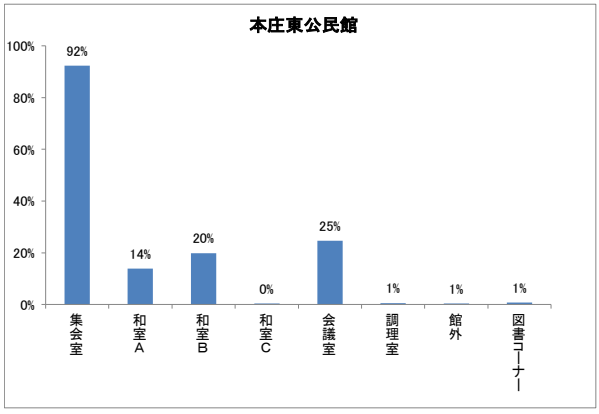
【公民館貸室全体の平均稼働率の推移】

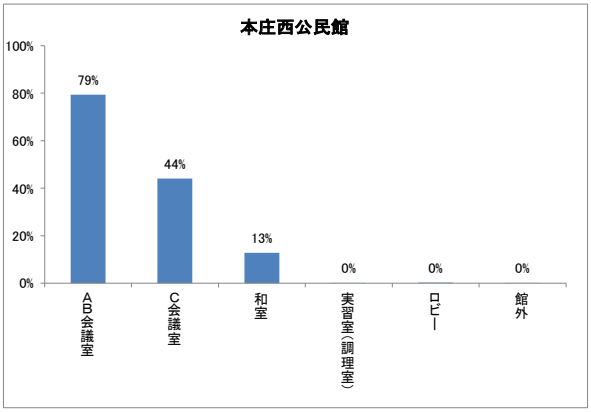


【公民館の貸室別稼働率（令和5年度）1/2】

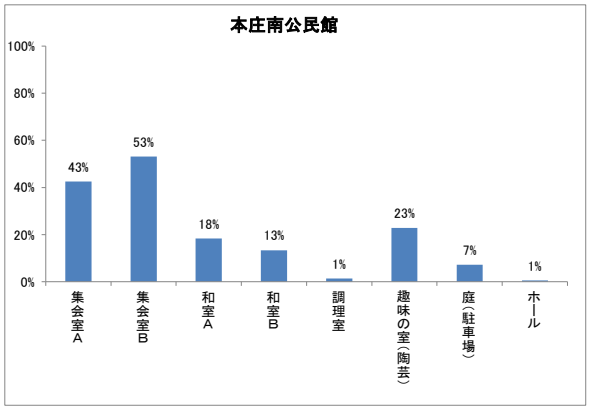


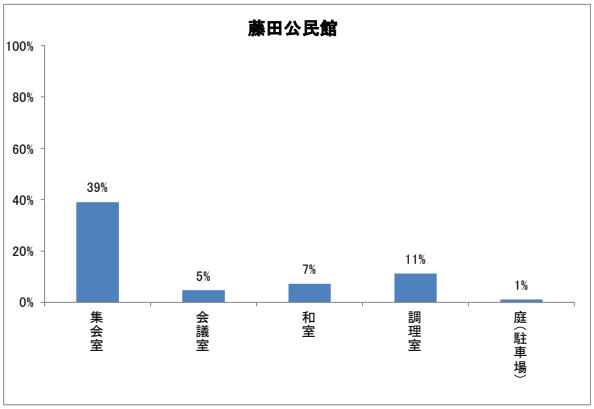


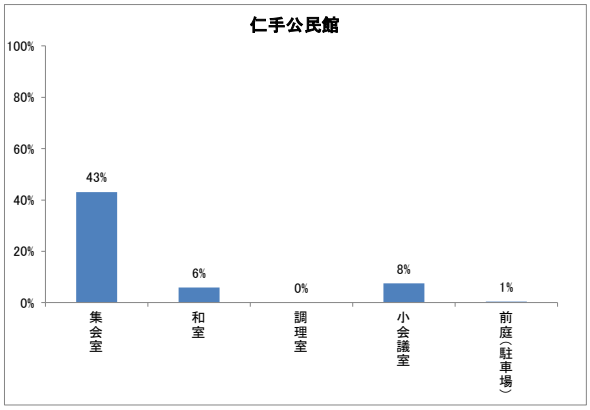


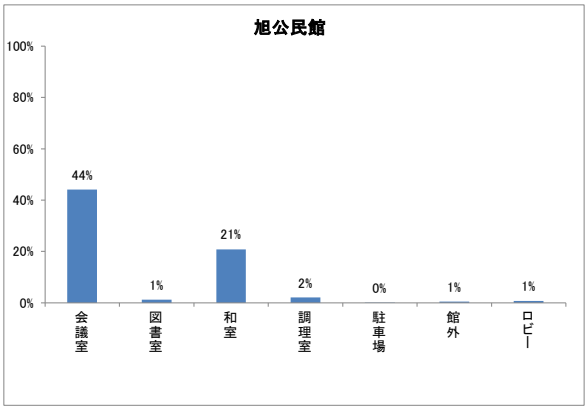


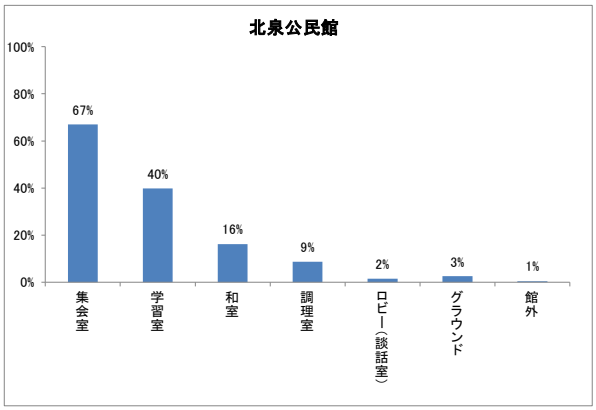
【公民館の貸室別稼働率（令和5年度）2/2】

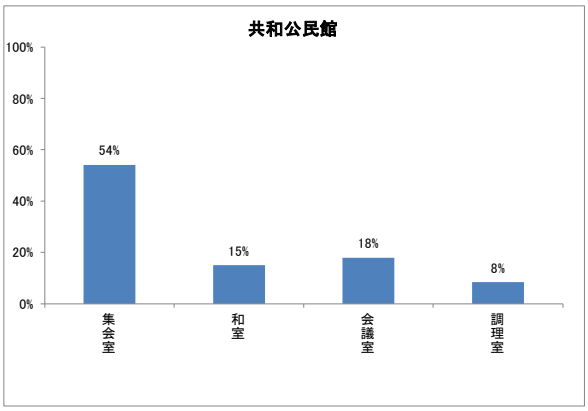


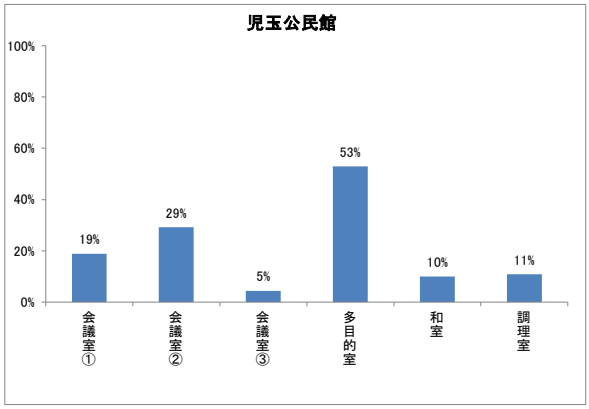




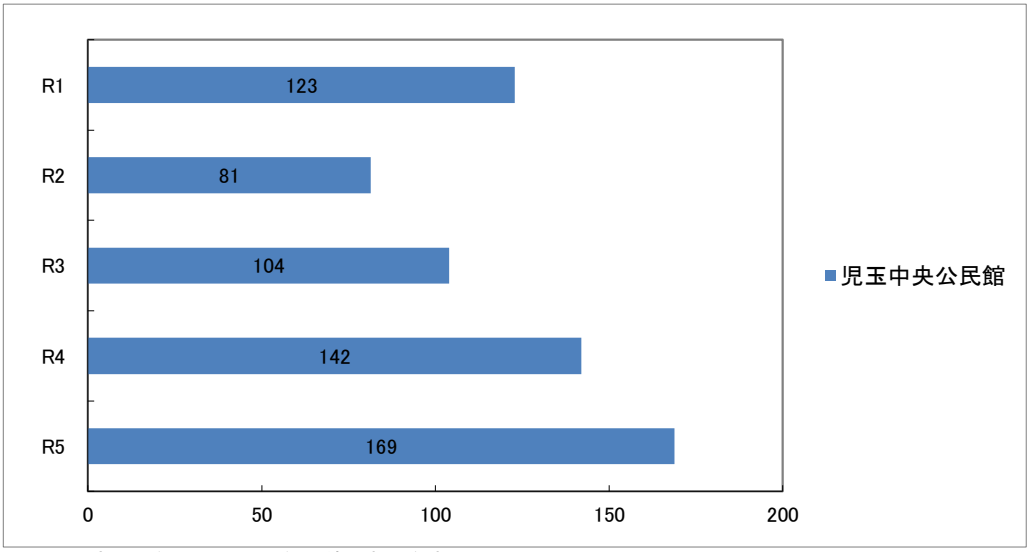








【公民館の貸室使用料収入状況　単位:千円】



※児玉中央公民館以外の公民館の使用料は無料。

7）課題

- 多数の施設が築後 40 年以上を経過しており、一部の施設は耐震性能が不明であることを踏まえた、施設の老朽化への対応。
- 全ての公民館で稼働率が 30%以下となっていることを踏まえた、公民館の利用促進。
- 地域ニーズに応じた貸室機能の一部見直し等による稼働率の向上。
- 年間コストに対する使用料収入の割合が低いことを踏まえた、受益者負担の見直し等による効率的な施設の維持管理・運営。
- 会議室や和室、多目的室等、類似機能の利用圏域が重複していることを踏まえた、機能や施設配置の見直し。

（2）市民活動施設

1）概要

- 市民相互の交流によるコミュニティづくり推進や福祉の増進のために、市民活動交流センター（はにぽんプラザ）、あさひ多目的研修センター、旧本庄商業銀行煉瓦倉庫を設置しています。
- 市民活動交流センター（はにぽんプラザ）は、平成 27 年度に供用開始した複合施設です。

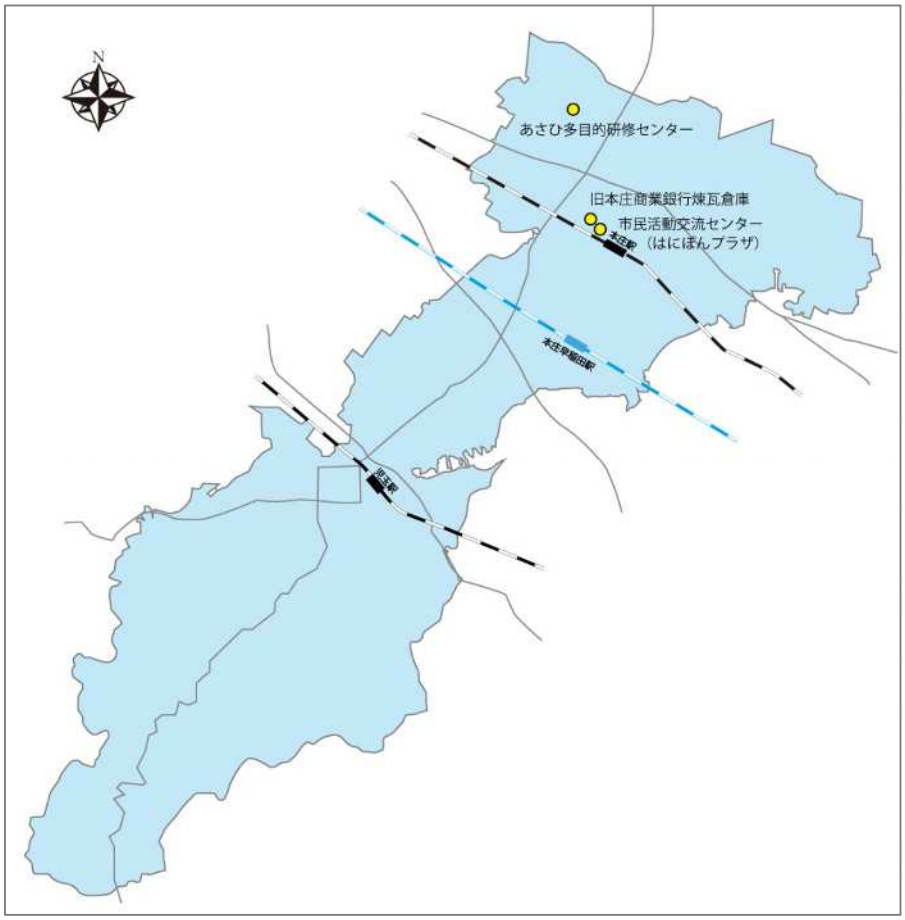
【市民活動施設の運営時間】

施設名称	運営時間	休館日
市民活動交流センター （はにぽんプラザ）	午前8時30分～午後10時	12月29日から翌年の1月3日
あさひ多目的研修センター	午前8時30分～午後10時	土曜日、日曜日、祝日 12月29日から翌年の1月3日
旧本庄商業銀行煉瓦倉庫	午前9時～午後7時	12月29日から翌年の1月3日

2）概要

- ３施設全てが本庄北地域に立地しています。

【市民活動施設の施設位置図】



3）建物の状況

- 市民活動交流センター（はにぽんプラザ）は、平成 27 年３月に竣工した複合施設です。
- 旧本庄商業銀行煉瓦倉庫は、耐震診断及び耐震改修済みの施設となっています。

【市民活動施設の建物状況】

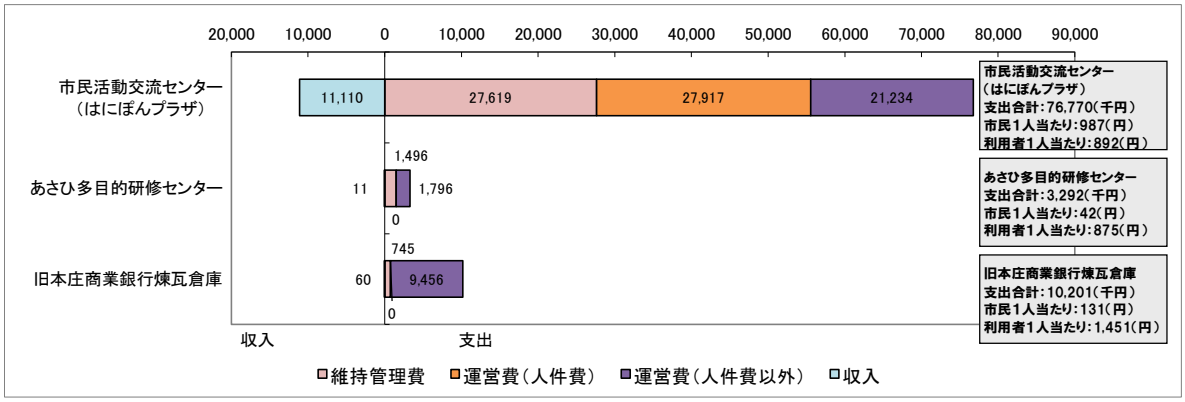
施設名称	竣工年月	築年数（R7.3現在）	耐震診断	耐震改修	構造・階数	延床面積(㎡)
市民活動交流センター（はにぽんプラザ）	平成27年3月	10	ー	ー	鉄筋コンクリート造	4,264
あさひ多目的研修センター	昭和60年3月	40	ー	ー	鉄筋コンクリート造	350
旧本庄商業銀行煉瓦倉庫	明治29年8月	128	済	済	鉄骨造、木造	711

※耐震診断及び耐震改修は、新耐震設計基準施行（昭和 56 年６月）以降に建築された施設が「−」。新耐震設計基準施行（昭和 56 年６月）以前に建築された施設のうち、耐震診断・耐震改修を実施した施設が「済」、実施していない施設が「未」。
※延床面積は、各施設の主要建物のみでなく、敷地内建物全体の延床面積（建築基準法による）を表記。

4）コストの状況

- 各施設の年間コスト（令和元年度から令和５年度の平均値）は、市民活動交流センター（はにぽんプラザ）は約 76,770 千円、あさひ多目的研修センターは約 3,300 千円、旧本庄商業銀行煉瓦倉庫は約 10,200 千円となっています。このうち、あさひ多目的研修センターは業務委託、旧本庄商業銀行煉瓦倉庫は指定管理者制度により維持管理・運営を行っていることから人件費は発生していません。
- 利用者１人当たりのコストは、市民活動交流センター（はにぽんプラザ）は約 890 円、あさひ多目的研修センターは約 880 円、旧本庄商業銀行煉瓦倉庫は約 1,450 円となっています。
- 各施設の収入は、使用料収入、行政財産使用料などから、市民活動交流センター（はにぽんプラザ）は約 11,110 千円、あさひ多目的研修センターは約 11 千円、旧本庄商業銀行煉瓦倉庫は約 60 千円となっており、市民活動交流センター（はにぽんプラザ）以外は年間コストに対して低額となっています。

【市民活動施設のコスト状況（令和元年度～令和5年度平均値） 単位：千円】



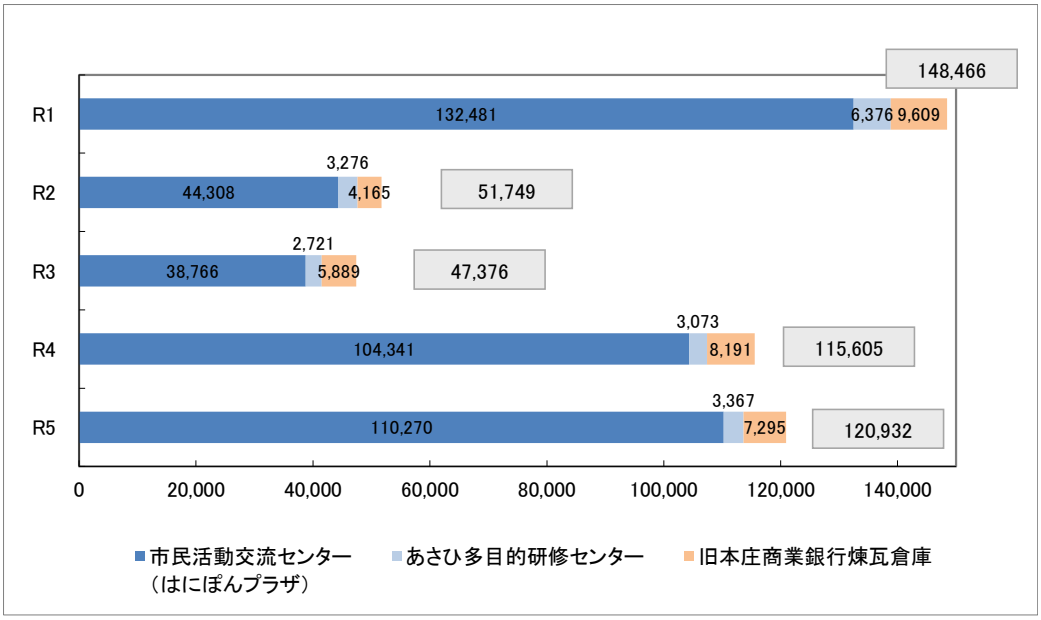
５）維持管理・運営状況

- 市民活動交流センター（はにぽんプラザ）はネーミングライツ導入施設です。
- あさひ多目的研修センターは、業務委託により維持管理・運営を行っています。
- 旧本庄商業銀行煉瓦倉庫は、令和元年４月から指定管理者制度を導入して維持管理・運営を行っています。

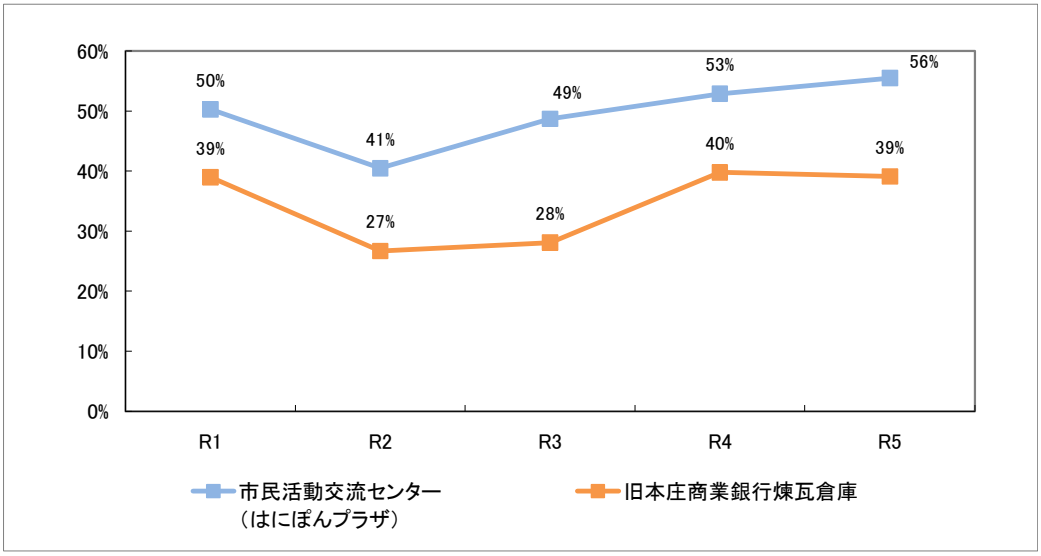
６）利用状況

- 市民活動施設の利用者数は、令和５年度で約 121 千人の利用があり、新型コロナウイルス感染症の影響により令和２年度、令和３年度は大きく減少しましたが、徐々に回復しています。
- 施設別の利用者数は、令和５年度では市民活動交流センター（はにぽんプラザ）が年間 110 千人を超えています。
- 貸室全体の平均稼働率は、令和５年度時点で市民活動交流センター（はにぽんプラザ）が 50%を超え、旧本庄商業銀行煉瓦倉庫が約 40%となっています。
- 貸室別には、市民活動交流センター（はにぽんプラザ）のフィットネスルーム、活動室Ｂ、多目的ホールなどの稼働率が約 70～80%と高くなっています。一方、市民活動交流センター（はにぽんプラザ）のＩＴ活動室、和室、旧本庄商業銀行煉瓦倉庫の多目的ホールの稼働率は約 30%です。
- 使用料収入は、市民活動交流センター（はにぽんプラザ）のみで、令和５年度では約 8, 110 千円となっており、年間コストの 10%程度となっています。

【市民活動施設利用者数の推移　単位：人】

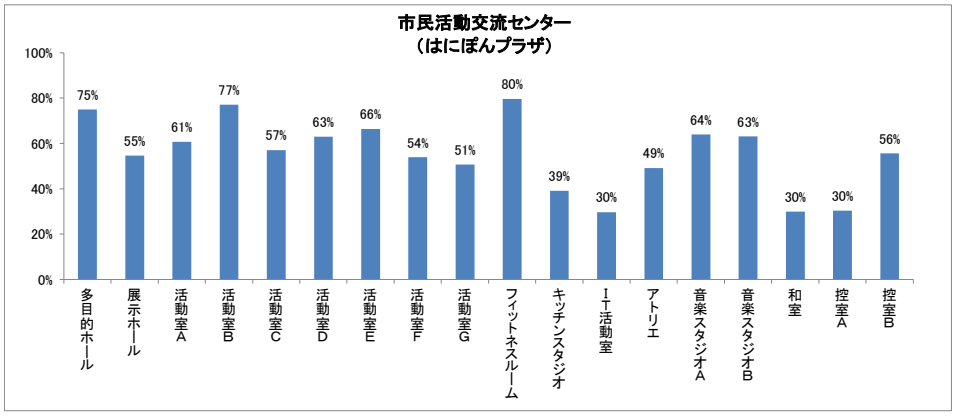


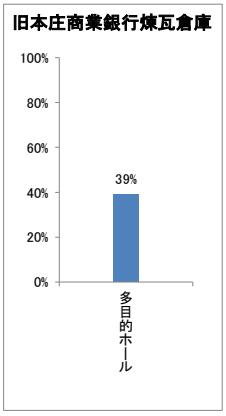
【市民活動施設貸室全体の平均稼働率の推移】



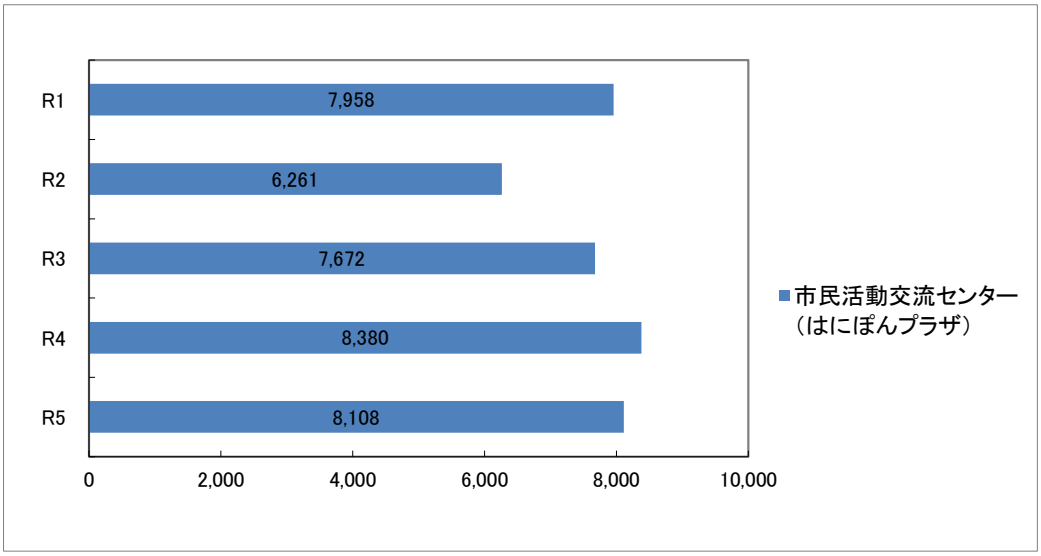
※あさひ多目的研修センターについては、稼働率の計測なし。

【市民活動施設の貸室別稼働率（令和5年度）】





【市民活動施設の貸室使用料収入　単位：千円】



※あさひ多目的研修センターの使用料は無料。

7）課題

- 地域ニーズに応じた貸室機能の一部見直し等による稼働率の向上。
- 年間コストに対する使用料収入の割合が低いことを踏まえた、受益者負担の見直し等による効率的な施設の維持管理・運営。

（３）文化施設

１）概要

- 市民文化の向上による福祉の増進を図ることを目的として、市民の文化活動の拠点的施設として文化会館（２施設）を設置し、ホールや会議室の貸出し等を行っています。

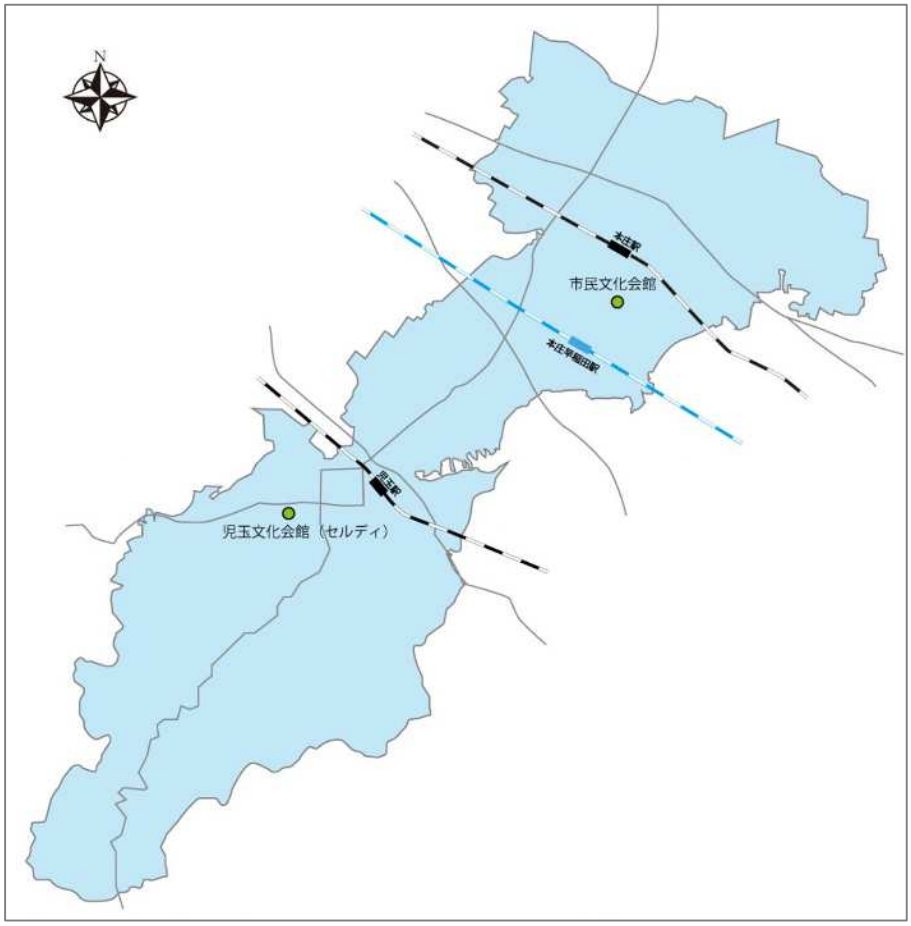
【文化施設の運営時間】

施設名称	運営時間	休館日
市民文化会館	午前9時～午後9時30分	月曜日（祝日の場合は翌日）、 12月28日から翌年の1月4日
児玉文化会館（セルディ）	午前9時～午後9時30分	月曜日（祝日の場合は翌日）、 12月28日から翌年の1月4日

２）配置状況

- 本庄南地域と児玉北地域に１施設ずつ立地しています。

【文化施設の施設位置図】



３）建物状況

- 市民文化会館は築後 30 年以上経過していますが耐震改修を完了しています。

【文化施設の建物状況】

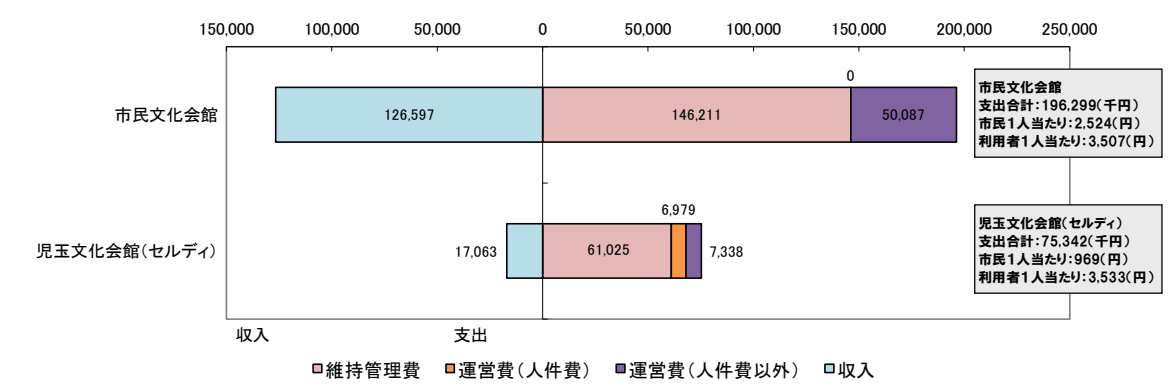
施設名称	竣工年月	築年数（R7.3現在）	耐震診断	耐震改修	構造・階数	延床面積(㎡)
市民文化会館	昭和55年11月	45	済	済	鉄筋コンクリート造	5,716
児玉文化会館（セルディ）	平成7年10月	30	－	－	鉄骨鉄筋コンクリート造	3,158

※耐震診断及び耐震改修は、新耐震設計基準施行（昭和 56 年6月）以降に建築された施設が「−」。新耐震設計基準施行（昭和 56 年6月）以前に建築された施設のうち、耐震診断・耐震改修を実施した施設が「済」、実施していない施設が「未」。
※延床面積は、各施設の主要建物のみでなく、敷地内建物全体の延床面積（建築基準法による）を表記。
また、複合施設の児玉文化会館（セルディ）は、占用部の面積を表記。

4）コストの状況

- 各施設の年間コスト（令和元年度から令和５年度の平均値）は、市民文化会館は約 196, 300 千円、児玉文化会館（セルディ）は約 75, 340 千円となっています。このうち、市民文化会館は、指定管理者制度を導入した維持管理・運営を行っているため、人件費は発生していません。
- 利用者１人当たりのコストは、市民文化会館は約 3, 500 円、児玉文化会館（セルディ）は約 3, 530 円となっています。
- 各施設の収入は、使用料収入などから、市民文化会館は約 126, 600 千円、児玉文化会館（セルディ）は約 17, 060 千円となっており、市民文化会館では使用料収入を指定管理者の収入とする形態で運営が行われています。

【文化施設のコスト状況（令和元年度～令和5年度平均値） 単位：千円】



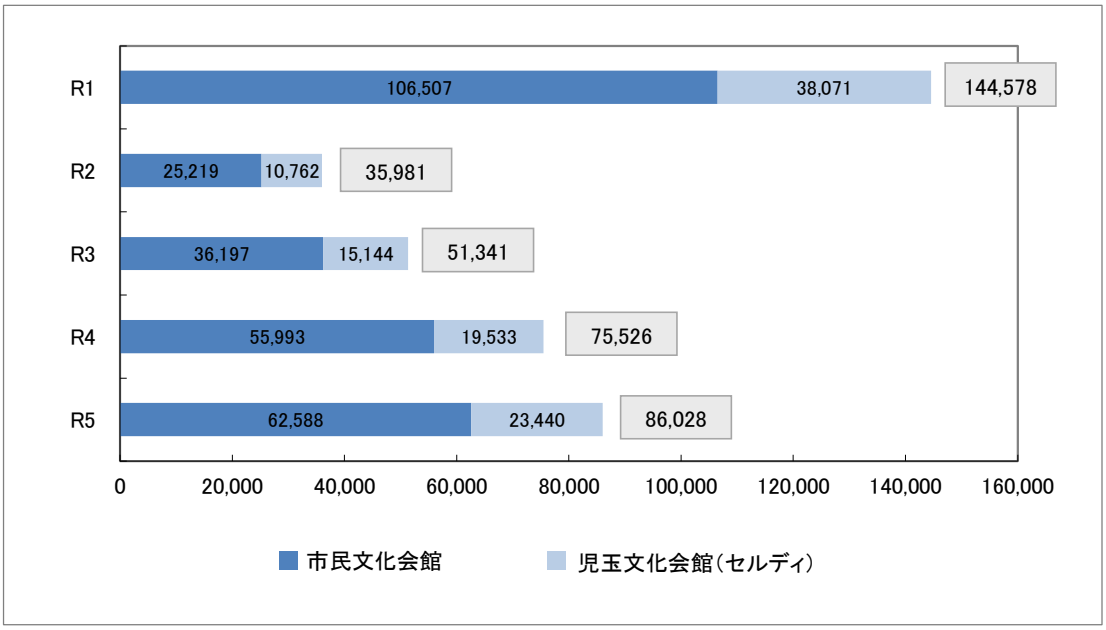
5）維持管理・運営状況

- 市民文化会館は、平成 18 年９月から指定管理者制度を導入して維持管理・運営を行っています。
- 児玉文化会館（セルディ）は、直営で維持管理・運営を行っていますが、夜間・休日の受付は業務委託を行っています。

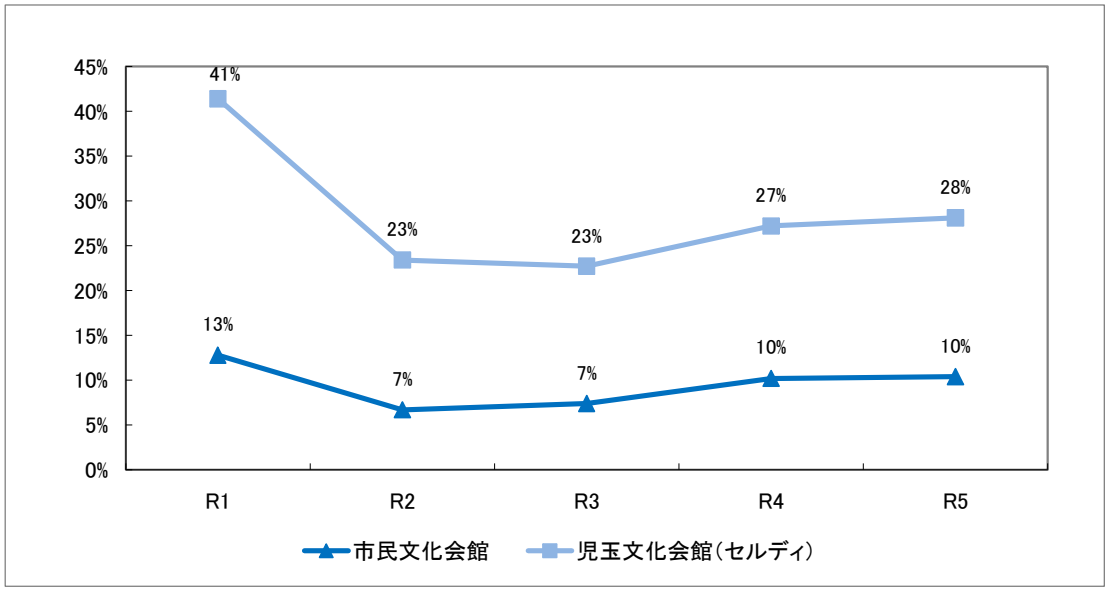
６）利用状況

- 文化施設の利用者数は、令和５年度で約 86 千人の利用があり、新型コロナウイルス感染症の影響により令和２年度は大きく減少しましたが、徐々に回復しているものの、令和元年度の水準には戻っていません。
- 施設別の利用者数は、令和５年度では、市民文化会館は約 63 千人、児玉文化会館（セルディ）は約 23 千人となっています。
- 貸室全体の平均稼働率は、令和５年度時点で市民文化会館は約 10%、児玉文化会館（セルディ）は約 30%となっています。
- 貸室別には、市民文化会館の第４会議室と第３会議室、ホール、児玉文化会館（セルディ）の大会議室、リハーサル室兼楽屋の稼働率が高くなっています。
- 使用料収入は、児玉文化会館（セルディ）のみで、令和５年度では約 2,480 千円となっており、年間コストの 3.3%にとどまっています。

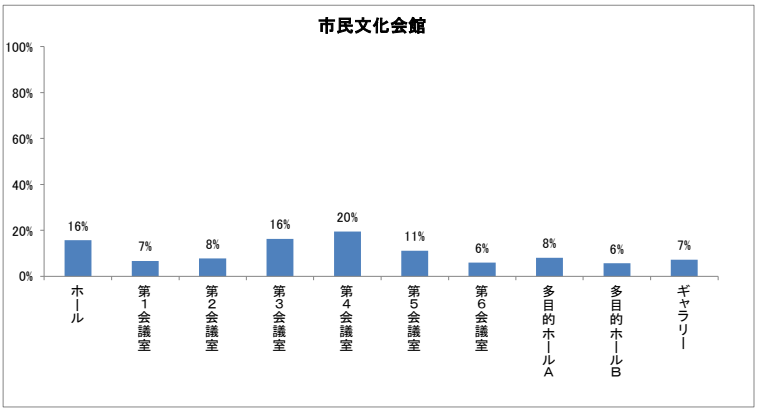
【文化施設利用者数の推移　単位:人】

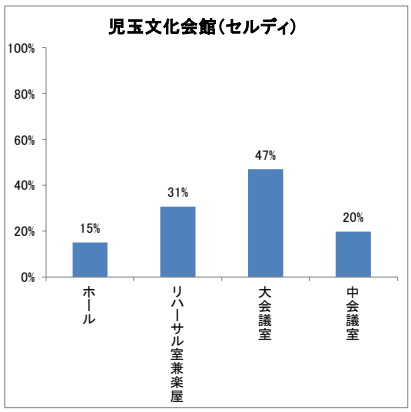


【文化施設貸室全体の平均稼働率の推移】

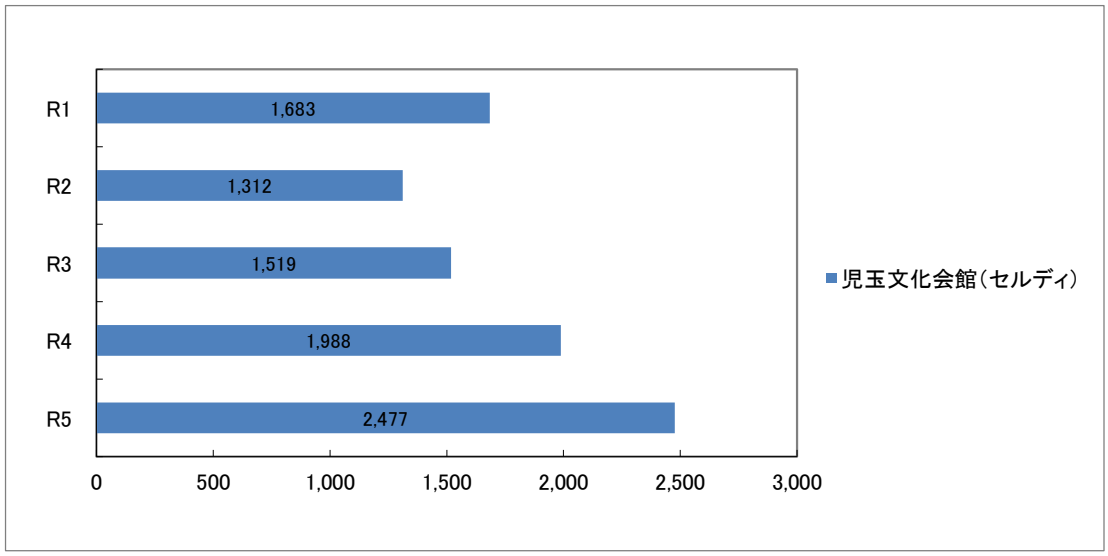


【文化施設の貸室別稼働率（令和5年度）】





【文化施設の貸室使用料収入　単位：千円】



7）課題

- 市民文化会館、児玉文化会館（セルディ）における施設規模が比較的大きいことを踏まえた施設の効率的な維持・更新。
- 市民文化会館、児玉文化会館（セルディ）における貸室機能の一部見直し等による稼働率の向上。
- 児玉文化会館（セルディ）における指定管理者制度の導入等を考慮した効率的な施設の維持管理・運営。
- 年間コストに対する使用料収入の割合が低いことを踏まえた受益者負担の見直し等による効率的な施設の維持管理・運営。

（４）図書館

１）概要

- 社会教育法及び図書館法の趣旨に基づいて、市民の文化や教養を育むことを目的として、図書館（２施設）を設置し、図書の貸出し等を実施しています。

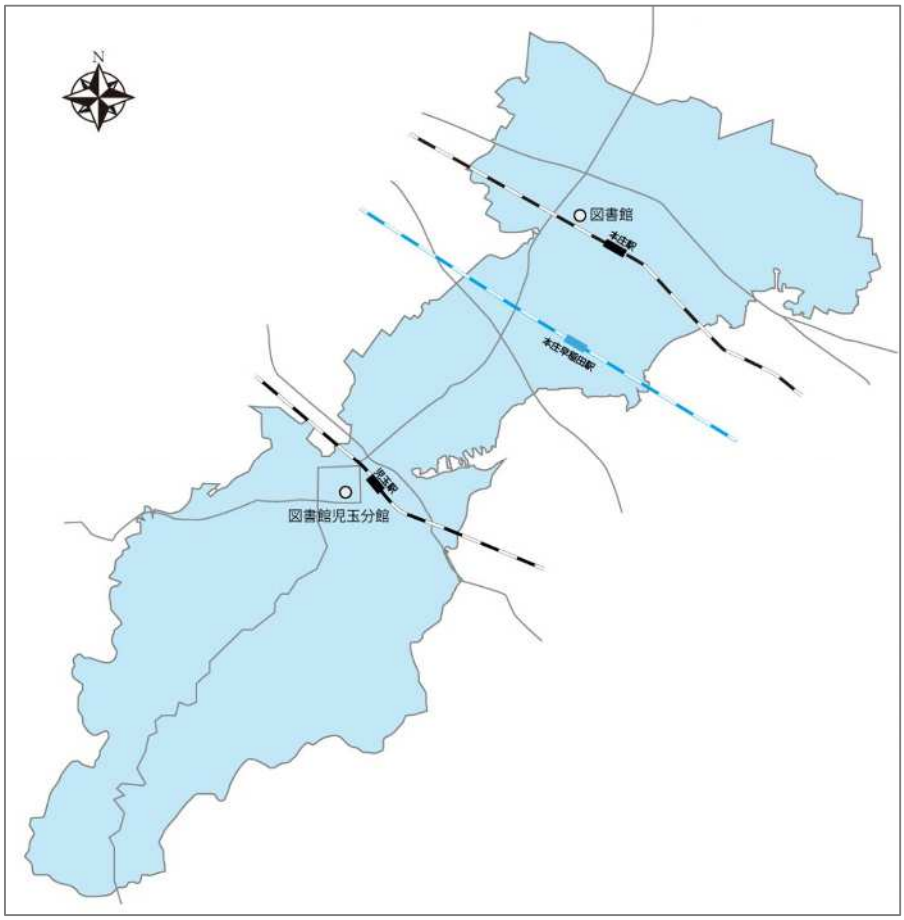
【図書館の運営時間】

施設名称	運営時間	休館日
図書館	午前9時30分～午後6時15分 木曜日、金曜日：午前9時30分～午後8時	毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、 12月28日から翌年の1月4日、館内整理日、 特別整理期間
図書館児玉分館	午前9時30分～午後6時15分	毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、 12月28日から翌年の1月4日、館内整理日、 特別整理期間

２）配置状況

- 本庄北地域と児玉北地域に１施設ずつ立地しています。

【図書館の施設位置図】



3）建物の状況

- 図書館は築後 40 年以上経過しており、図書館児玉分館は築後約 30 年を経過しています。

【図書館の建物状況】

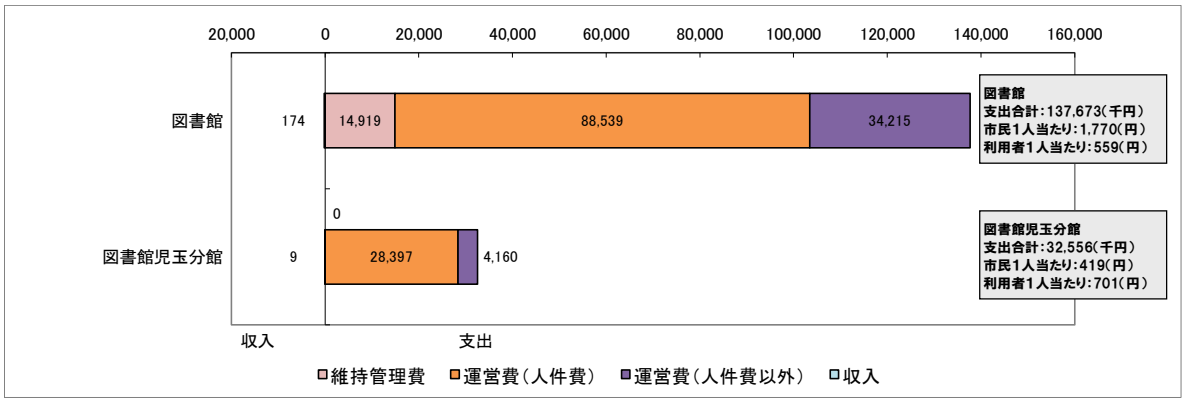
施設名称	竣工年月	築年数 (R7.3現在)	耐震診断	耐震改修	構造・階数	延床面積(㎡)
図書館	昭和56年7月	44	済	済	鉄筋コンクリート造	2,820
図書館児玉分館	平成7年10月	30	－	－	鉄骨鉄筋コンクリート造 一部鉄筋コンクリート造	582

※耐震診断及び耐震改修は、新耐震設計基準施行（昭和 56 年6月）以降に建築された施設が「－」。新耐震設計基準施行（昭和 56 年6月）以前に建築された施設のうち、耐震診断・耐震改修を実施した施設が「済」、実施していない施設が「未」。
※延床面積は、各施設の主要建物のみでなく、敷地内建物全体の延床面積（建築基準法による）を表記。
また、複合施設の図書館児玉分館は、占用部の面積を表記。

4）コストの状況

- 各施設の年間コスト（令和元年度から令和５年度の平均値）は、図書館は約 137,670 千円、図書館児玉分館は約 32,560 千円となっています。なお、両施設ともに直営で維持管理・運営を行っているため、人件費が年間コストの大部分を占めています。
- 貸出１点当たりのコストは、図書館は約 560 円、図書館児玉分館は約 700 円となっています。
- 各施設の収入は、行政財産使用料などから、図書館は約 170 千円、図書館児玉分館は約９千円となっています。

【図書館のコスト状況（令和元年度～令和5年度平均値） 単位：千円】



5）維持管理・運営状況

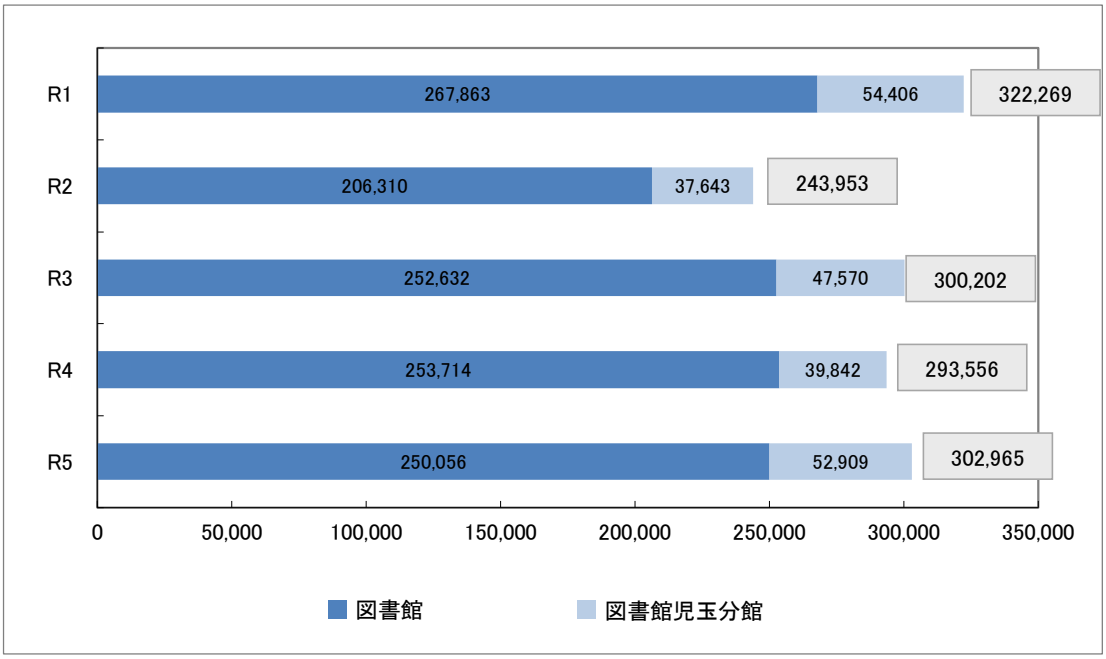
- 図書館、図書館児玉分館とも直営で維持管理・運営を行っています。

6）利用状況

- 図書館の貸出点数は、令和５年度に約 303 千点の利用があり、新型コロナウイルス感染症の影響により令和２年度は大きく減少しましたが、徐々に回復しています。

- 施設別の貸出点数は、令和５年度時点で図書館は約 250 千点、図書館児玉分館は約 53 千点となっています。なお、図書館は貸出点数が減少しており、図書館児玉分館は、令和４年度の貸出点数が令和３年度より減少したものの、令和５年度は増加しています。

【図書館の利用状況　単位：点】



7）課題

- 施設規模や年間コストを踏まえた、図書館、図書館児玉分館における効率的な施設の維持管理・運営。

（５）スポーツ施設

１）概要

- 市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの推進を図り、もって市民の心身の健全な発達に寄与することを目的として、体育館（２施設）、若泉運動公園弓道場、若泉運動公園武道館、市民球場を設置し、施設の貸出し等を行っています。

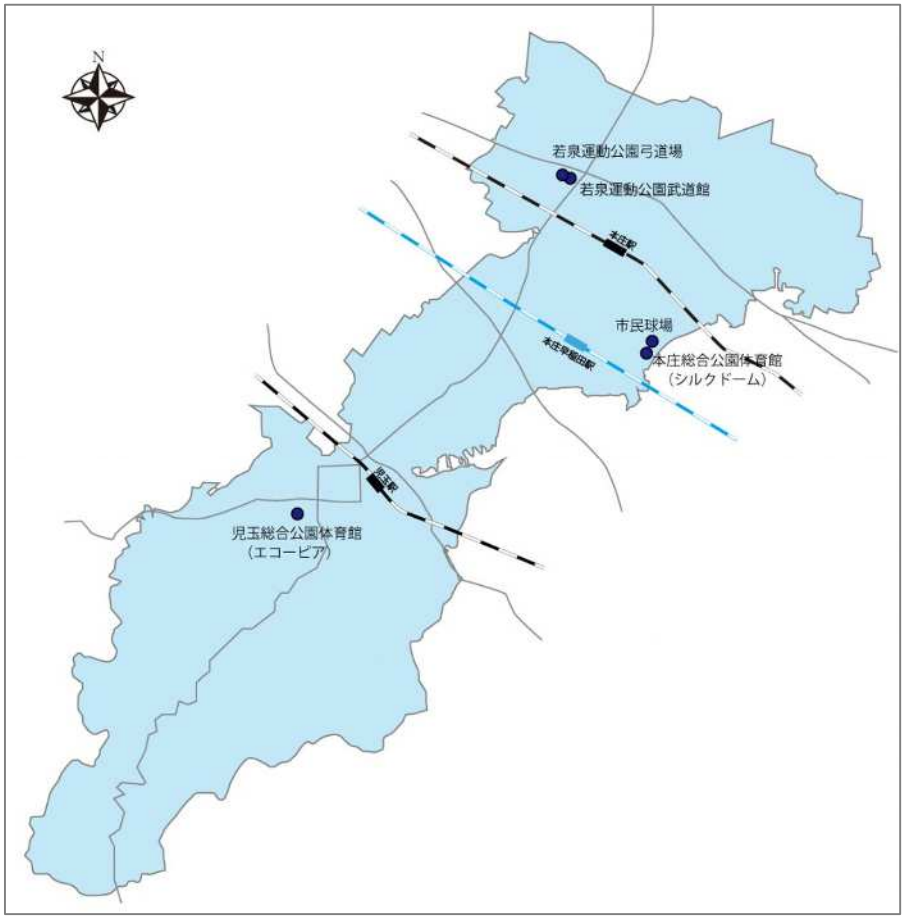
【スポーツ施設の運営時間】

施設名称	運営時間	休館日
若泉運動公園弓道場	午前8時～午後10時	12月28日から翌年の1月4日
若泉運動公園武道館	午前9時～午後9時30分	12月28日から翌年の1月4日
市民球場	3月、12月：午前9時～午後5時 4月、10月、11月：午前9時～午後9時 5月～9月：午前5時30分～午後9時	1月、2月、 12月28日から翌年の1月4日
本庄総合公園体育館 （シルクドーム）	午前9時～午後9時30分	12月28日から翌年の1月4日
児玉総合公園体育館 （エコーピア）	午前9時～午後9時30分	12月28日から翌年の1月4日

２）配置状況

- 本庄北地域、本庄南地域に多く立地（全５施設中４施設）している一方、児玉南地域には立地しておらず、立地分布に偏りがあります。

【スポーツ施設の施設位置図】



3）建物の状況

- 若泉運動公園弓道場は築後 40 年以上経過しており、耐震診断を行っておらず、耐震性能は不明です。

【スポーツ施設の建物状況】

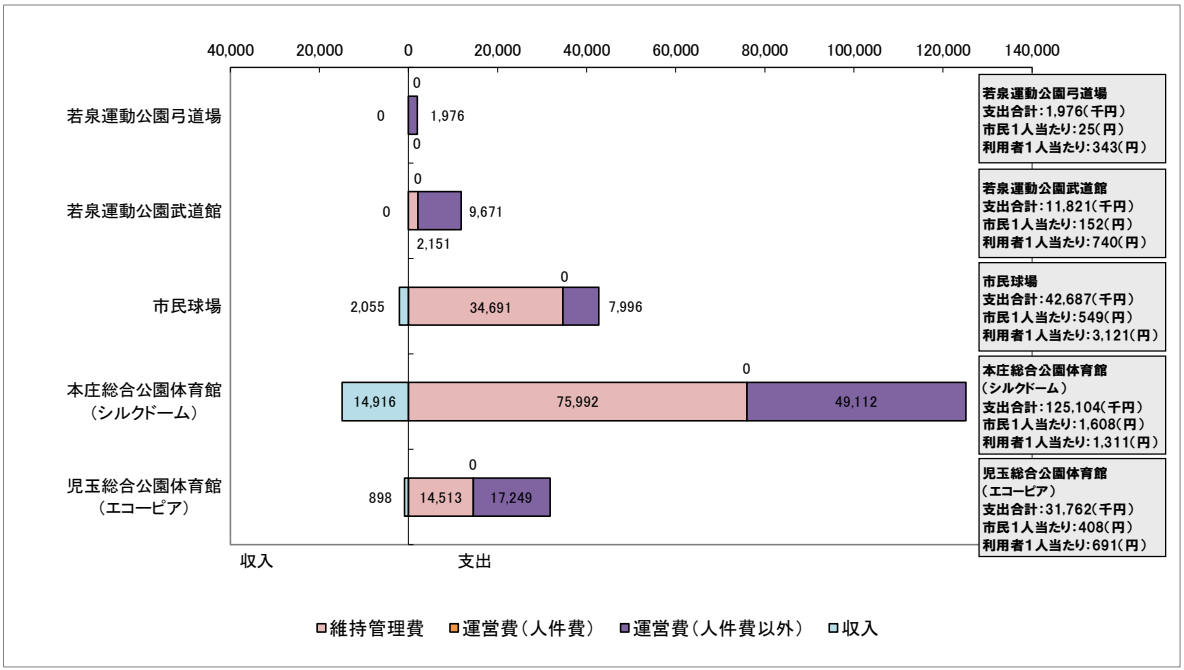
施設名称	竣工年月	築年数 (R7.3現在)	耐震診断	耐震改修	構造・階数	延床面積(㎡)
若泉運動公園弓道場	昭和56年3月	44	未	未	鉄骨造	256
若泉運動公園武道館	昭和61年3月	39	－	－	鉄骨鉄筋コンクリート造 一部鉄筋コンクリート造	1,236
市民球場	平成6年3月	31	－	－	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造	1,176
本庄総合公園体育館 （シルクドーム）	平成13年12月	24	－	－	鉄骨鉄筋コンクリート造	7,521
児玉総合公園体育館 （エコーピア）	平成15年4月	22	－	－	プレキャストプレストレスト 鉄筋コンクリート造	4,439

※耐震診断及び耐震改修は、新耐震設計基準施行（昭和 56 年6月）以降に建築された施設が「－」。新耐震設計基準施行（昭和 56 年6月）以前に建築された施設のうち、耐震診断・耐震改修を実施した施設が「済」、実施していない施設が「未」。
※延床面積は、各施設の主要建物のみでなく、敷地内建物全体の延床面積（建築基準法による）を表記。

4）コストの状況

- 各施設の年間コスト（令和元年度から令和５年度の平均値）は、若泉運動公園弓道場は約 1,980 千円、若泉運動公園武道館は約 11,820 千円、市民球場は約 42,690 千円、本庄総合公園体育館（シルクドーム）は約 125,100 千円、児玉総合公園体育館（エコーピア）は約 31,760 千円となっています。
- 利用者１人当たりのコストは、若泉運動公園弓道場は約 340 円、若泉運動公園武道館は約 740 円、児玉総合公園体育館（エコーピア）は約 690 円となっていますが、市民球場は約 3,120 円、本庄総合公園体育館（シルクドーム）は約 1,310 円と高くなっています。
- 各施設の収入は、施設使用料などから、市民球場は約 2,060 千円、本庄総合公園体育館（シルクドーム）は約 14,920 千円、児玉総合公園体育館（エコーピア）は約 900 千円となっており、年間コストに対して低額となっています。

【スポーツ施設のコスト状況（令和元年度～令和5年度平均値） 単位：千円】



※若泉運動公園武道館の維持管理費には、若泉運動公園グラウンドの照明費用を含む。

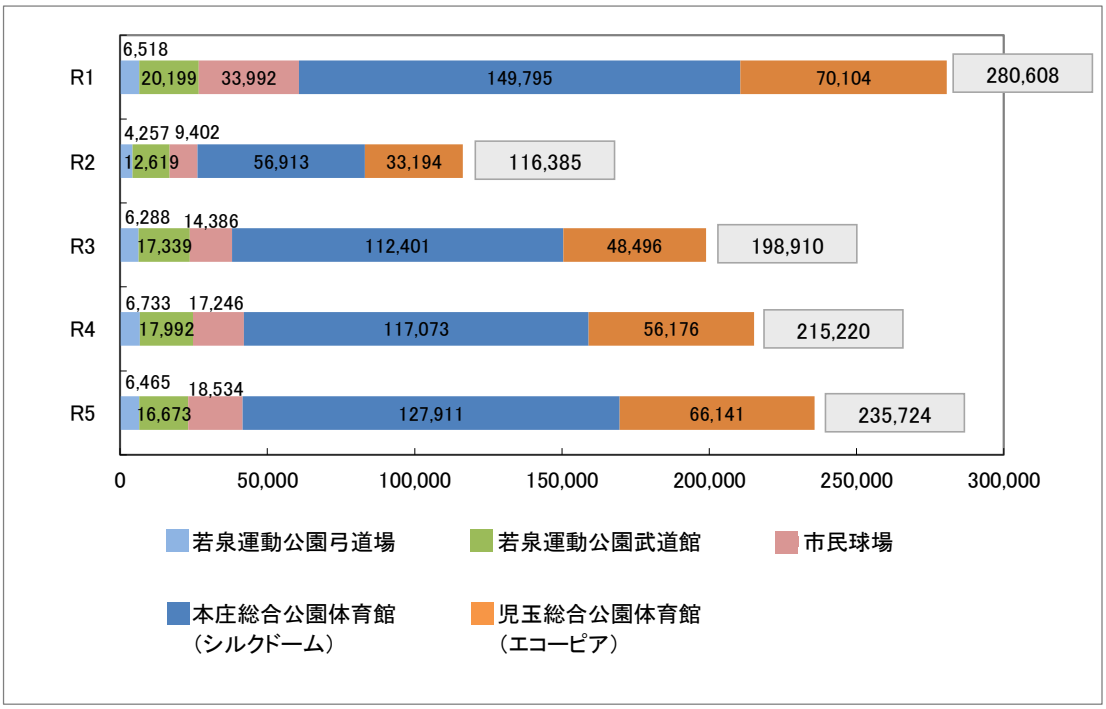
5）維持管理・運営状況

- 全ての施設で平成 25 年４月から指定管理者制度を導入して維持管理・運営を行っています。

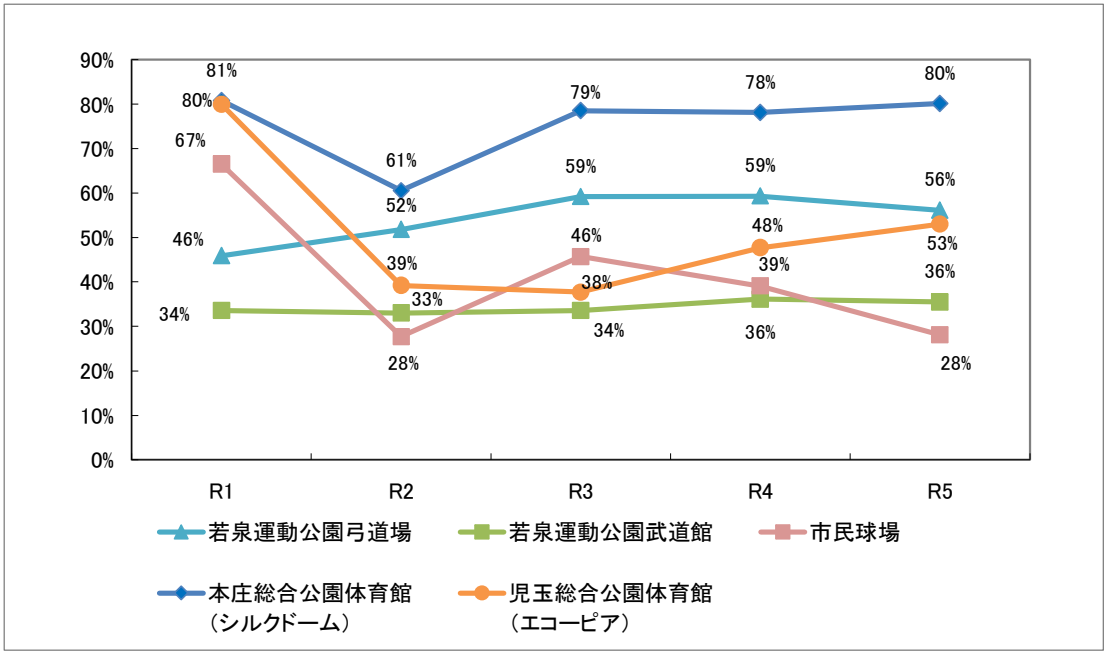
6）利用状況

- スポーツ施設の利用者数は、令和５年度は約 236 千人の利用があり、新型コロナウイルス感染症の影響により令和２年度は大きく減少しましたが、徐々に回復しています。
- 施設別の利用者数は、令和５年度では、本庄総合公園体育館（シルクドーム）は約 128 千人、児玉総合公園体育館（エコーピア）は約 66 千人となっています。
- 貸室全体の平均稼働率は、令和５年度時点で本庄総合公園体育館（シルクドーム）は 80%、若泉運動公園弓道場は 56%、児玉総合公園体育館（エコーピア）は 53%と高くなっています。
- 使用料収入はありません。

【スポーツ施設利用者数の推移　単位：人】



【スポーツ施設貸室全体の平均稼働率の推移】



7）課題

- 若泉運動公園弓道場の大規模改修等による施設の安全性確保。
- 本庄総合公園体育館（シルクドーム）、児玉総合公園体育館（エコーピア）における、施設規模が比較的大きいことを踏まえた光熱費削減等による効率的な施設の維持・更新。
- 年間コストに対する使用料収入の割合が低いことを踏まえた受益者負担の見直し等による効率的な施設の維持管理・運営。

（６）産業振興施設

１）概要

- 観光振興における地域社会の活性化を目的として、観光農業施設（２施設）や本庄駅南口に複合施設としてインフォメーションセンターと駐輪場を設置し、展示販売や情報発信等を行っています。

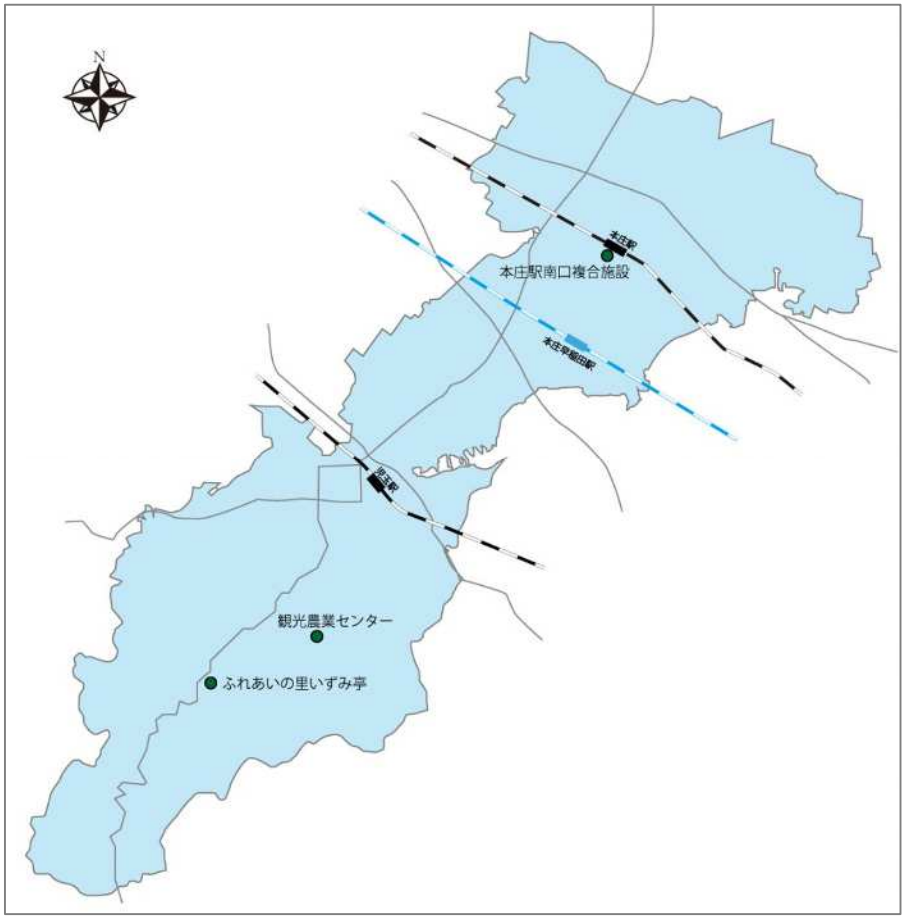
【産業振興施設の運営時間】

施設名称	運営時間	休館日
観光農業センター	午前10時～午後5時	木曜日（祝日の場合は開館）、 12月26日から翌年の1月7日
ふれあいの里いずみ亭	平日：午前11時～午後3時 土曜日、日曜日、祝日：午前11時～午後7時 （但し、11月～3月：午後5時）	木曜日（祝日の場合は翌日）、 12月29日から翌年の1月3日
本庄駅南口複合施設	インフォメーションセンター：午前9時～午後9時 南口自転車駐車場：日曜日、祝日：午前6時～午後5時、その他の日：午前6時～午後10時	インフォメーションセンター：12月29日から翌年の1月3日 南口自転車駐車場：なし

２）配置状況

- 本庄駅に直結して本庄駅南口複合施設が立地しており、児玉北地域に観光農業センターが、児玉南地域にふれあいの里いずみ亭が立地しています。

【産業振興施設の施設位置図】



3）建物の状況

- 全ての施設が平成以降に建設されています。

【産業振興施設の建物状況】

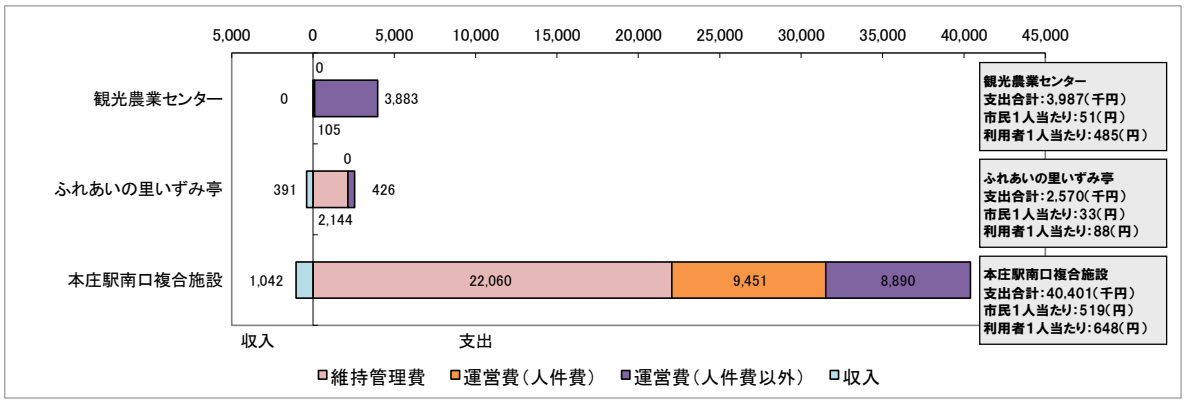
施設名称	竣工年月	築年数（R7.3現在）	耐震診断	耐震改修	構造・階数	延床面積(㎡)
観光農業センター	平成3年12月	34	－	－	木造	248
ふれあいの里いずみ亭	平成16年1月	21	－	－	木造	249
本庄駅南口複合施設	平成7年8月	30	－	－	鉄骨造・一部鉄筋コンクリート造	2,446

※耐震診断及び耐震改修は、新耐震設計基準施行（昭和 56 年6月）以降に建築された施設が「－」。新耐震設計基準施行（昭和 56 年6月）以前に建築された施設のうち、耐震診断・耐震改修を実施した施設が「済」、実施していない施設が「未」。
※延床面積は、各施設の主要建物のみでなく、敷地内建物全体の延床面積（建築基準法による）を表記。

4）コストの状況

- 各施設の年間コスト（令和元年度から令和５年度の平均値）は、観光農業センターは約 3, 990 千円、ふれあいの里いずみ亭は約 2, 570 千円、本庄駅南口複合施設は約 40, 400 千円となっています。このうち、観光農業センター、本庄駅南口複合施設は、指定管理者制度を導入した維持管理・運営を行っているため、運営費（人件費以外）の割合が高くなっています。
- ふれあいの里いずみ亭は、飲食・物販等に伴う収入を指定管理者の収入とする形態（独立採算）で維持管理・運営を行っているため、年間コストが低くなっています。
- 利用者１人当たりのコストは、観光農業センターは約 490 円、ふれあいの里いずみ亭は約 90 円、本庄駅南口複合施設は約 650 円となっています。
- 各施設の収入は、施設使用料などから、ふれあいの里いずみ亭が約 390 千円、本庄駅南口複合施設が約 1, 040 千円となっています。

【産業振興施設のコスト状況（令和元年度～令和5年度平均値） 単位：千円】



5）維持管理・運営状況

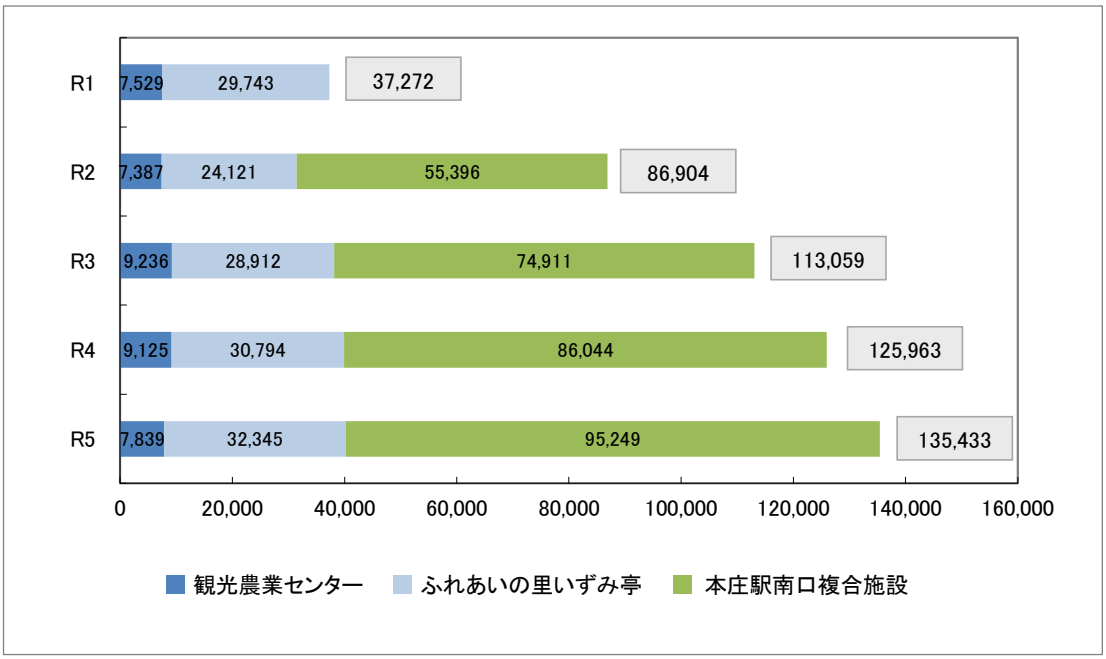
- 全ての施設は、指定管理者制度を導入して維持管理・運営を行っています。
- 指定管理者制度の導入時期は、観光農業センターは平成 23 年４月、ふれあいの里いずみ亭は平成 16 年４月、本庄駅南口複合施設※は平成 24 年４月からとなっています。

※複合化前のインフォメーションセンターにおける導入時期。

6）利用状況

- 産業振興施設の利用者数は、令和５年度は約 135 千人の利用があり、令和２年度に本庄駅南口複合施設が供用開始されたことに伴い、増加しています。
- 施設別の利用者数は、令和５年度では、観光農業センターは８千人、ふれあいの里いずみ亭は約 32 千人、本庄駅南口複合施設は約 95 千人となっています。

【産業振興施設利用者数の推移　単位：人】



※観光農業センターは一般利用者数＋貸室利用者数、本庄駅南口複合施設はインフォメーションセンター＋貸室等の利用者数を計上。

7）課題

- 本庄駅南口複合施設における指定管理者の業務範囲や指定管理料の見直し等を考慮した効率的な施設の維持管理・運営。
- 本庄駅直結のインフォメーションセンターの立地条件をいかした利用促進。

（7）保健・福祉関連施設

1）概要

- 市民の健康や福祉の増進に寄与するため、障害福祉センター、保健センター、発達教育支援センター「すきっぷ」を設置し、健診や療育的支援、相談受付等を行っています。
- 高齢者の健康で文化的な生活の推進を図り、高齢者福祉の増進に寄与するため、老人福祉センターつきみ荘を設置し、高齢者の生きがいや健康の増進のための事業を行っています。
- 発達教育支援センター「すきっぷ」といずみ保育所は複合施設となっています。

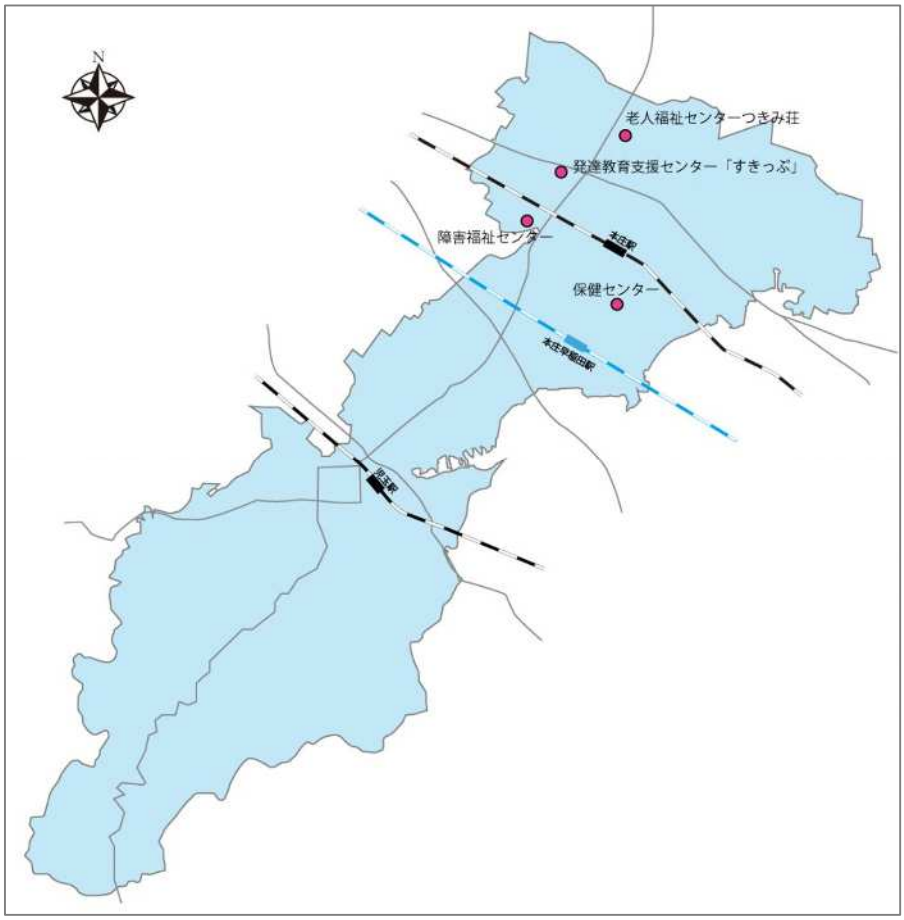
【保健・福祉関連施設の運営時間】

施設名称	運営時間	休館日
発達教育支援センター 「すきっぷ」	午前8時30分～午後5時15分	土曜日、日曜日、祝日、 12月29日から翌年の1月3日
老人福祉センターつきみ荘	午前10時～午後4時	月曜日（祝日の場合は翌日）、 12月29日から翌年の1月3日
保健センター	午前8時30分～午後5時15分	土曜日、日曜日、祝日、 12月29日から翌年の1月3日
障害福祉センター	平日：午前8時30分～午後5時 土曜日、日曜日、祝日：午前9時～午後3時	12月29日から翌年の1月3日

2）配置状況

- 本庄北地域、本庄南地域のみに立地しており、施設立地に偏りが生じています。

【保健・福祉関連施設の施設位置図】



3）建物の状況

- 老人福祉センターつきみ荘、障害福祉センターは、築後 40 年以上経過しています。

【保健・福祉関連施設の建物状況】

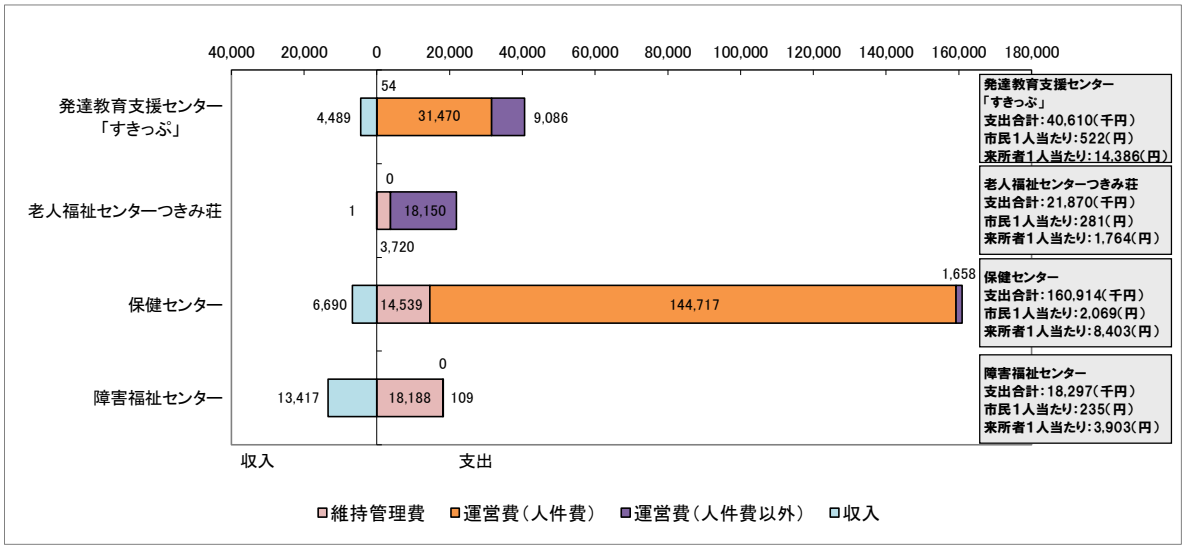
施設名称	竣工年月	築年数 (R7.3現在)	耐震診断	耐震改修	構造・階数	延床面積(㎡)
発達教育支援センター 「すきっぷ」	平成22年3月	15	―	―	木造	159
老人福祉センターつきみ荘	昭和58年5月	42	―	―	鉄筋コンクリート造	1,317
保健センター	平成29年3月	8	―	―	鉄骨造	2,893
障害福祉センター	平成12年8月	25	―	―	鉄骨造	653

※耐震診断及び耐震改修は、新耐震設計基準施行（昭和 56 年6月）以降に建築された施設が「−」。新耐震設計基準施行（昭和 56 年6月）以前に建築された施設のうち、耐震診断・耐震改修を実施した施設が「済」、実施していない施設が「未」。
※延床面積は、各施設の主要建物のみでなく、敷地内建物全体の延床面積（建築基準法による）を表記。
また、複合施設の発達教育支援センター「すきっぷ」は、占用部の面積を表記。

４）コストの状況

- 各施設の年間コスト（令和元年度から令和５年度の平均値）は、発達教育支援センター「すきっぷ」は約 40, 6100 千円、老人福祉センターつきみ荘は約 21, 870 千円、保健センターは約 160, 910 千円、障害福祉センターは約 18, 300 千円となっています。
- 発達教育支援センター「すきっぷ」と保健センターは直営で維持管理・運営を行っているため、人件費が年間コストの大部分を占めています。一方、障害福祉センターは業務委託となっており、老人福祉センターつきみ荘は指定管理者制度を導入した維持管理・運営を行っているため、委託料が年間コストの大部分を占めています。
- 来所者１人当たりのコストは、発達教育支援センター「すきっぷ」は約 14, 900 円、老人福祉センターつきみ荘は約 1, 760 円、保健センターは約 8, 400 円、障害福祉センターは約 3, 900 円となっています。
- 各施設の収入は、行政財産使用料などから、発達教育支援センター「すきっぷ」は約 4, 490 千円、老人福祉センターつきみ荘は約 1 千円、保健センターは約 6, 690 千円、障害福祉センターは約 13, 420 千円となっています。

【保健･福祉関連施設のコスト状況（令和元年度～令和5年度平均値） 単位：千円】



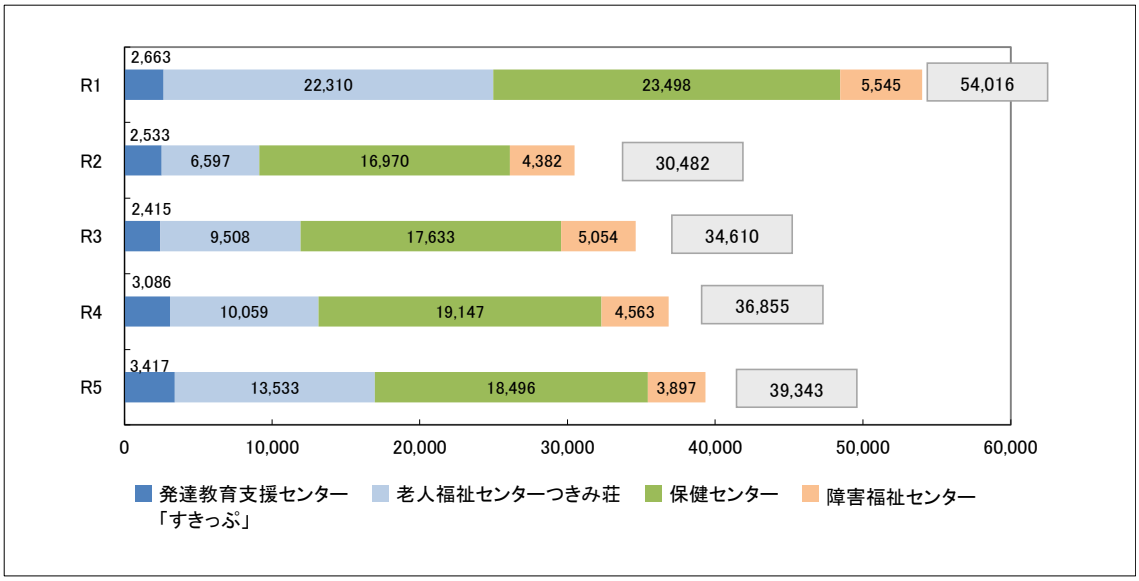
５）維持管理・運営状況

- 老人福祉センターつきみ荘は、平成 18 年９月から指定管理者制度を導入して維持管理・運営を行っています。
- 障害福祉センターは、施設の維持管理は直営で行っていますが、施設で実施している事業については、業務委託により行っています。
- その他の施設は、直営で維持管理・運営を行っています。

6）利用状況

- 保健・福祉関連施設の来所者数は、令和５年度に約 39 千人利用があり、新型コロナウイルス感染症の影響により令和２年度は大きく減少しましたが、徐々に回復しています。
- 施設別の来所者数は、令和５年度では老人福祉センターつきみ荘は約 13 千人、保健センターは約 18 千人と来所者数の大半を占めています。なお、発達教育支援センター「すきっぷ」は、令和元年度を上回り増加しています。

【保健・福祉関連施設来所者数の推移　単位：人】



7）課題

- 老人福祉センターつきみ荘が築後 40 年以上を経過していることを踏まえた、今後の施設方針の決定。
- 年間コストが比較的高い保健センター、発達教育支援センター「すきっぷ」における効率的な施設の維持管理・運営。

（8）保育所

1）概要

- 児童福祉法に基づく児童福祉施設として、保護者の委託を受けて乳児・幼児を保育することを目的に、保育所を２施設設置しています。
- いずみ保育所と発達教育支援センター「すきっぷ」は複合施設となっています。

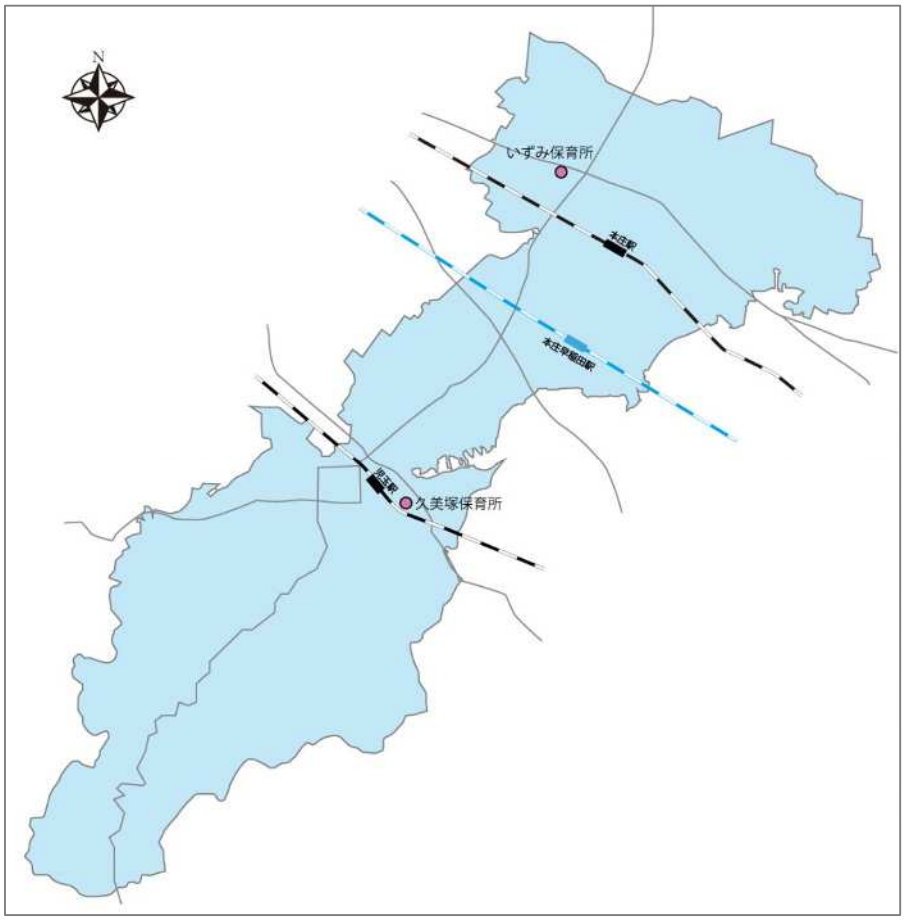
【保育所の運営時間】

施設名称	運営時間	休館日
いずみ保育所	午前7時～午後7時	日曜日、祝日、12月29日から翌年の1月3日
久美塚保育所	午前7時～午後7時	日曜日、祝日、12月29日から翌年の1月3日

2）配置状況

- 本庄北地域、児玉北地域に立地しており、本庄南地域、児玉南地域には立地していません。

【保育所の施設位置図】



3）建物の状況

- ２施設とも比較的新しい施設であり、築 30 年を経過していません。

【保育所の建物状況】

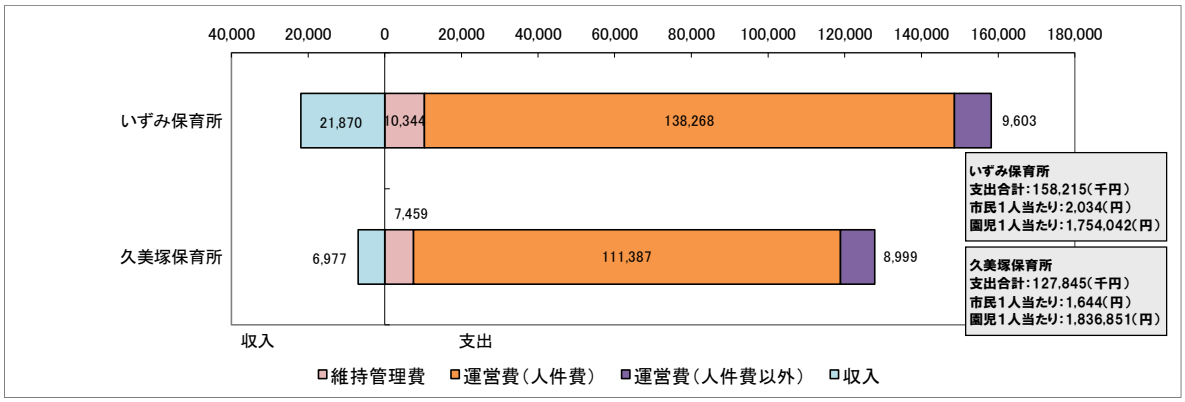
施設名称	竣工年月	築年数 (R7.3現在)	耐震診断	耐震改修	構造・階数	延床面積(㎡)
いずみ保育所	平成22年4月	15	ー	ー	木造	1,134
久美塚保育所	平成10年2月	27	ー	ー	鉄筋コンクリート造	887

※耐震診断及び耐震改修は、新耐震設計基準施行（昭和 56 年６月）以降に建築された施設が「−」。新耐震設計基準施行（昭和 56 年６月）以前に建築された施設のうち、耐震診断・耐震改修を実施した施設が「済」、実施していない施設が「未」。
※延床面積は、各施設の主要建物のみでなく、敷地内建物全体の延床面積（建築基準法による）を表記。
また、複合施設のいずみ保育所は、占用部の面積を表記。

4）コストの状況

- 各施設の年間コスト（令和元年度から令和５年度の平均値）は、いずみ保育所は約 158,220 千円、久美塚保育所は約 127,850 千円となっています。なお、両施設ともに直営で維持管理・運営を行っているため、人件費が年間コストの大部分を占めています。
- 園児１人当たりのコストは、いずみ保育所は約 1,740 千円、久美塚保育所は約 1,840 千円となっています。
- 各施設の収入は、保育料収入などから、いずみ保育所は約 21,870 千円、久美塚保育所は約 6,980 千円となっており、久美塚保育所は年間コストに対して低額となっています。

【保育所のコスト状況（令和元年度～令和5年度平均値） 単位：千円】



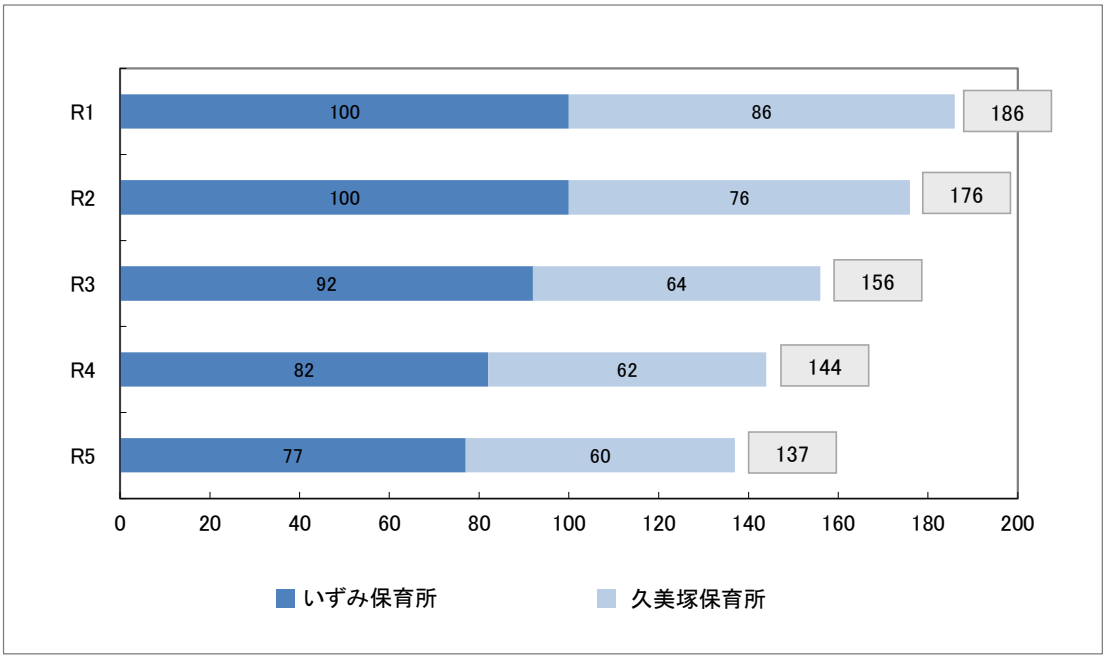
5）維持管理・運営状況

- 全ての施設において、直営で維持管理・運営を行っています。

6）利用状況

- 保育所の園児数は、令和５年度は 137 人であり、令和元年度より減少傾向にあります。
- 施設別の園児数は、いずみ保育所、久美塚保育所共に減少しています。

【保育所園児数の推移　単位:人】



7）課題

- 民営化等の民間活力の導入を考慮した保育所の維持管理・運営の効率化による年間コストの縮減。
- 市街化の進む本庄南地域の本庄早稲田駅周辺における、保育サービス拡充の必要性の検討。

（９）児童施設

１）概要

- 児童の健康増進や情感豊かな心を養うことを目的として、児童センターを設置し、健全な遊びを通じた指導等を行っています。
- 放課後、労働等により保護者のいない児童に対し、学童保育室を設置し、適切な遊びと生活の場を与え、児童の健全育成及び子育て世代の就労支援を図っています。

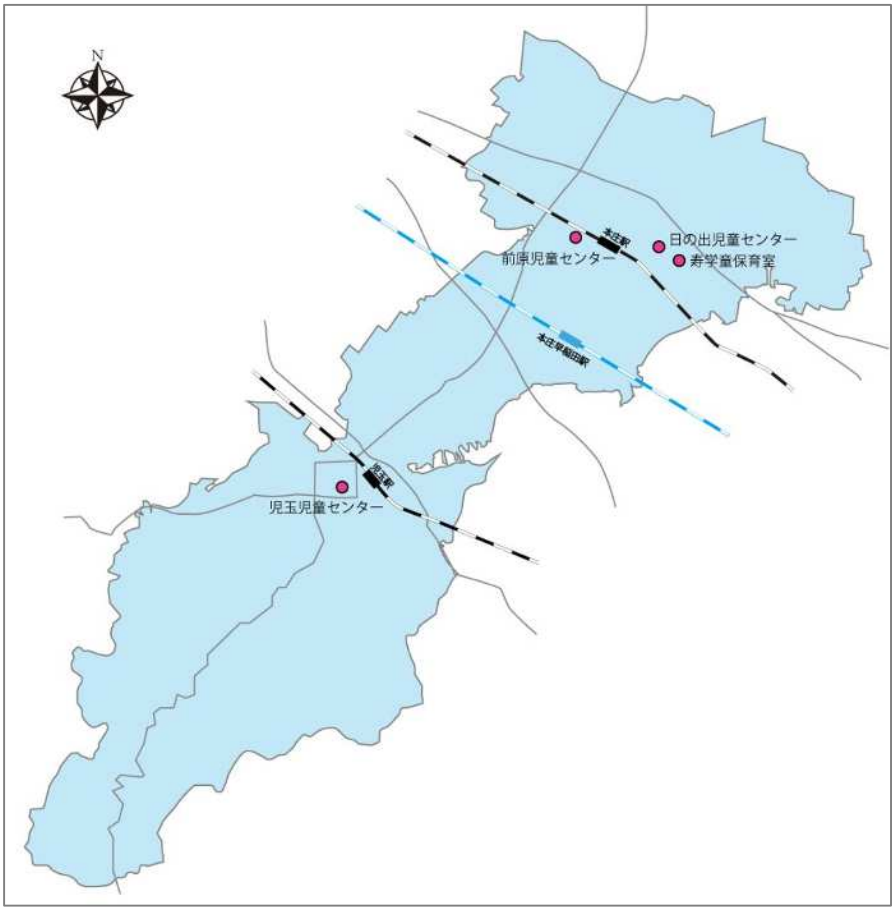
【児童施設の運営時間】

前原児童センター	午前9時～午後5時45分 （学童保育室は、午前8時～午後7時）	日曜日、祝日、 12月29日から翌年の1月3日
日の出児童センター	午前9時～午後5時45分 （学童保育室は、午前8時～午後7時）	日曜日、祝日、 12月29日から翌年の1月3日
児玉児童センター	午前9時～午後5時45分	日曜日、祝日、 12月29日から翌年の1月3日
寿学童保育室	授業日は放課後～午後7時 学校休業日は午前8時～午後6時	日曜日、祝日、 12月29日から翌年の1月3日

２）配置状況

- 本庄駅周辺に施設（３施設）が集中しており、児玉南地域には設置されていない状況となっています。

【児童施設の施設位置図】



3）建物の状況

- 前原児童センターと日の出児童センターは築後 40 年以上経過しています。
- 前原児童センターは耐震診断を実施し、耐震改修は不要となっています。
- 平成 27 年に複合施設「児玉総合支所（アスピアこだま）」に児玉児童センターが開設されました。

【児童施設の建物状況】

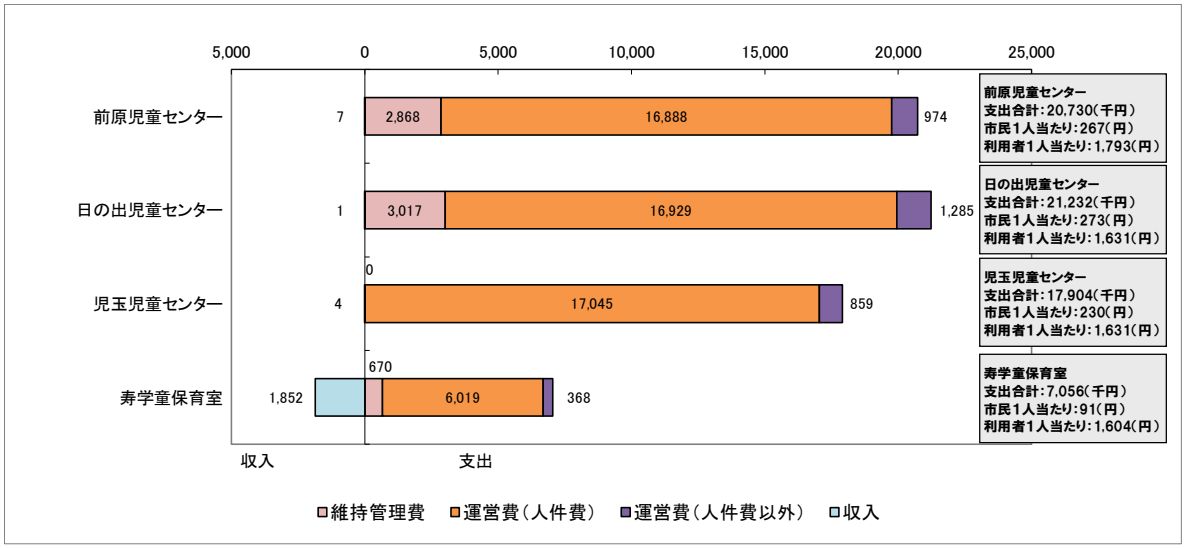
施設名称	竣工年月	築年数（R7.3現在）	耐震診断	耐震改修	構造・階数	延床面積(㎡)
前原児童センター	昭和55年3月	45	済	不要	鉄筋コンクリート造	418
日の出児童センター	昭和59年3月	41	－	－	鉄筋コンクリート造	515
児玉児童センター	平成27年3月	10	－	－	鉄筋コンクリート造	295
寿学童保育室	平成18年11月	19	－	－	木造	113

※耐震診断及び耐震改修は、新耐震設計基準施行（昭和 56 年6月）以降に建築された施設が「－」。新耐震設計基準施行（昭和 56 年6月）以前に建築された施設のうち、耐震診断・耐震改修を実施した施設が「済」、実施していない施設が「未」。
※延床面積は、各施設の主要建物のみでなく、敷地内建物全体の延床面積（建築基準法による）を表記。

4）コストの状況

- 各施設の年間コスト（令和元年度から令和５年度の平均値）は、前原児童センターは約 20, 730 千円、日の出児童センターは約 21, 232 千円、児玉児童センターは約 17, 900 千円、寿学童保育室は約 7, 060 千円となっています。なお、各施設ともに直営で維持管理・運営を行っているため、人件費が年間コストの大部分を占めています。
- 利用者１人当たりのコストは、前原児童センターは約 1, 790 円、他の３施設は約 1, 600 円程度となっています。
- 各施設の収入は、保育料収入などから、前原児童センターは約７千円、日の出児童センターは約１千円、児玉児童センターは約４千円、寿学童保育室は約 1, 850 千円となっており、各児童センターは年間コストに対して低額となっています。

【児童施設のコスト状況（令和元年度～令和5年度平均値） 単位：千円】



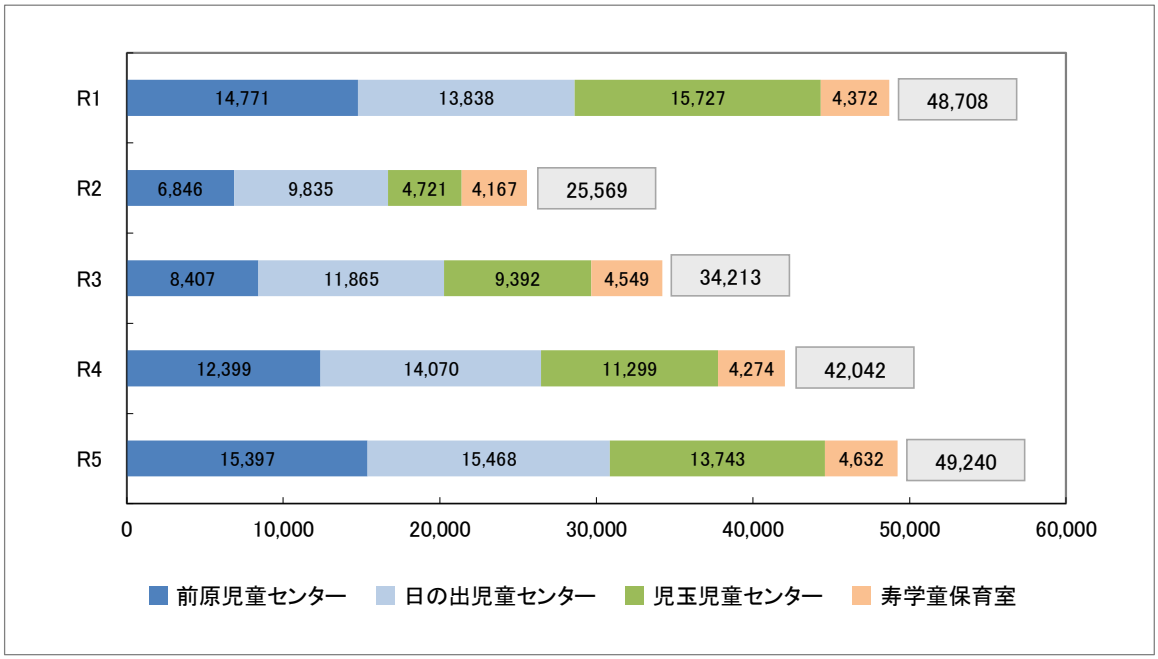
5）維持管理・運営状況

- 全ての施設は直営で維持管理・運営を行っています。

6）利用状況

- 児童施設の利用者数は、令和５年度は約 49 千人であり、新型コロナウイルス感染症の影響により令和２年度は大きく減少しましたが、以前の水準まで回復しました。
- 施設別の利用者数は、前原児童センターと日の出児童センターが令和元年度より増加しています。

【児童施設量者数の推移　単位：人】



7）課題

- 今後の少子化の進行を考慮した施設の効率的な維持管理・運営。

(10) 庁舎等

1）概要

- 市庁舎として、市役所と児玉総合支所（アスピアこだま）、児玉総合支所第二庁舎を設置しています。

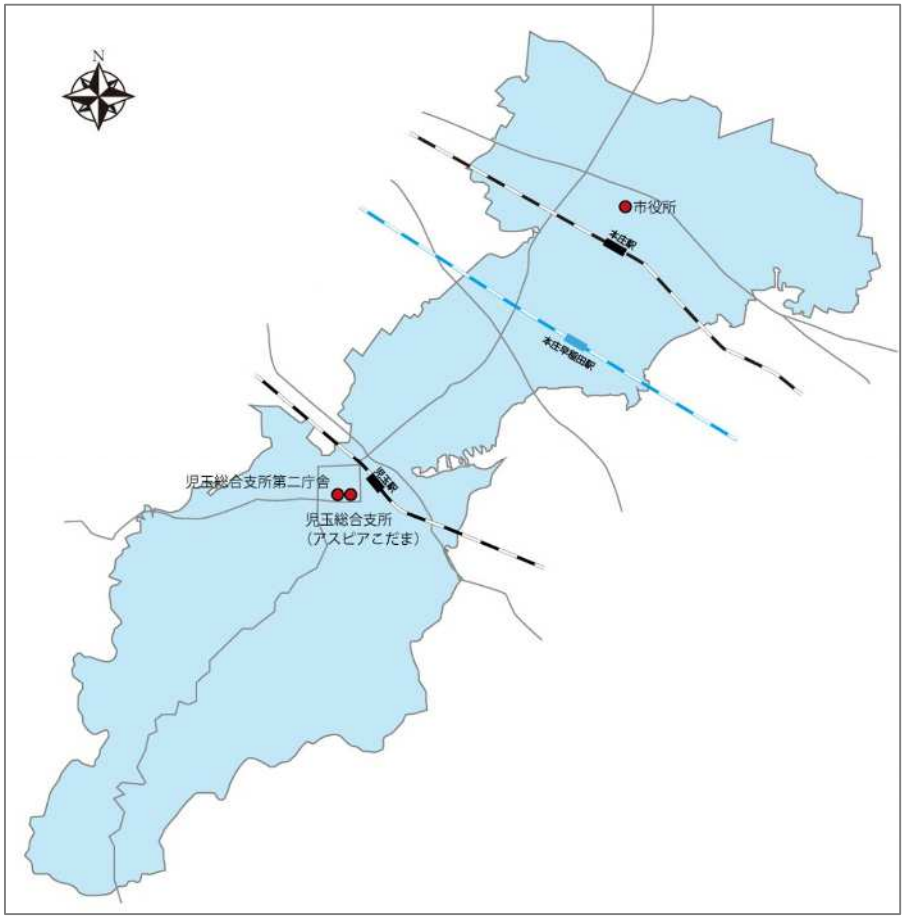
【庁舎等の運営時間】

施設名称	開庁時間	休庁日
市役所	平日：午前8時30分～午後5時15分 土曜日、日曜日、祝日：夜間・休日受付実施	土曜日、日曜日、祝日、 12月29日から翌年の1月3日 （ただし、日曜日・夜間窓口を設置）
児玉総合支所第二庁舎	平日：午前8時30分～午後5時15分 土曜日、日曜日、祝日：夜間・休日受付実施	土曜日、日曜日、祝日、 12月29日から翌年の1月3日 （ただし、日曜日・夜間窓口を設置）
児玉総合支所 （アスピアこだま）	平日：午前8時30分～午後5時15分 土曜日、日曜日、祝日：夜間・休日受付実施	土曜日、日曜日、祝日、 12月29日から翌年の1月3日 （ただし、日曜日・夜間窓口を設置）

2）配置状況

- 本庄駅周辺と児玉駅周辺に立地しています。

【庁舎等の施設位置図】



3）建物の状況

- 市役所は築後 30 年以上経過しており、児玉総合支所第二庁舎は築後 40 年以上経過しています。
- 児玉総合支所は平成 27 年に複合施設「児玉総合支所（アスピアこだま）」として更新されました。

【庁舎等の建物状況】

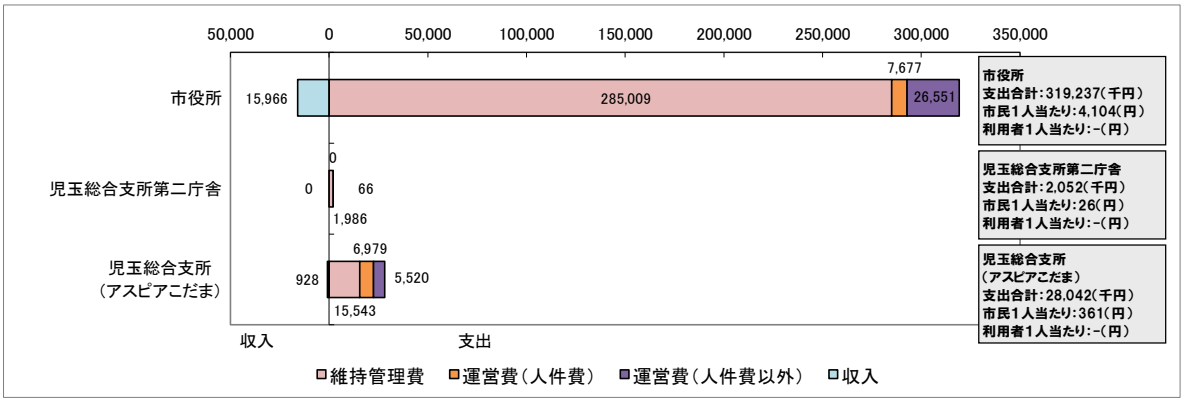
施設名称	竣工年月	築年数（R7.3現在）	耐震診断	耐震改修	構造・階数	延床面積(㎡)
市役所	平成4年8月	33	－	－	鉄骨鉄筋コンクリート造	11,893
児玉総合支所第二庁舎	昭和53年9月	47	済	済	鉄筋コンクリート造	1,299
児玉総合支所（アスピアこだま）	平成27年3月	10	－	－	鉄筋コンクリート造	1,133

※耐震診断及び耐震改修は、新耐震設計基準施行（昭和 56 年６月）以降に建築された施設が「－」。新耐震設計基準施行（昭和 56 年６月）以前に建築された施設のうち、耐震診断・耐震改修を実施した施設が「済」、実施していない施設が「未」。
※延床面積は、各施設の主要建物のみでなく、敷地内建物全体の延床面積（建築基準法による）を表記。

4）コストの状況

- 各施設の年間コスト（令和元年度から令和５年度の平均値）は、市役所は約 319,240 千円、児玉総合支所第二庁舎は約 2,050 千円、児玉総合支所（アスピアこだま）は約 280,040 千円となっています。
- 各施設の収入は、行政財産使用料などから、市役所は約 15,970 千円、児玉総合支所（アスピアこだま）は約 930 千円となっています。

【庁舎等のコスト状況（令和元年度～令和5年度平均値） 単位：千円】



5）維持管理・運営状況

- 市役所は、直営で維持管理・運営を行っていますが、設備運転管理、総合案内等について業務委託を行っています。
- 児玉総合支所第二庁舎、児玉総合支所（アスピアこだま）は、直営で維持管理・運営を行っていますが、設備点検等について業務委託を行っています。

６）課題

- 施設規模が大きい市役所について、維持管理費の占める割合が比較的高いことから、維持管理方法や改修の効率化による維持管理費の縮減。
- 児玉総合支所（アスピアこだま）に隣接する児玉総合支所第二庁舎の有効活用の検討。

（11）学校

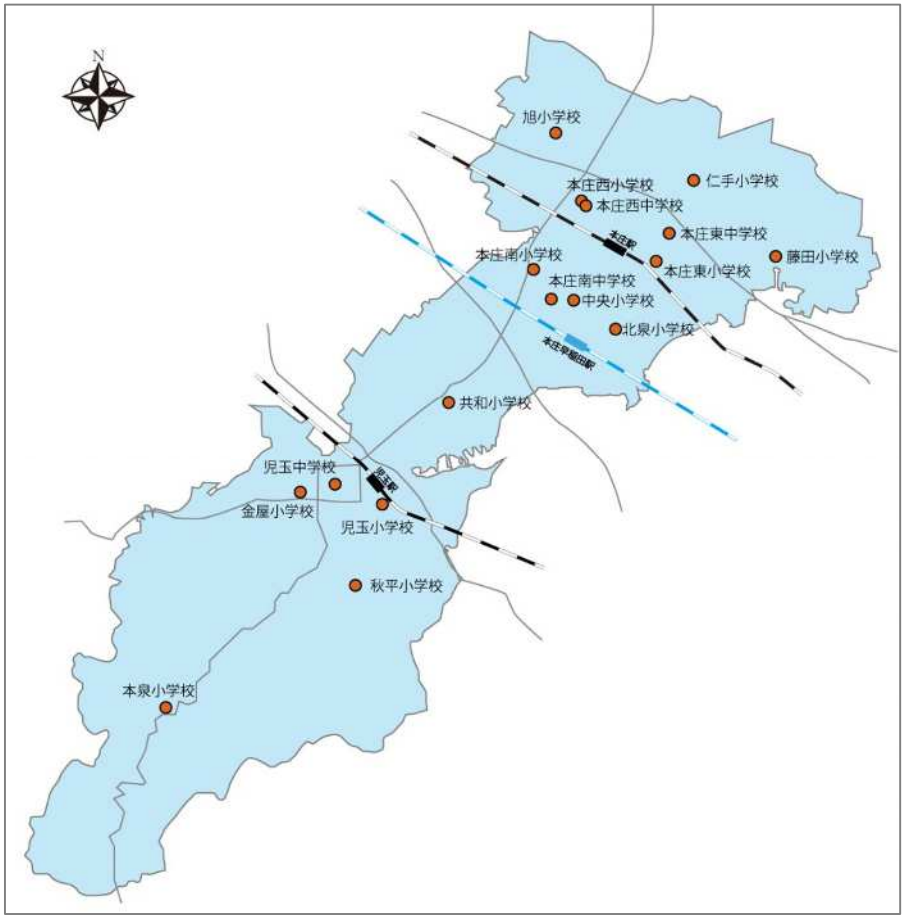
１）概要

- 学校教育法に基づいて、小学校を 13 校、中学校を４校設置し、児童・生徒に義務教育としての普通教育を実施しています。
- 本泉小学校は平成 23 年４月より休校となっています。

２）配置状況

- 各地域に１施設以上の学校が設置されていますが、本庄北地域、本庄南地域に多く立地しています（全 17 施設中 11 施設）。

【学校の施設位置図】



3）建物の状況

- 昭和 40 年代から昭和 50 年代に建設された施設が多く（17 施設中 11 施設）、築後 40 年以上経過しています。
- 新耐震設計基準施行（昭和 56 年６月）以前に建設された施設（８施設）は、耐震改修が完了しています。

【学校の建物状況】

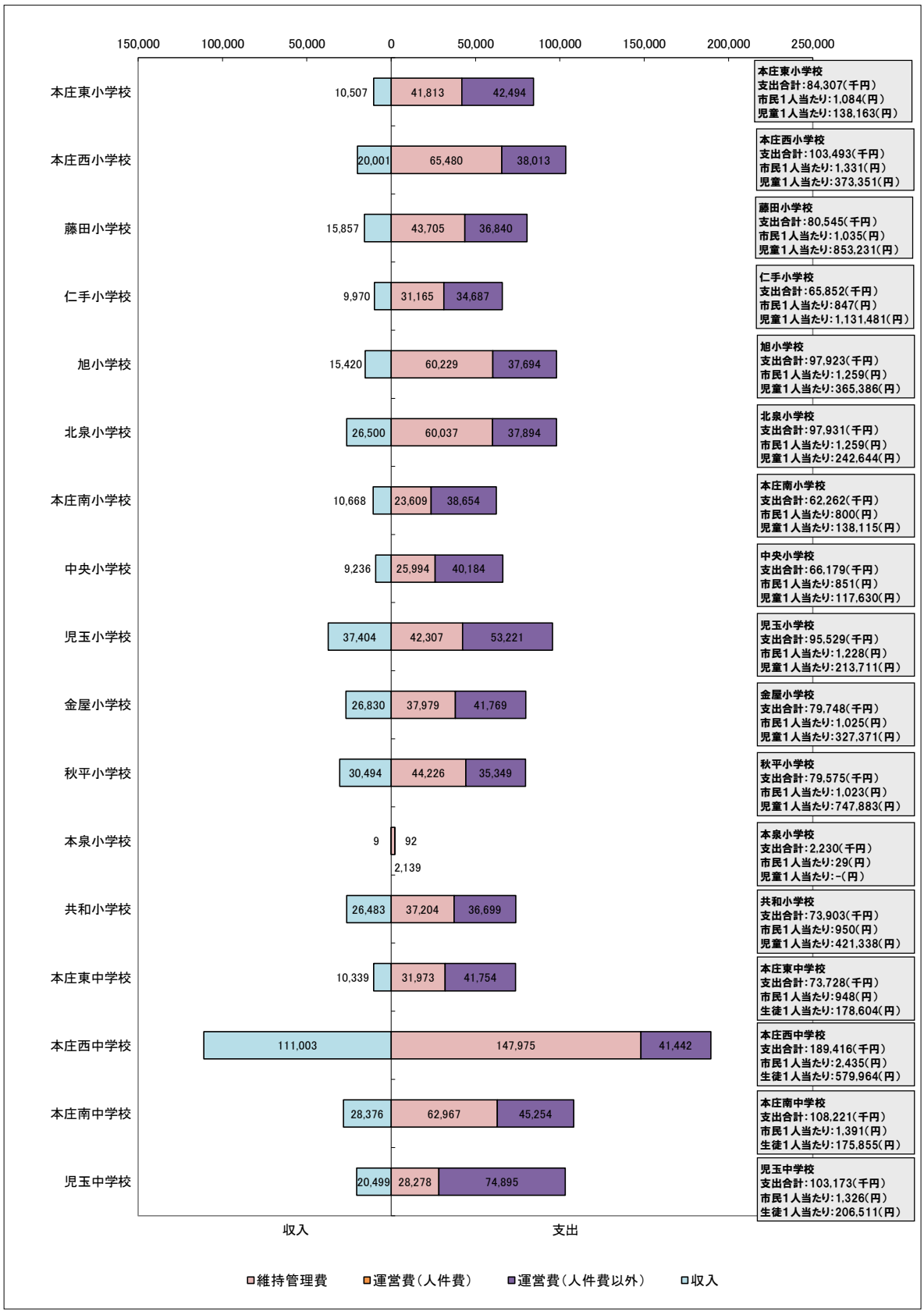
施設名称	竣工年月	築年数 (R7.3現在)	耐震診断	耐震改修	構造・階数	延床面積(㎡)
本庄東小学校	昭和60年3月	40	―	―	鉄筋コンクリート造　他	8,657
本庄西小学校	昭和53年8月	47	済	済	鉄筋コンクリート造　他	6,993
藤田小学校	昭和53年3月	47	済	済	鉄筋コンクリート造　他	4,280
仁手小学校	昭和59年3月	41	―	―	鉄筋コンクリート造　他	3,180
旭小学校	昭和46年4月	54	済	済	鉄筋コンクリート造　他	4,764
北泉小学校	昭和49年3月	51	済	済	鉄筋コンクリート造　他	5,202
本庄南小学校	昭和50年5月	50	済	済	鉄筋コンクリート造　他	5,682
中央小学校	昭和54年6月	46	済	済	鉄筋コンクリート造　他	7,408
児玉小学校	昭和49年7月	51	済	済	鉄筋コンクリート造　他	5,788
金屋小学校	昭和61年7月	39	―	―	鉄筋コンクリート造　他	3,748
秋平小学校	平成4年2月	33	―	―	鉄筋コンクリート造　他	3,167
本泉小学校	昭和59年3月	41	―	―	鉄筋コンクリート造　他	2,389
共和小学校	平成元年3月	36	―	―	鉄筋コンクリート造　他	4,024
本庄東中学校	平成27年2月	10	―	―	鉄筋コンクリート造　他	11,294
本庄西中学校	昭和57年3月	43	済	済	鉄筋コンクリート造　他	7,858
本庄南中学校	昭和58年3月	42	―	―	鉄筋コンクリート造　他	10,564
児玉中学校	平成21年7月	16	―	―	鉄筋コンクリート造　他	9,543

※耐震診断及び耐震改修は、新耐震設計基準施行（昭和 56 年6月）以降に建築された施設が「−」。新耐震設計基準施行（昭和 56 年6月）以前に建築された施設のうち、耐震診断・耐震改修を実施した施設が「済」、実施していない施設が「未」。
※延床面積は、各施設の主要建物のみでなく、敷地内建物全体の延床面積（建築基準法による）を表記。

4）コストの状況

- 各施設の年間コスト（令和元年度から令和５年度の平均値）は、休校となっている本泉小学校は約 2,230 千円となっていますが、その他の小学校は約 62,260 千円～約 103,500 千円、中学校は約 73,730 千円～189,420 千円となっています。なお、期間内に大規模な改修などを行っている施設については、年間コストが高くなっています。
- 児童・生徒１人当たりのコストは、本泉小学校を除き、小学校は約 118 千円～約 1,130 千円、中学校は 176 千円～580 千円となっており、改修等の維持管理費の影響により大きく差が生じています。
- 各施設の収入は、施設改修等に伴う市債などから、本泉小学校を除き、小学校は約 9,240 千円～約 37,400 千円、中学校は約 10,340 千円～111,000 千円となっています。

【学校のコスト状況（令和元年度～令和5年度平均値） 単位：千円】



※本泉小学校は平成 23 年4月より休校。

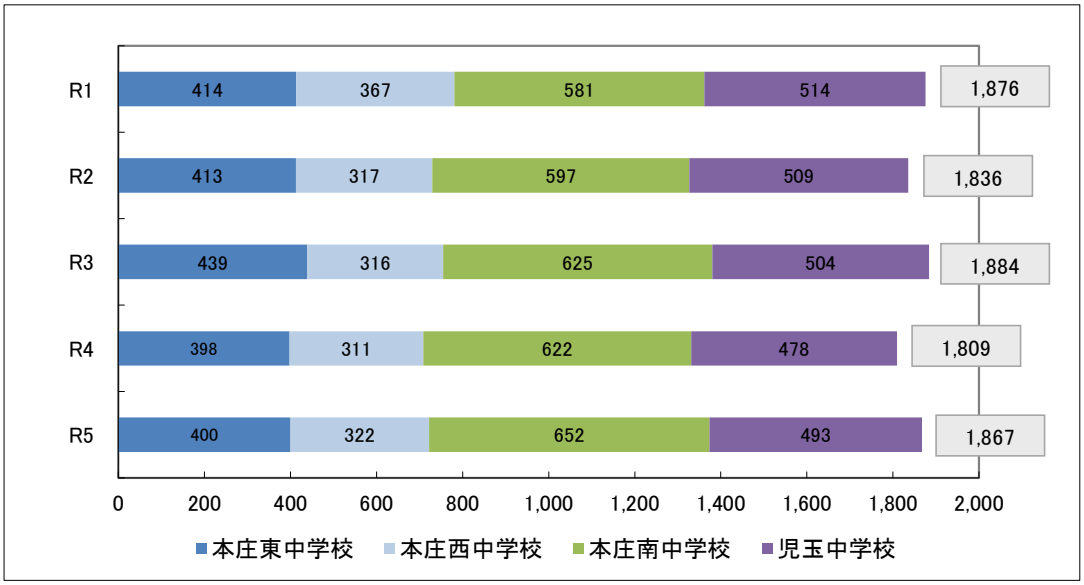
５）維持管理・運営状況

- 全ての施設について直営で維持管理・運営を行っています。

６）利用状況

- 小学校全体の児童数は、令和５年度は約 3,570 人であり、令和元年度より減少しています。
- 施設別には、北泉小学校のみ増加しており、令和５年度では仁手小学校、藤田小学校、秋平小学校の順で児童数が少なく、本泉小学校は休校中となっています。
- 中学校全体の生徒数は、令和５年度は約 1,870 人であり、令和元年度より微減となっています。
- 施設別には、本庄東中学校、児玉中学校が微減、本庄西中学校と本庄南中学校は微増となっています。

【中学校生徒数の推移　単位：人】



7）課題

- 全国的な少子化の影響による児童生徒数の減少と、それに伴う学校の小規模化に対応した学校規模及び配置の適正化。
- 多数の校舎が築後 40 年以上を経過する学校施設について、学校の適正な規模及び配置を踏まえた老朽化への対応。
- 近年の猛暑等の天候の制約や水質管理に係る教員の負担を踏まえた、学校プール施設の老朽化への対応。

(12)市営住宅

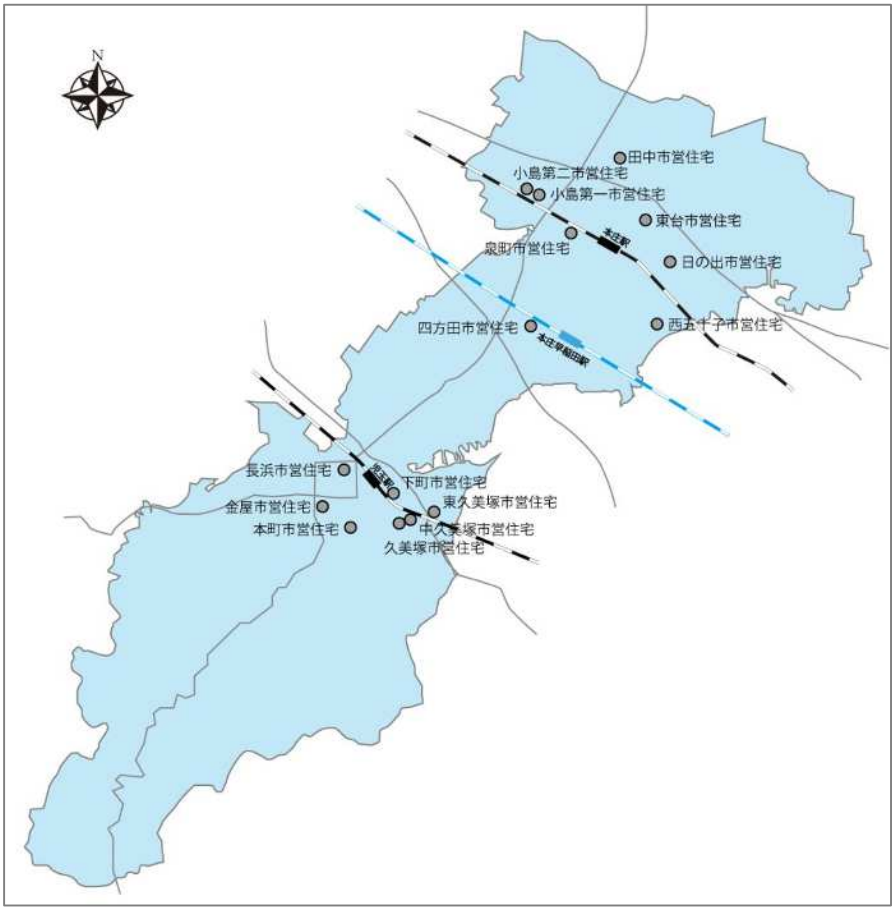
１）概要

- 住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で住宅を賃貸し、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与する目的で、市営住宅を 15 施設整備しています。

２）概要

- 本庄駅周辺と児玉駅周辺に施設が立地しています。

【市営住宅の施設位置図】



3）建物の状況

- 昭和 30 年代から昭和 50 年代に建設された施設が多く（15 施設中 11 施設)、全ての施設が築後 30 年以上経過しています。
- 新耐震設計基準施行（昭和 56 年６月）以前に建設された施設（10 施設）のうち、木造の施設については耐震診断を行っておらず、耐震性能は不明です。
- 西五十子市営住宅、本町市営住宅、長浜市営住宅、金屋市営住宅の一部は木造となっています。

【市営住宅の建物状況】

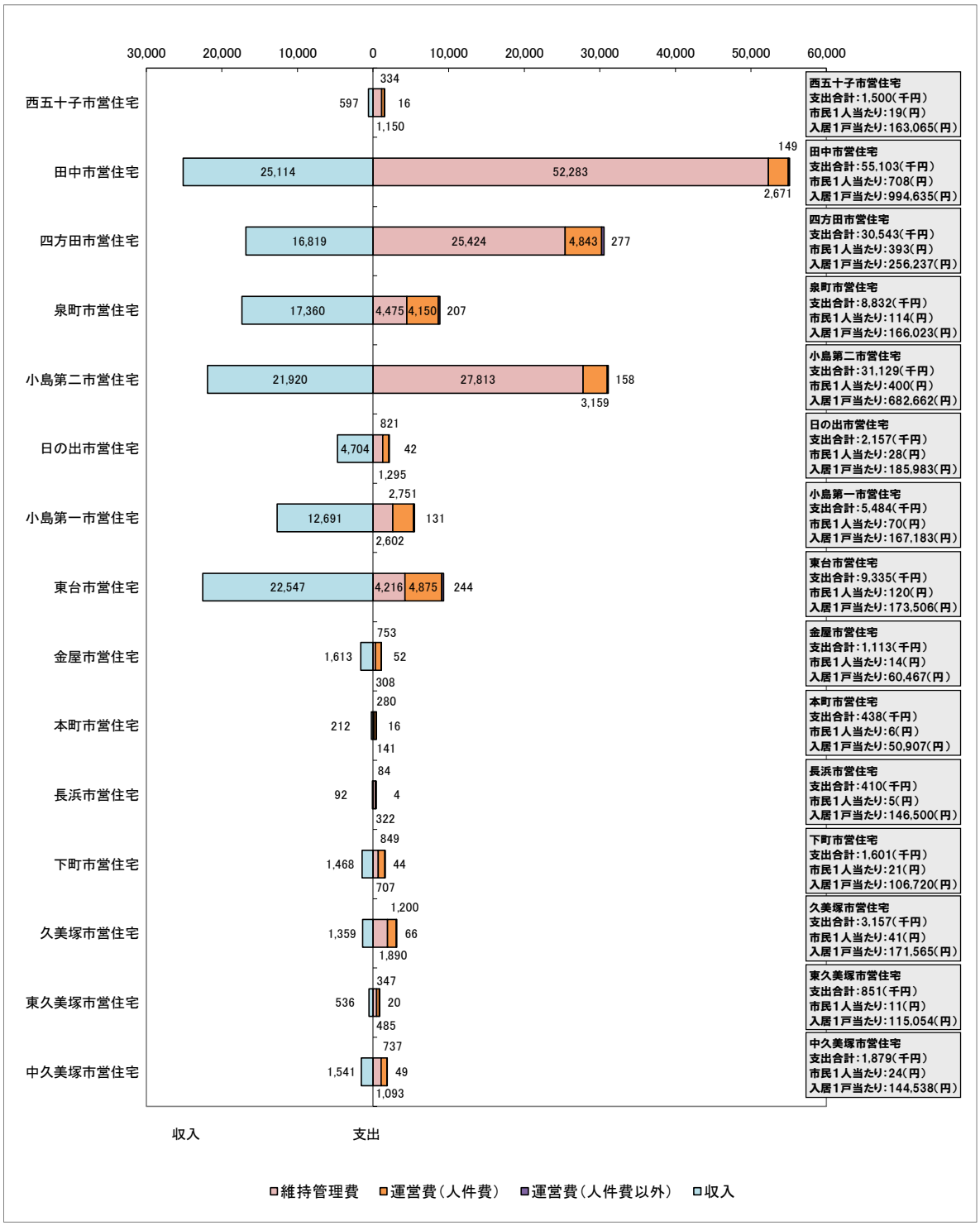
施設名称	竣工年月	築年数 (R7.3現在)	耐震診断	耐震改修	構造・階数	延床面積(㎡)
西五十子市営住宅	昭和37年1月	63	未	未	木造	289
田中市営住宅	昭和41年12月	59	済	不要	プレキャストコンクリート造	2,542
四方田市営住宅	昭和44年1月	56	済	不要	プレキャストコンクリート造	4,749
泉町市営住宅	昭和59年3月	41	ー	ー	鉄筋コンクリート造	4,074
小島第二市営住宅	昭和62年4月	38	ー	ー	鉄筋コンクリート造	3,571
日の出市営住宅	平成2年3月	35	ー	ー	鉄筋コンクリート造	823
小島第一市営住宅	平成3年1月	35	ー	ー	鉄筋コンクリート造	2,596
東台市営住宅	平成6年9月	31	ー	ー	鉄筋コンクリート造	4,839
金屋市営住宅	昭和33年	67	済	不要	プレキャストコンクリート造及び木造	933
本町市営住宅	昭和34年4月	66	未	未	木造	249
長浜市営住宅	昭和34年	66	未	未	木造	70
下町市営住宅	昭和46年2月	54	済	不要	プレキャストコンクリート造	822
久美塚市営住宅	昭和47年3月	53	済	不要	プレキャストコンクリート造	1,186
東久美塚市営住宅	昭和47年3月	53	済	不要	プレキャストコンクリート造	340
中久美塚市営住宅	昭和48年	52	済	不要	プレキャストコンクリート造	889

※耐震診断及び耐震改修は、新耐震設計基準施行（昭和 56 年6月）以降に建築された施設が「-」。新耐震設計基準施行（昭和 56 年6月）以前に建築された施設のうち、耐震診断・耐震改修を実施した施設が「済」、実施していない施設が「未」。
※延床面積は、各施設の主要建物のみでなく、敷地内建物全体の延床面積（建築基準法による）を表記。

4）コストの状況

- 各施設の年間コストは、約 410 千円～約 55,100 千円と大きく差が生じています。これは維持管理費による影響であり、近年、改修工事や塗装工事を行っている施設について年間コストが高くなっています。
- 入居１戸当たりのコストは、約 50 千円～約 995 千円となっており、維持管理費による影響により大きく差が生じています。
- 各施設の収入については、家賃収入が収入の大部分を占めており、泉町市営住宅、日の出市営住宅、小島第一市営住宅、東台市営住宅、金屋市営住宅については、収入が支出を上回っています。

【市営住宅のコスト状況（令和元年度～令和5年度平均値） 単位：千円】



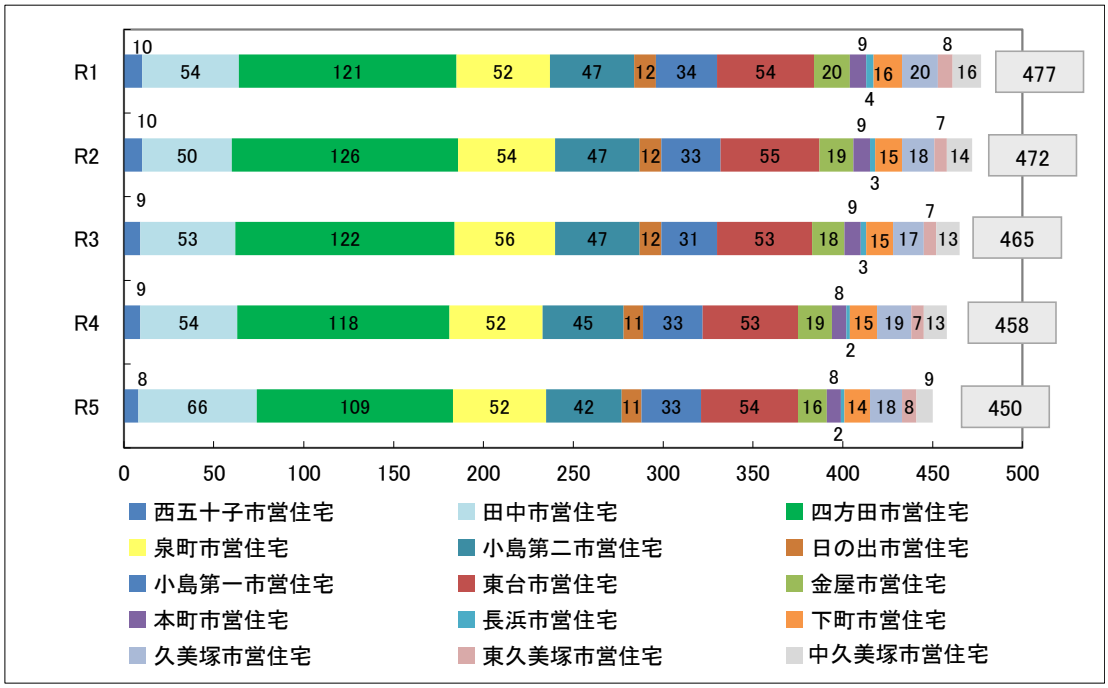
５）維持管理・運営状況

- 西五十子市営住宅、本町市営住宅、長浜市営住宅、金屋市営住宅（木造）については、直営で維持管理・運営を行っています。
- その他の市営住宅については、令和６年４月から埼玉県住宅供給公社へ業務委託により維持管理・運営を行っています。

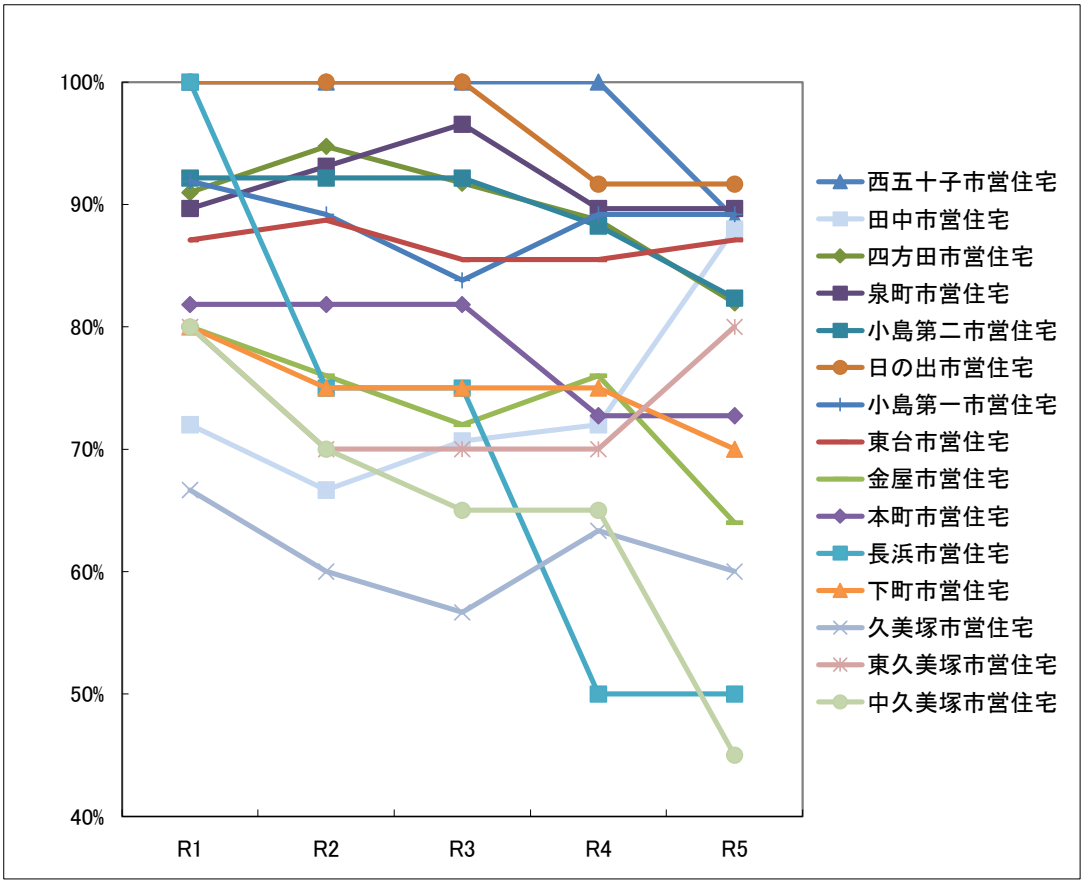
６）利用状況

- 市営住宅の入居戸数は、令和５年度は 450 戸であり、令和元年度より減少しています。
- 施設別の入居戸数は、四方田市営住宅が減少しており、田中市営住宅は増加しています。
- 入居率は、令和５年度時点で金屋市営住宅、長浜市営住宅、久美塚市営住宅、中久美塚市営住宅を除き、70%以上となっています。

【市営住宅入居戸数の推移　単位:戸】



【市営住宅の入居率の推移】



7）課題

- 全ての施設が築後 30 年以上経過していることを踏まえた、施設の老朽化への対応。
- 老朽化が進み、施設規模が比較的大きく施設数が多いことを踏まえた、施設の効率的な維持管理。

(13)防災施設

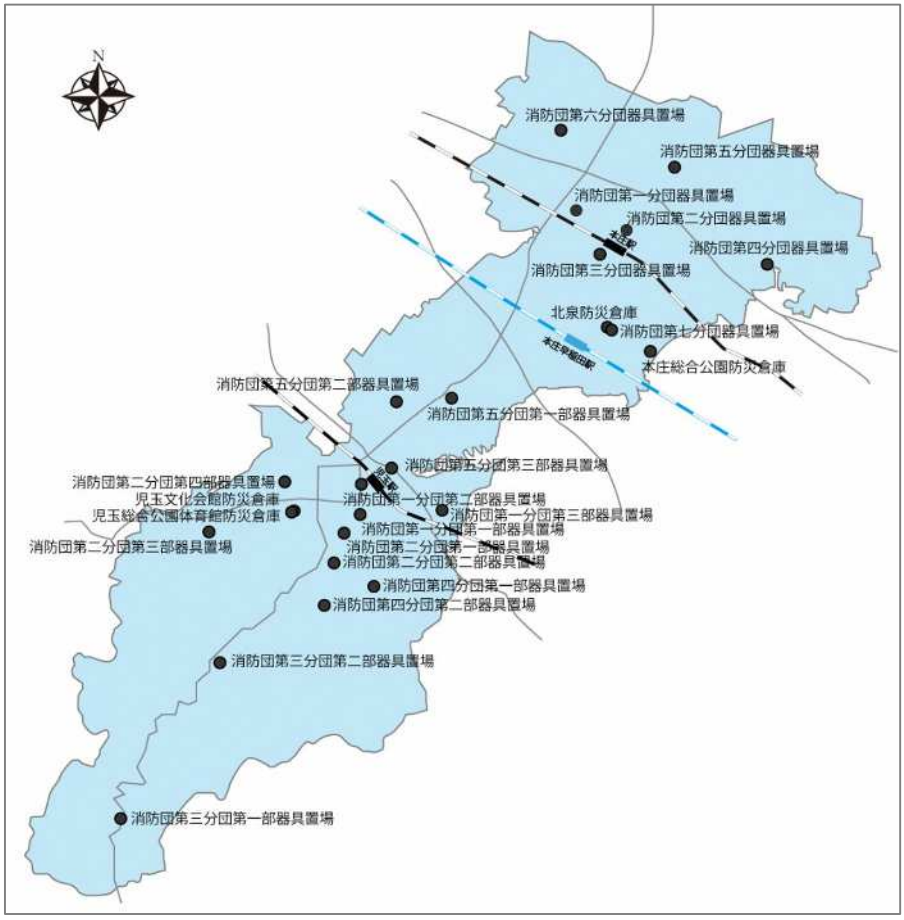
１）概要

- 消防団の活動の拠点として、器具置場（21 施設）を設置しています。
- 災害の発生に備え、毛布等の生活必需物資を備蓄するための防災倉庫（４施設）を設置しています。

２）配置状況

- 各地域に１施設以上立地しており、その中でも児玉北地域に多く（25 施設中 14 施設）立地しています。

【防災施設の施設位置図】



3）建物の状況

- 全ての消防団器具置場のうち、築後 20 年以上を経過する施設は１施設のみとなっています。一方、築年数５年以内の施設が５施設と多くなっています。
- 防災倉庫については、全て築 14 年以内となっています。

【防災施設の建物状況】

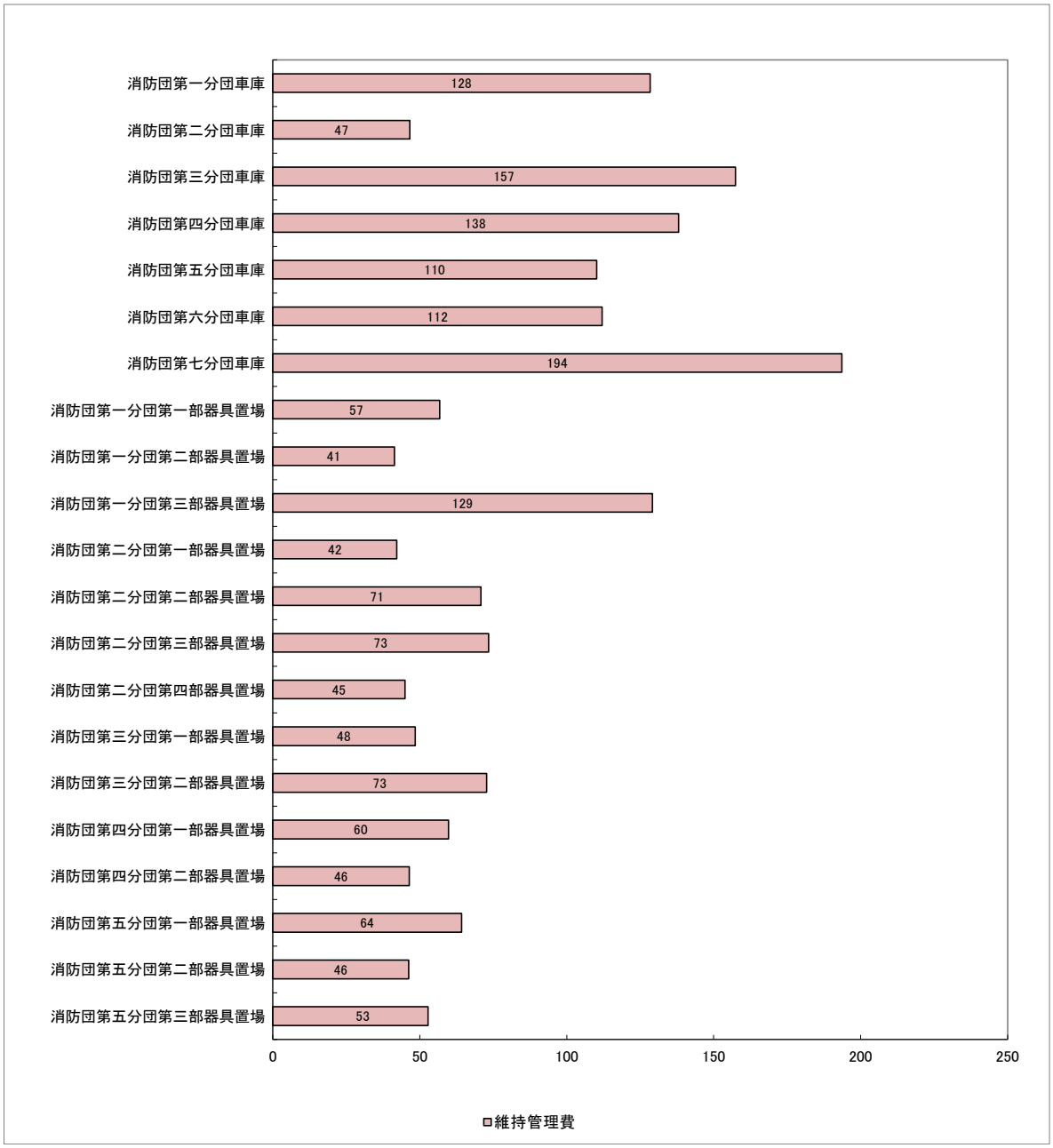
施設名称	竣工年月	築年数（R7.3現在）	耐震診断	耐震改修	構造・階数	延床面積(㎡)
消防団第一分団器具置場	平成28年12月	9	－	－	鉄骨造	134
消防団第二分団器具置場	令和2年3月	5	－	－	鉄骨造	83
消防団第三分団器具置場	令和元年3月	6	－	－	鉄骨造	83
消防団第四分団器具置場	平成28年3月	9	－	－	鉄骨造	134
消防団第五分団器具置場	令和2年10月	5	－	－	鉄骨造	134
消防団第六分団器具置場	平成30年3月	7	－	－	鉄骨造	134
消防団第七分団器具置場	平成27年3月	10	－	－	鉄骨造	134
消防団第一分団第一部器具置場	令和4年3月	3	－	－	鉄骨造	87
消防団第一分団第二部器具置場	令和6年2月	1	－	－	鉄骨造	83
消防団第一分団第三部器具置場	平成14年2月	23	－	－	鉄骨造	61
消防団第二分団第一部器具置場	令和5年3月	2	－	－	鉄骨造	134
消防団第二分団第二部器具置場	平成23年3月	14	－	－	鉄骨造	83
消防団第二分団第三部器具置場	平成22年3月	15	－	－	鉄骨造	83
消防団第二分団第四部器具置場	平成23年3月	14	－	－	鉄骨造	83
消防団第三分団第一部器具置場	平成23年3月	14	－	－	鉄骨造	83
消防団第三分団第二部器具置場	平成21年12月	16	－	－	鉄骨造	83
消防団第四分団第一部器具置場	平成24年3月	13	－	－	鉄骨造	83
消防団第四分団第二部器具置場	平成23年3月	14	－	－	鉄骨造	83
消防団第五分団第一部器具置場	平成22年3月	15	－	－	鉄骨造	83
消防団第五分団第二部器具置場	平成24年3月	13	－	－	鉄骨造	83
消防団第五分団第三部器具置場	平成24年3月	13	－	－	鉄骨造	83
北泉防災倉庫	平成23年2月	14	－	－	アルミコンテナ	14
本庄総合公園防災倉庫	平成27年3月	10	－	－	アルミコンテナ	14
児玉文化会館防災倉庫	平成28年3月	9	－	－	アルミコンテナ	14
児玉総合公園体育館防災倉庫	平成29年3月	8	－	－	アルミコンテナ	14

※耐震診断及び耐震改修は、新耐震設計基準施行（昭和 56 年６月）以降に建築された施設が「－」。新耐震設計基準施行（昭和 56 年６月）以前に建築された施設のうち、耐震診断・耐震改修を実施した施設が「済」、実施していない施設が「未」。
※延床面積は、各施設の主要建物のみでなく、敷地内建物全体の延床面積（建築基準法による）を表記。

４）コストの状況

- 各施設の年間コスト（令和元年度から令和５年度の平均値）は防災倉庫を除き、維持管理費のみで、約 42 千円～約 194 千円となっています。
- 一部の施設については、期間内に維持修繕や整備工事を行っているため、維持管理費が比較的高くなっています。

【防災施設のコスト状況（令和元年度～令和5年度平均値） 単位：千円】



※防災倉庫（4施設）は維持管理費、運営費、収入がないため除外。

５）維持管理・運営状況

- 全ての施設について直営で維持管理・運営を行っています。

６）課題

- 今後の防災対策を踏まえた、備蓄倉庫等の整備。

（14）文化財・文化財収蔵庫

１）概要

- 教育、学術及び文化の発展のために、整理室・収蔵庫・倉庫等（10 施設）を設置して、文化財や歴史資料等の保管・研究・整理を行っています。
- 塙保己一記念館は、平成 27 年度に複合施設「児玉総合支所（アスピアこだま）」へ移転しました。

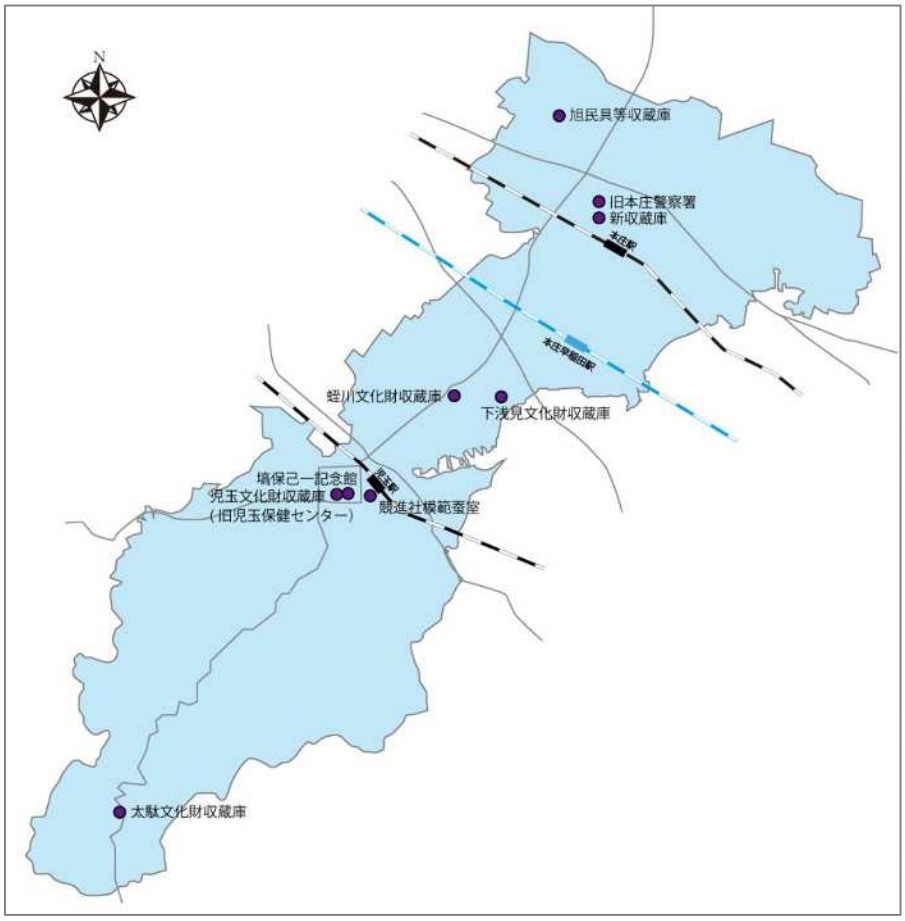
【文化財・文化財収蔵庫の運営時間】

施設名称	運営時間	休館日
旧本庄警察署	外観の見学のみ	−
競進社模範蚕室	午前9時～午後4時30分	月曜日（祝日の場合は翌日）、 12月28日から翌年の1月3日
旭民具等収蔵庫	利用申込みの都度	−
太駄文化財収蔵庫	−	−
蛭川文化財収蔵庫	−	−
下浅見文化財収蔵庫	−	−
塙保己一記念館	午前9時～午後4時30分	月曜日（祝日の場合は翌日）、 12月28日から翌年の1月3日
文化財整理室	午前8時30分～午後5時15分	土曜日、日曜日、祝日、 12月29日から翌年の1月3日
新収蔵庫	−	−
児玉文化財収蔵庫 （旧児玉保健センター）	−	−

２）配置状況

- 収蔵庫は本庄南地域以外に設置されています。
- 整理室と記念館は児玉北地域に設置されています。

【文化財･文化財収蔵庫の施設位置図】



３）建物の状況

- 昭和 60 年以前に建設された施設が多く（10 施設中７施設）、築後 40 年以上経過しています。
- 新耐震設計基準施行（昭和 56 年６月）以前に建設された施設（７施設）は、旧本庄警察署、競進社模範蚕室、文化財整理室を除き耐震診断を行っておらず、耐震性能は不明です。

【文化財・文化財収蔵庫の建物状況】

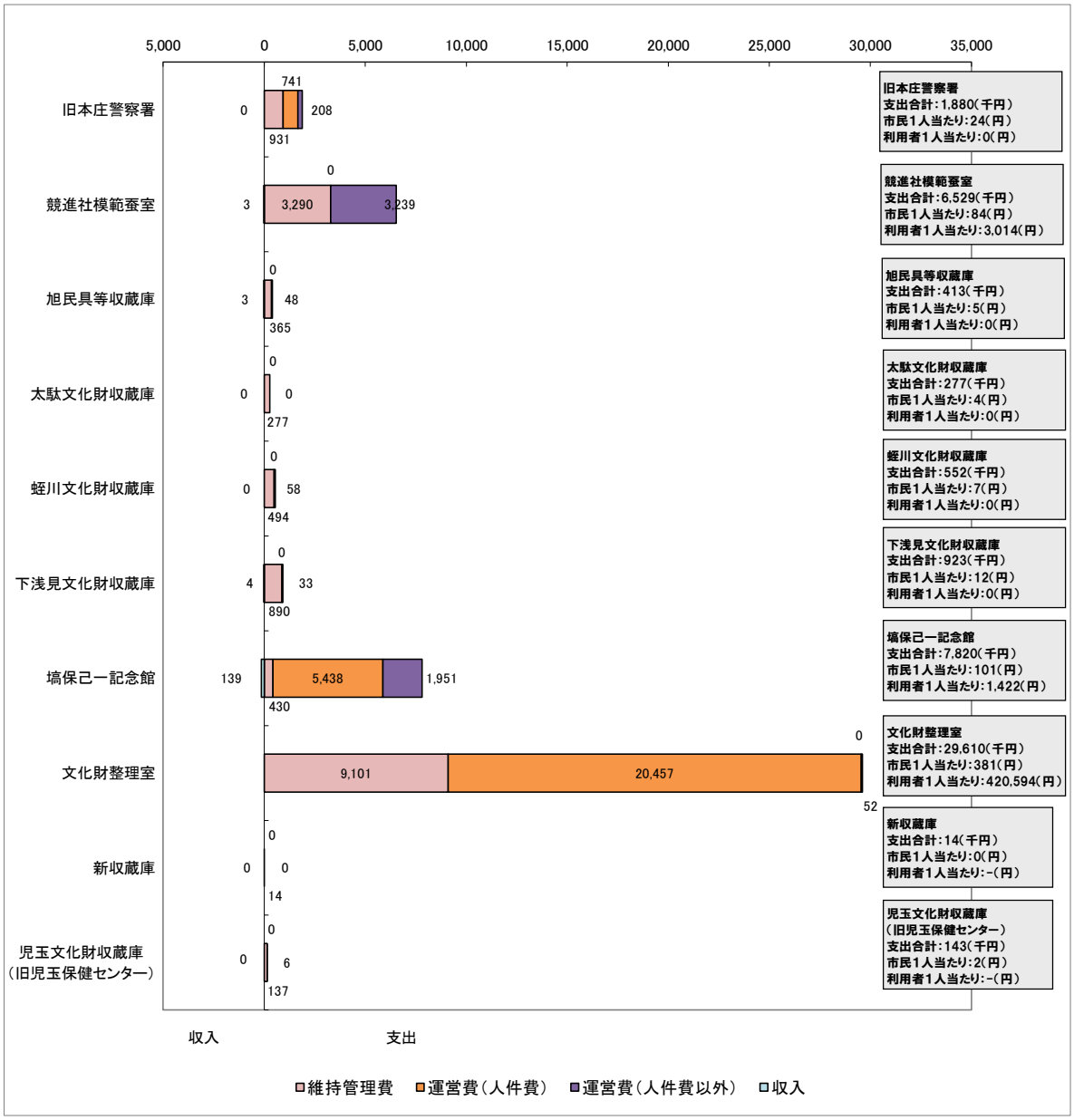
施設名称	竣工年月	築年数 (R7.3現在)	耐震診断	耐震改修	構造・階数	延床面積(㎡)
旧本庄警察署	明治16年10月	141	済	未	木造	368
競進社模範蚕室	明治27年10月	130	済	未	木造	176
旭民具等収蔵庫	平成元年9月	36	―	―	軽量鉄骨プレハブ造	167
太駄文化財収蔵庫	昭和44年4月	56	未	未	鉄骨造	116
蛭川文化財収蔵庫	平成2年1月	35	―	―	プレハブ	302
下浅見文化財収蔵庫	昭和50年	50	未	未	鉄筋コンクリート造	310
塙保己一記念館	平成27年3月	10	―	―	鉄筋コンクリート造	558
文化財整理室	昭和53年9月	47	済	済	鉄筋コンクリート造	―
新収蔵庫	昭和41年4月	59	未	未	鉄筋コンクリート造	107
児玉文化財収蔵庫 (旧児玉保健センター)	昭和54年5月	46	未	未	鉄筋コンクリート造	533

※耐震診断及び耐震改修は、新耐震設計基準施行(昭和 56 年6月)以降に建築された施設が「-」。新耐震設計基準施行(昭和 56 年6月)以前に建築された施設のうち、耐震診断・耐震改修を実施した施設が「済」、実施していない施設が「未」。
※延床面積は、各施設の主要建物のみでなく、敷地内建物全体の延床面積(建築基準法による)を表記。
※文化財整理室は「児玉総合支所第二庁舎」の一室を活用。

4）コストの状況

- 各施設の年間コスト（令和元年度から令和５年度の平均値）は、旧本庄警察署は約 1,880 千円、競進社模範蚕室は約 6,530 千円、塙保己一記念館は約 7,820 千円、文化財整理室は約 29,610 千円となっており、その他の施設は約 14 千円～約 925 千円となっています。なお、記念館の機能を有する施設の年間コストが比較的高くなっており、特に文化財整理室は人件費が年間コストの大部分を占めています。
- 各施設の収入は、塙保己一記念館は約 140 千円となっていますが、他の施設はほぼ生じていない状況です。

【文化財・文化財収蔵庫のコスト状況（令和元年度～令和5年度平均値） 単位：千円】



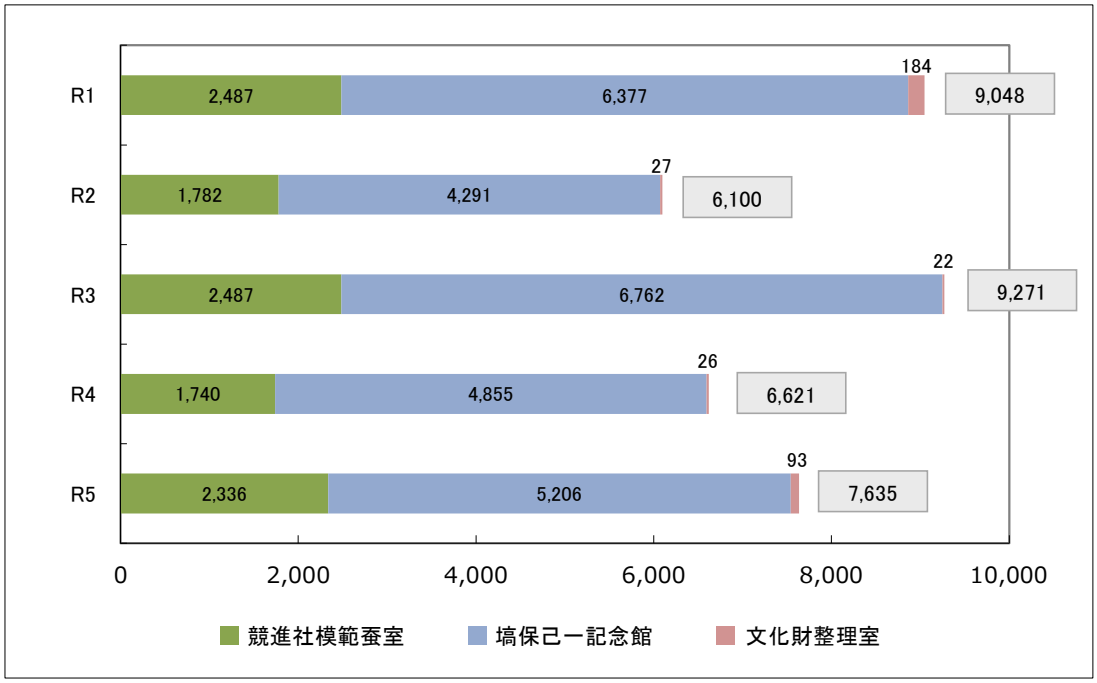
5）維持管理・運営状況

- 競進社模範蚕室、塙保己一記念館は窓口業務を委託しており、それ以外の施設については直営で維持管理・運営を行っています。

6）利用状況

- 文化財・文化財収蔵庫の利用者数は、令和５年度に約 7.6 千人の利用がありますが、令和元年度、令和３年度の約９千人より減少しています。
- 施設別の利用数は、塙保己一記念館が約４～７千人と多くなっています。

【文化財・文化財収蔵庫利用数の推移　単位：人】



7）課題

- 多数の施設が築後 40 年以上を経過していることを踏まえた、施設の老朽化への対応。
- 旧本庄警察署、競進社模範蚕室の文化財保護の観点を踏まえた、今後の解体修理の効率的な実施。
- 市内各地に分散している文化財収蔵庫の集約化及び効率的な管理方法の検討。
- 文化財収蔵庫と展示・学習機能等を併せた施設整備の検討。

(15) その他施設

1）概要

- その他施設として、本庄駅自由通路を本庄駅南口・北口間の連絡通路として設置しています。

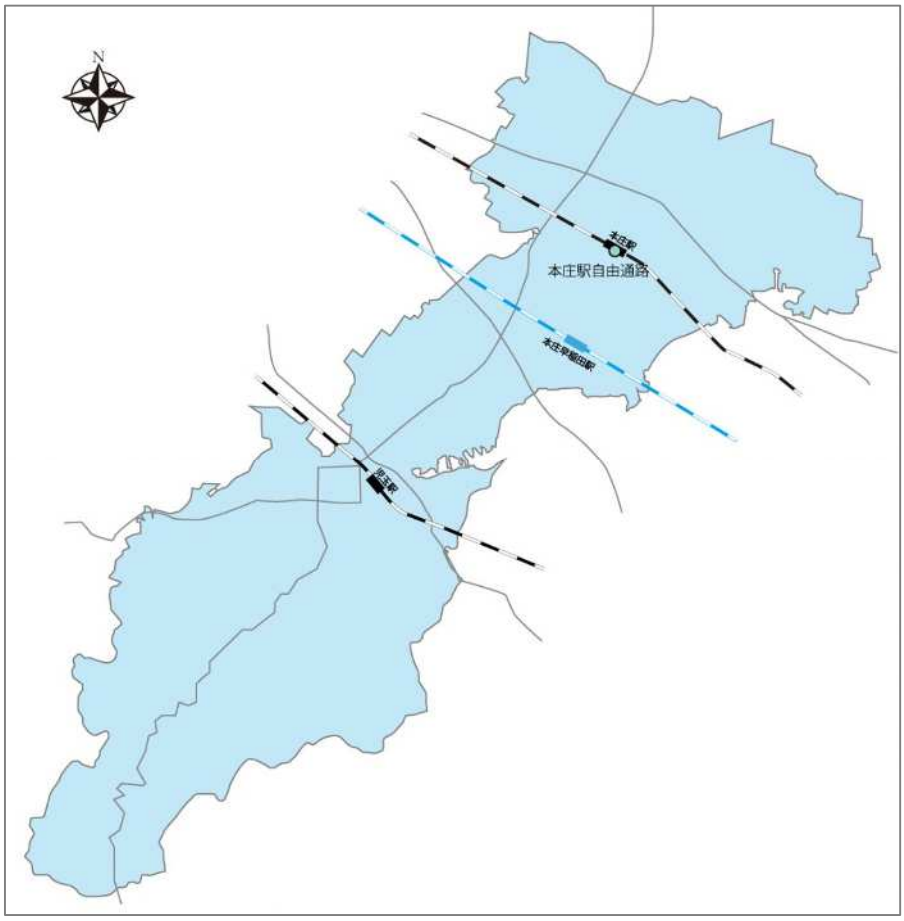
【その他施設の運営時間】

施設名称	運営時間	休館日
本庄駅自由通路	終日	なし

2）配置状況

- 本庄南地域に立地しています。

【その他施設の施設位置図】



3）建物の状況

- 本庄駅自由通路は築後 30 年以上経過しています。

【その他施設の建物状況】

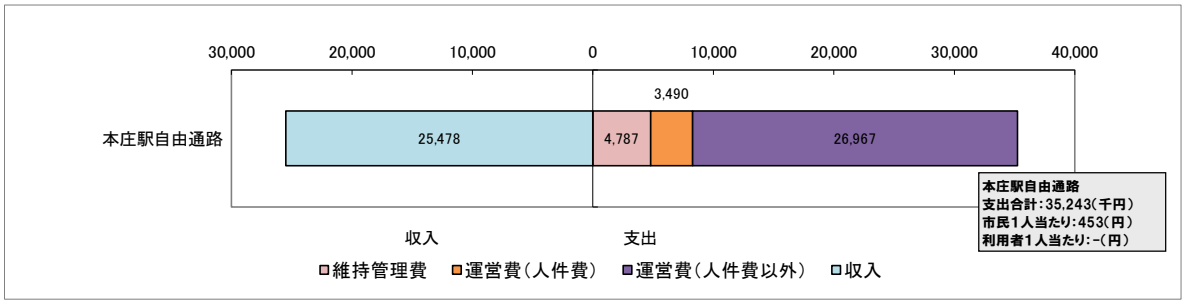
施設名称	竣工年月	築年数 (R7.3現在)	耐震診断	耐震改修	構造・階数	延床面積(㎡)
本庄駅自由通路	昭和62年2月	38	ー	ー	鉄骨造・一部鉄筋コンクリート造	824

※耐震診断及び耐震改修は、新耐震設計基準施行（昭和 56 年6月）以降に建築された施設が「−」。新耐震設計基準施行（昭和 56 年6月）以前に建築された施設のうち、耐震診断・耐震改修を実施した施設が「済」、実施していない施設が「未」。
※延床面積は、各施設の主要建物のみでなく、敷地内建物全体の延床面積（建築基準法による）を表記。

4）コストの状況

- 本庄駅自由通路の年間コスト（令和元年度から令和５年度の平均値）は約 35, 240 千円となっています。

【その他施設のコスト状況（令和元年度～令和5年度平均値） 単位：千円】



5）維持管理・運営状況

- 本庄駅自由通路は、直営で維持管理・運営を行っています。

6）課題

- 本庄駅自由通路の改修時期を踏まえた、効率的な維持管理・修繕。

２．類似機能の配置状況

対象施設（107 施設）のうち、類似しているものや利用範囲が近接・重複しているものなどを把握し、再編や再配置を検討する場合の検討材料として整理しました。

（１）集会施設等

- 施設が持つ機能（諸室）を施設別に整理すると、会議室や調理室（実習室）、和室、多目的室を持つ施設が多く、施設同士が類似した機能を多く持っています。
- これらの類似機能の配置状況を施設の中心から徒歩圏内(800m)として作図しました。

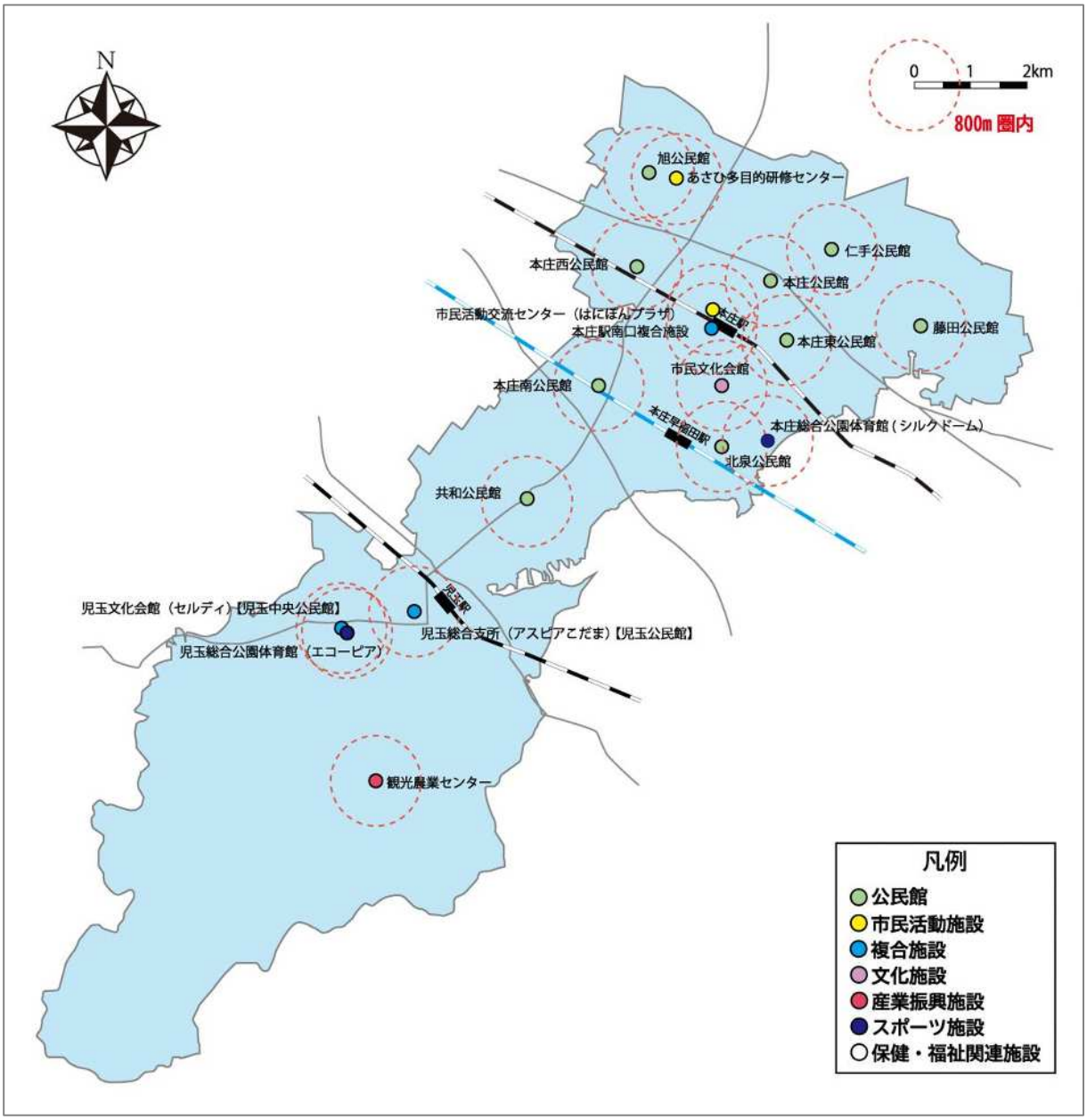
【集会施設等の類似機能】

施設名称	会議室	調理室（実習室）	和室	多目的室
児玉総合支所(アスピアこだま)【児玉公民館】	○	○	○	○
児玉文化会館(セルディ)【児玉中央公民館】	○		○	○
本庄駅南口複合施設	○			○
本庄公民館	○		○	○
本庄東公民館	○	○	○	○
本庄西公民館	○	○	○	○
本庄南公民館	○	○	○	○
藤田公民館	○	○	○	○
仁手公民館	○	○	○	○
旭公民館	○	○	○	○
北泉公民館	○	○	○	○
共和公民館	○	○	○	○
市民活動交流センター(はにぽんプラザ)	○	○	○	○
あさひ多目的研修センター	○	○		○
旧本庄商業銀行煉瓦倉庫				○
市民文化会館	○			○
本庄総合公園体育館(シルクドーム)	○			○
児玉総合公園体育館(エコーピア)	○			
観光農業センター	○		○	
老人福祉センターつきみ荘			○	○

１）会議室

- 本庄北地域では、旭公民館とあさひ多目的研修センター、本庄公民館と仁手公民館、本庄公民館と本庄東公民館と市民活動交流センター（はにぽんプラザ）で利用圏域が重複しています。
- 本庄南地域では、本庄駅南口複合施設や市民文化会館、北泉公民館を始めとした複数の施設と利用圏域が重複しています。
- 児玉北地域では、児玉総合支所（アスピアこだま）【児玉公民館】と児玉文化会館（セルディ）【児玉中央公民館】、児玉総合公園体育館（エコーピア）で利用圏域が重複しています。
- 児玉南地域では１施設となっています。

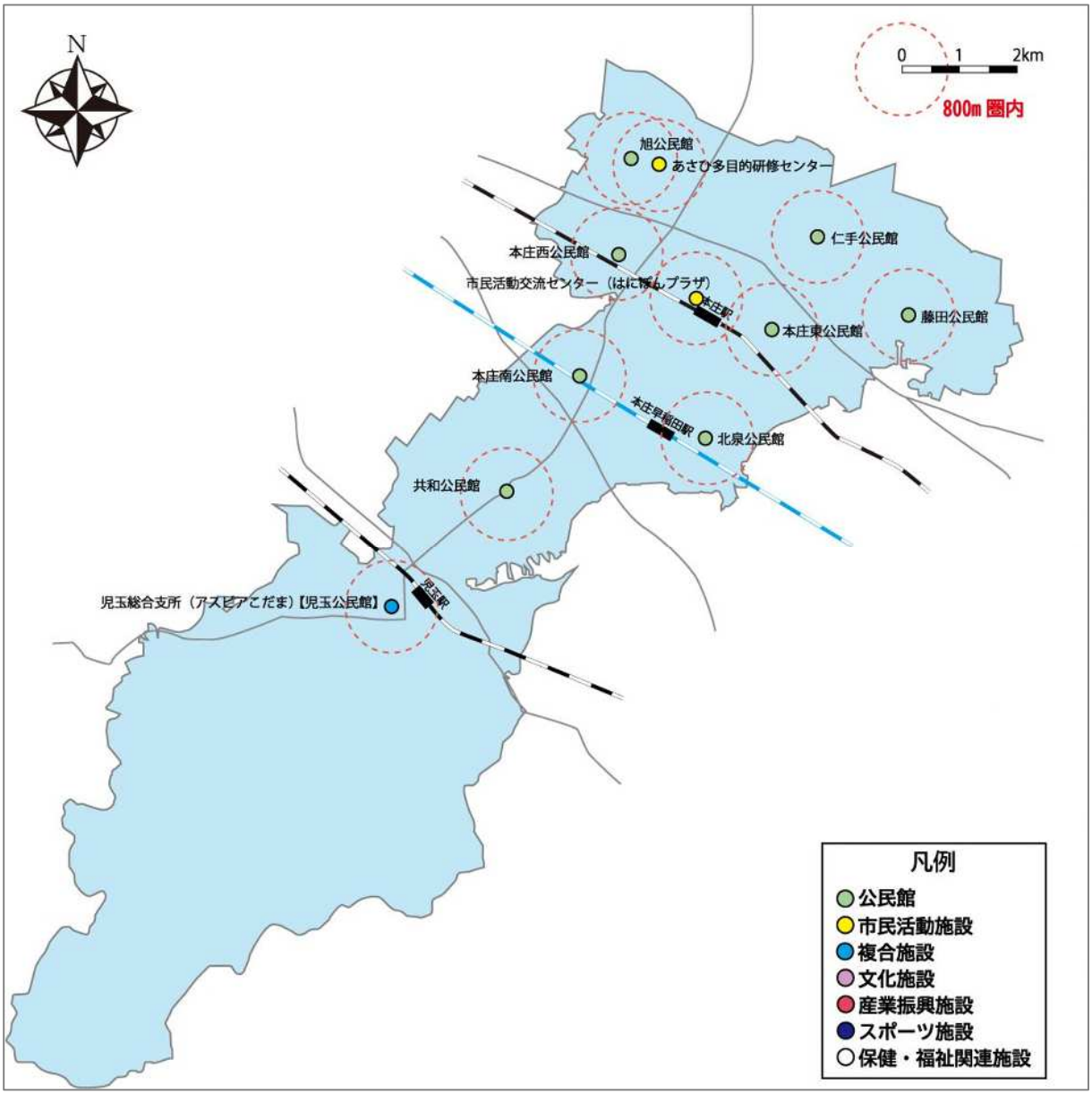
【機能圏域図（会議室）】



2）調理室（実習室）

- 本庄北地域では、旭公民館とあさひ多目的研修センター、本庄東公民館と市民活動交流センター（はにぽんプラザ）で利用圏域が重複しています。
- 本庄南地域、児玉北地域では重複している施設はなく、児玉南地域では施設立地がありません。

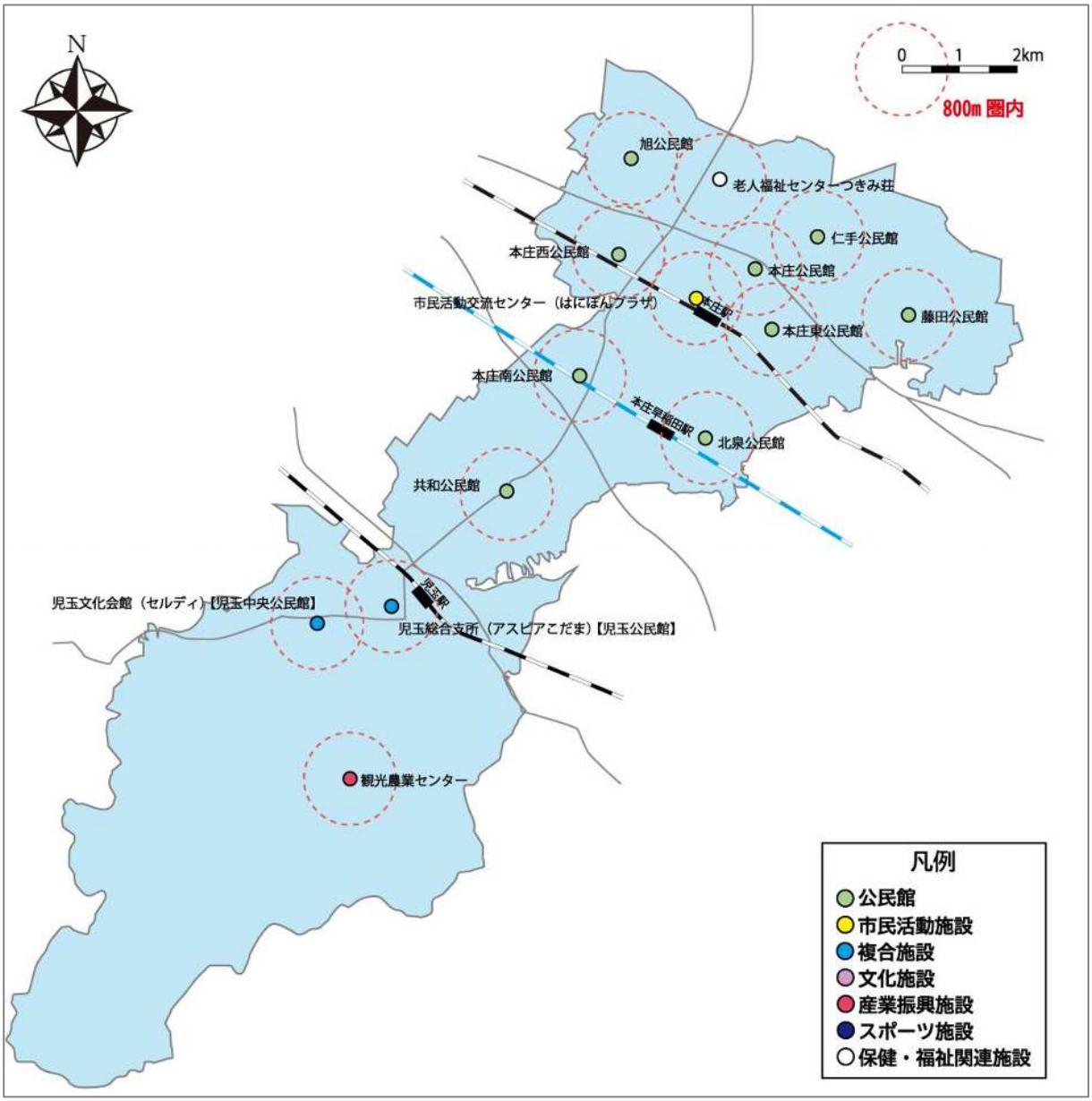
【機能圏域図（調理室（実習室））】



3）和室

- 本庄北地域では、本庄公民館と仁手公民館、本庄公民館と本庄東公民館と市民活動交流センター（はにぽんプラザ）で利用圏域が重複しています。
- 本庄南地域では重複している施設はなく、児玉北地域では児玉総合支所（アスピアこだま）と児玉文化会館（セルディ）で利用圏域が重複しています。
- 児玉南地域では１施設となっています。

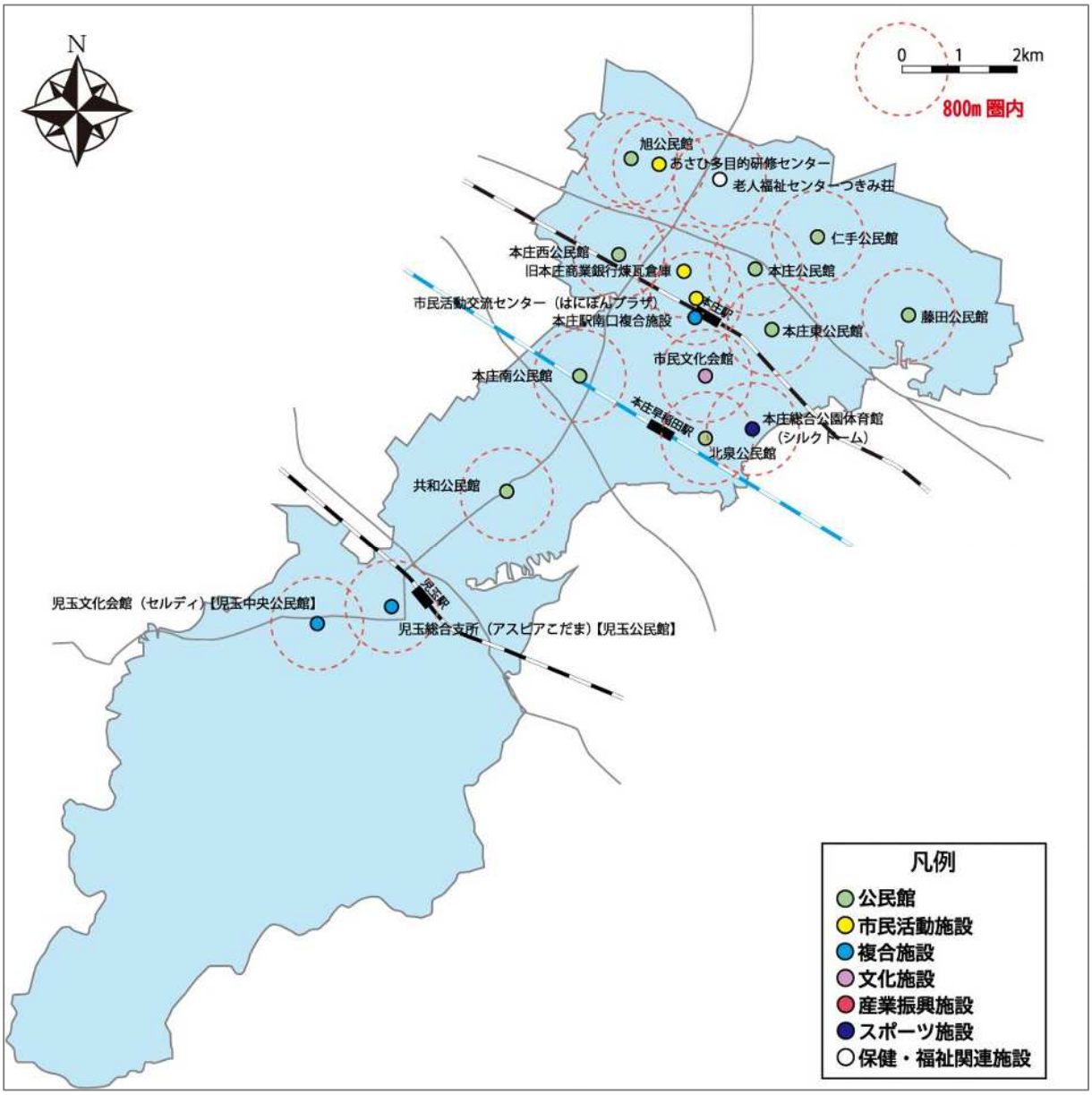
【機能圏域図（和室）】



４）多目的室

- 本庄北地域では、旭公民館とあさひ多目的研修センターと老人福祉センターつきみ荘のほか、本庄公民館や本庄東公民館では市民活動交流センター（はにぽんプラザ）を始めとした複数の施設と利用圏域が重複しています。
- 本庄南地域では、本庄駅南口複合施設や市民文化会館、北泉公民館を始めとした複数の施設と利用圏域が重複しています。
- 児玉北地域では、児玉総合支所（アスピアこだま）【児玉公民館】と児玉文化会館（セルディ）【児玉中央公民館】で利用圏域が重複しています。
- 児玉南地域では施設立地がありません。

【機能圏域図（多目的室）】



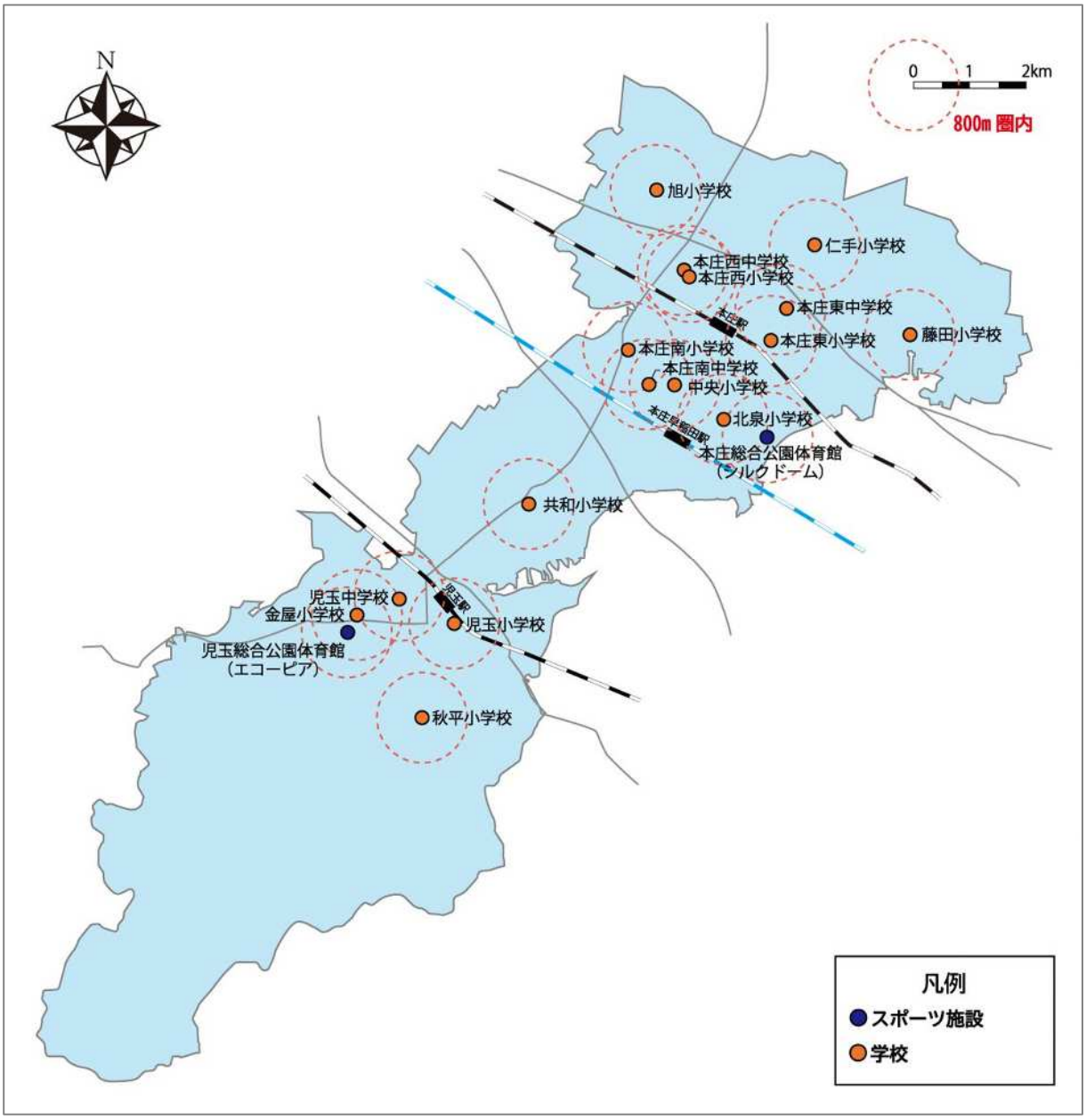
（2）体育館

- 本庄北地域と本庄南地域で利用圏域が重複している施設が多数見られます。
- 児玉北地域でも、児玉駅周辺では利用圏域が重複しています。

【体育館の類似機能】

施設名称	体育館	備考
本庄東小学校	○	学校運営による使用時間外のみ。 ※本泉小学校は休校中のため除く、
本庄西小学校	○	
藤田小学校	○	
仁手小学校	○	
旭小学校	○	
北泉小学校	○	
本庄南小学校	○	
中央小学校	○	
児玉小学校	○	
金屋小学校	○	
秋平小学校	○	
共和小学校	○	
本庄東中学校	○	
本庄西中学校	○	
本庄南中学校	○	
児玉中学校	○	
本庄総合公園体育館（シルクドーム）	○	
児玉総合公園体育館（エコーピア）	○	

【機能圏域図（体育館）】


N
0
1
2km
800m 圏内
旭小学校
仁手小学校
本庄西中学校
本庄西小学校
本庄東中学校
本庄駅
本庄東小学校
藤田小学校
本庄南小学校
本庄南中学校
中央小学校
北泉小学校
本庄児玉駅
本庄総合公園体育館
（シルクドーム）
共和小学校
児玉中学校
金屋小学校
児玉駅
児玉小学校
児玉総合公園体育館
（エコーピア）
秋平小学校
凡例
スポーツ施設
学校